

Cloud Virtual Machine

よくある質問

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

よくある質問

リージョンとアベイラビリティゾーン

課金クラス

インスタンスの課金

インスタンス関連

インスタンスへのログインと接続に関する質問

インスタンスの購入

Cloud Virtual Machine (CVM)が見つからない質問

インスタンスの使用

システムをリインストールする

設定を調整する

スポットインスタンス

ビッグデータ型インスタンスの問題

その他の質問

ストレージ関連

システムディスクとデータディスク

CBSの使用についてのご質問

CBSの拡張と縮小に関するご質問

スナップショットの使用に関する問題

データのバックアップと復元に関する質問

イメージ関連

カスタムイメージ

イメージのコピー

カスタムイメージの共有に関する質問

イメージの変更（システムの再インストール）

InitとCloudbase-init

Red Hat Enterprise Linux イメージに関するよくあるご質問

その他のよくある質問

サービスマイグレーション関連

ネットワーク関連

IP アドレス

エラスティックパブリックネットワークIPに関する質問

Elastic Network Interface

パブリックネットワーク帯域幅

その他のネットワークの問題

セキュリティ関連

パスワード

パスワードとキー

セキュリティグループ

セキュリティグループルール

ポートとセキュリティグループ

ファイアウォール

オペレーティングシステム関連

アクセス制御クラス

NTPサービスについて

ユースケース関連

よくある質問

リージョンとアベイラビリティゾーン

最終更新日：：2020-11-26 14:56:39

リージョンリストはどのように表示しますか。

次の方法で表示できます。

[リージョンとアベイラビリティゾーン](#) ドキュメントを表示します。

API インターフェースを使用してリージョンとアベイラビリティゾーンを表示します。

[リージョンリストの表示](#)

[アベイラビリティゾーンリストの表示](#)

CVMには何のリージョンおよびアベイラビリティゾーンがありますか。選択方法は何か。

利用可能なCVMリージョンとアベイラビリティゾーンの詳細については、[リージョンとアベイラビリティゾーン] (<https://intl.cloud.tencent.com/document/product/213/6091>) をご参照ください。

リージョンとアベイラビリティゾーンを選択する方法の詳細については、[リージョンとアベイラビリティゾーンの選択方法](#) をご参照ください。

購入したCVMのリージョンを変更できますか。

購入したCVMのリージョンを変更できません。リージョンとアベイラビリティゾーンを変更する必要がある場合は、次の2つの対処方法をご参考ください。

先に [インスタンスを終了](#) してから、インスタントを再度購入します。

元のインスタンスを使用してカスタムイメージを作成します。次に、カスタムイメージを使用して新しいアベイラビリティゾーンにインスタンスを作成し、インスタンスを起動し、新しいインスタンスの構成を更新します。

1.1 現在のインスタンスのカスタムイメージを作成するには、[カスタムイメージの作成](#) をご参照ください。

1.2 現在のインスタンスのネットワーク環境が [Virtual Private Cloud](#) であり、インスタンスが新しいアベイラビリティゾーンに移行された後にプライベートIPアドレスを保持する必要がある場合は、まず現在のアベイラビリティゾーンのサブネットを削除し、元のサブネットと同じIPアドレス範囲で新しいアベイラビリティゾーンにサブネットを作成します。

説明：

削除されたサブネットに利用可能なインスタンスが含まれている場合、まず現在のサブネットの全てのインスタンスを新しいサブネットに移行してから削除する必要があります。

1.3 新規作成したカスタムイメージを使用して、新しいアベイラビリティゾーンに新しいインスタンスを作成します。

ユーザーは、元のインスタンスと同じインスタンスタイプと構成を選択するか、新しいインスタンスタイプと構成も選択できます。詳細については、[インスタンスの作成](#) をご参照ください。

1.4 元のインスタンスにElastic パブリックIP アドレスが関連付けられている場合は、元のインスタンスとの関連付けを解除し、新しいインスタンスに関連付けます。詳細については、[EIP](#) をご参照ください。

1.5 (オプション) 元のインスタンスが [従量課金](#) タイプの場合、元のインスタンスを廃棄することができます。詳細については、[インスタンスの廃棄](#) をご参照ください。

Tencent Cloudの中国国内ユーザーは、他の国や地域のリソースを購入して、中国国内リソースと同じ製品品質とサービスを楽しむことができますか。

はい。Tencent Cloud中国語サイトは、すべてのユーザーに同じ品質の製品とサービスを提供します。購入地域が異なっても、Tencent Cloud中国語サイトをご利用できるサービスと権益には影響しません。

カスタムイメージのコピー機能を使用して、中国国内のCVMを他の国または地域に移行できますか。

いいえ。イメージは同じ国または地域内でのみコピーできます。異なる国の間でイメージをコピーする必要がある場合、[チケットを提出](#) して申請してください。

中国内外のインスタンスの違いは何ですか。どの国またはリージョンが自分に適しているかは、どのように判断しますか。

他の国または地域のインスタンスは中国本土以外のリージョンにデプロイされています。中国本土以外のユーザーにとって、地理的および市場上の明らかな利点があります。高速のローカルネットワーク接続を提供し、グローバル顧客の需要に対応でき、他の国または地域でサービスを展開するユーザーにより適しています。

サポートするリージョンの詳細については、[リージョンとアベイラビリティゾーン](#) をご参照ください。

中国本土以外のリージョンで購入したインスタンスは、LinuxとWindowsシステムを置き換えられますか。

どの地域のCVMも同じタイプのオペレーティングシステム (OS) の再インストールをサポートしています。(つまり、LinuxをLinuxに再インストールしたり、WindowsをWindowsに再インストールしたりします)

中国本土のCVMインスタンスのみが、異なるタイプのOSの再インストールをサポートしています。(つまり、LinuxをWindowsに再インストールしたり、WindowsをLinuxに再インストールしたりします)

中国本土以外のリージョンで製品のアフターサービスを受けるにはどうすればよいですか。

Tencent Cloudの公式ウェブサイトで購入した場合は、Tencent Cloudの24時間365日の公式サービスホットライン (4009100100) にお問い合わせいただくか、[チケットを送信](#) してください。

中国以外の地域にCVMインスタンスをデプロイするにはどうすればよいですか。

中国国外リージョンのインスタンスと中国国内リージョンのインスタンスは、リージョンのみが異なります。同じタイプのOSを使用している場合、同じ展開方法を採用します。

中国本土リージョンのインスタンスを中国本土以外のリージョンに移行できますか。

インスタンスのリージョンとアベイラビリティゾーンは変更できません。他の国や地域でインスタンスを使用する必要がある場合は、インスタンスを再購入する必要があります。

一部のインスタンス仕様は中国でのみ購入でき、中国国外では購入できないのはなぜですか。

一部の地域では、一部のインスタンス仕様がサポートされていない場合があります。[CVM購入ページ](#)に移動して、インスタンスの購入可能状況をご確認できます。

中国本土以外のリージョンのインスタンスを使用してウェブサイト構築した場合、ユーザーはドメイン名を介してウェブサイトにアクセスします。このドメイン名はICP登録が必要ですか。

中国本土のリージョンのウェブサイトの場合、ドメイン名にはICPファイリング番号を取得する必要があります。他の国や地域のウェブサイトの場合、ドメイン名はICPファイリング番号を取得する必要がありません。

インスタンスの価格はリージョンにより異なりますか。

インスタンスを購入する場合、インスタンスの価格にはインスタンスの仕様、ストレージ、ネットワーク帯域幅などが含まれます。リージョンによって、上記の価格が異なる場合があるため、インスタンスの価格も異なります。価格情報の詳細については、[価格設定センター](#)をご参照ください。

課金クラス

インスタンスの課金

最終更新日： : 2020-07-24 16:39:26

CVMの購入

CVMが正常に作成されない場合はどうすればよいですか。

CVMの作成に時間がかかる場合は、CVMが正常に作成されるかどうかを確認してください。作成に失敗した場合は、[チケットを送信](#)して問題を報告し、エンジニアに問題の解決に向けて協力を求めることができます。

CVMの配信に失敗した場合、どのように廃棄しますか。

[チケットを送信](#)してカスタマサービスにご連絡いただき、サーバー情報の完全なスクリーンキャプチャと廃棄できない状況のスクリーンキャプチャをご提供ください。[配信失敗](#)と明記していただければ、問題の原因究明に役立ちます。

CVMの更新

CVMが期限切れになったら、どのように更新しますか。

詳細については、[インスタンスの更新](#)をご参照ください。

CVMはどのように自動更新を設定しますか。

詳細については、[自動更新の設定手順](#)をご参照ください。

従量課金インスタンスを更新する必要がありますか。

従量課金インスタンスの場合、料金はアカウントから1時間ごとに自動的に差し引かれるので、更新は必要ありません。

その他の問題

CVMインスタンスの自動リリース（終了）を設定できますか。

従量課金インスタンスの自動リリース（終了）及び自動リリース時間を設定できます。詳細については、[インスタンスの終了/リターン](#)をご参照ください。

それでも問題を解決できない場合、[チケットを送信](#)してください。

20GBを超えるクラウドディスクを搭載したLinux CVMを購入しました。OSをWindowsとして再インストールした場合、どのように課金されますか。

Windowsの再インストールが成功したら、以前に購入した20GBを超える部分のシステムディスクの構成費用の精算を停止します。つまり、システムディスクは課金されなくなります。

クラウドディスクを搭載したWindows CVMを購入しました。OSをLinuxとして再インストールした場合、どのように課金されますか。

現在のシステムディスクは容量削減をサポートしていないため、Cloud Block Storageは現在の容量で再インストールする必要があり、追加料金が一切発生しません。システムをLinuxとして再インストールした後にシステムディスク容量を拡張する必要がある場合は、システムディスクの容量構成料金を支払う必要があります。詳細については、[システムディスク及びデータディスク](#)のシステムディスクの容量拡張に関する説明をご参照ください。

CBSの価格の詳細については、[価格一覧](#)をご参照ください。

説明：

中国本土以外のCVMは、OSを再インストールする際、LinuxとWindows OSの交換をサポートしていません。

CVM請求書にある演算コンポーネントはなんですか。

演算コンポーネントは、インスタンス仕様と一対一対応をしています。例えば、S5.SMALL4には、CPU、メモリ、NVMeローカルディスクなどの演算コンポーネントが含まれています。

インスタンス関連

インスタンスへのログインと接続に関する質問

最終更新日： : 2023-02-16 10:31:36

VNCを使用してCVMにログインする方法とは

VNCログインはTencent Cloudがユーザに提供する、Webブラウザを介してCVMへのリモート接続する方法です。リモートログインクライアントをインストールしていない、または、クライアントのリモートログインが利用できない場合は、ユーザーはVNCログインによりCVMにログインし、CVMの状態を確認した上、CVMアカウントを介して基本的なCVM管理操作を行うことが可能です。操作手順の詳細については、下記のドキュメントをご参照ください。

[VNCを介してLinuxインスタンスにログインする](#)

[VNCを介してWindowsインスタンスにログインする](#)

Windowsサーバーで、マルチユーザーリモートログインを設定する方法とは

Windowsサーバーではマルチユーザーが同時にリモートログインできます。設定方法の詳細については、[マルチユーザーによるWindows CVMへのリモートログインを許可するように設定する](#)をご参照ください。

設定が有効になっていない場合は、再起動してから再度ログインしてください。

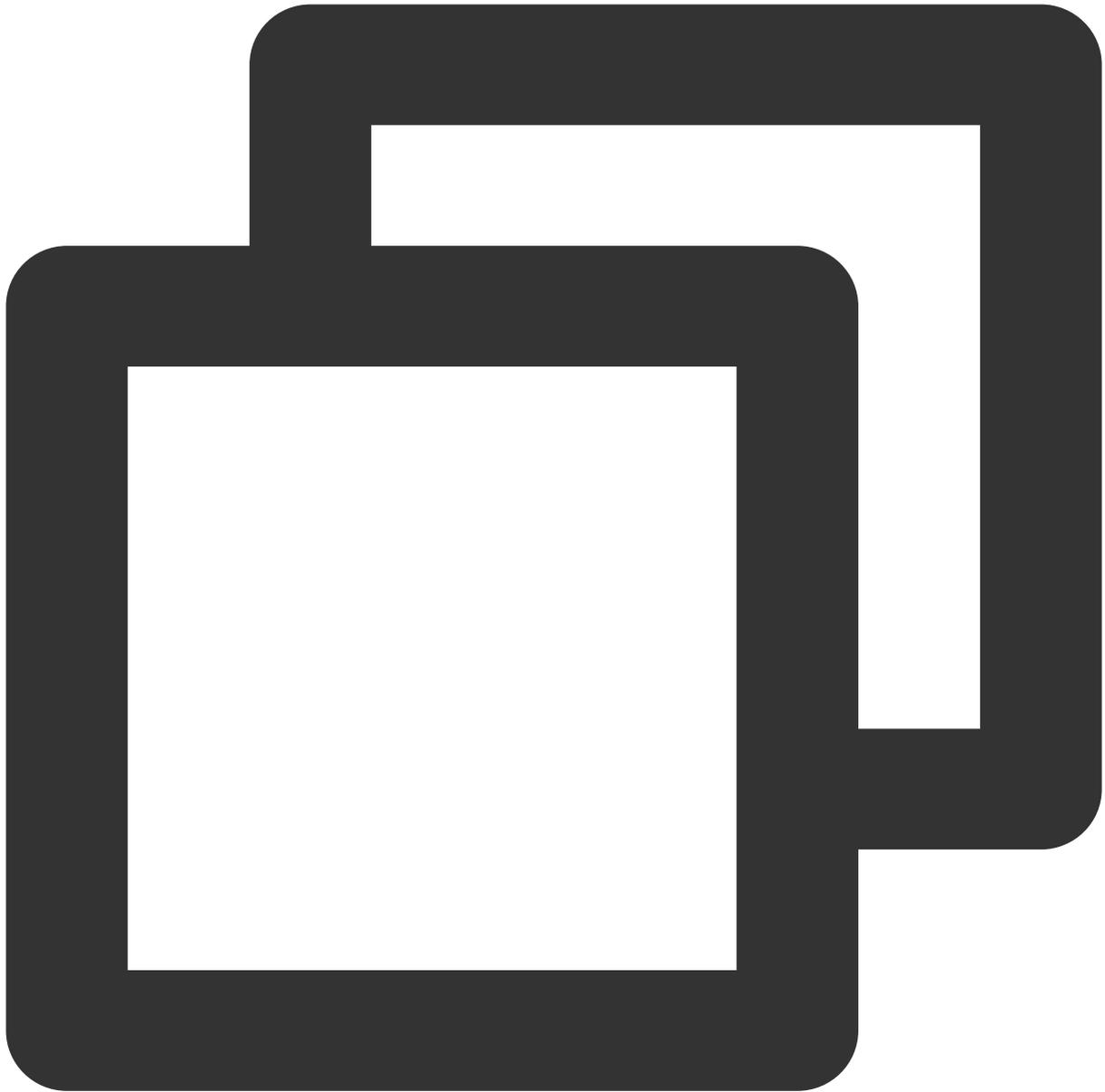
Ubuntuシステムは、rootユーザーでインスタンスにログインする方法とは

Ubuntuシステムはデフォルトのユーザー名がubuntuであり、ルートアカウントとパスワードはインストールプロセス中にデフォルトで設定されません。必要な場合は、設定でrootユーザーのログインを有効にできます。操作手順の詳細は以下に示すとおりです。

1. ubuntuアカウントを使用してCVMにログインします。

2.

以下のコマンドを実行して、rootパスワードを設定します。

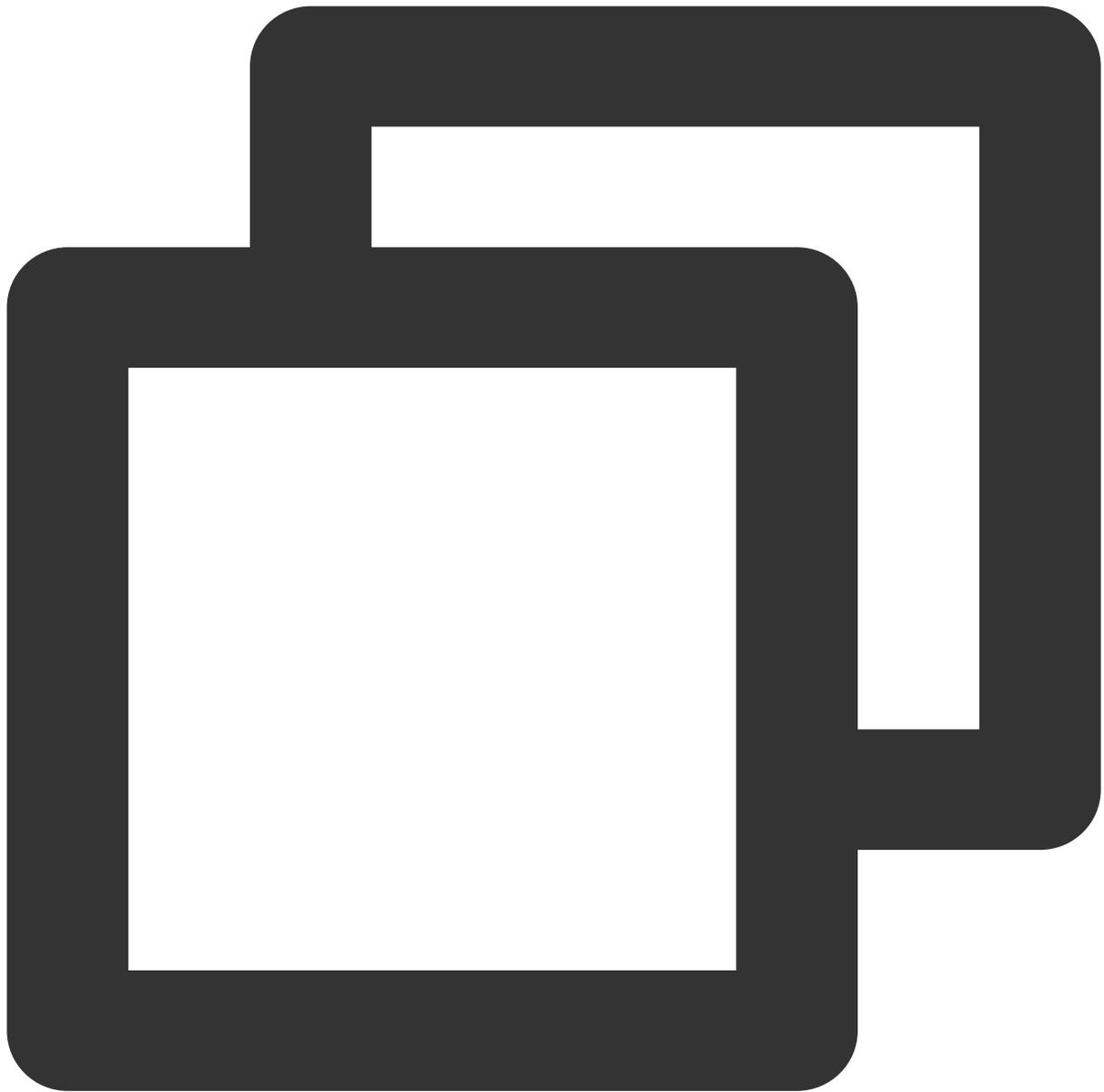


```
sudo passwd root
```

3. rootのパスワードを入力し、**Enter**キーを押します。

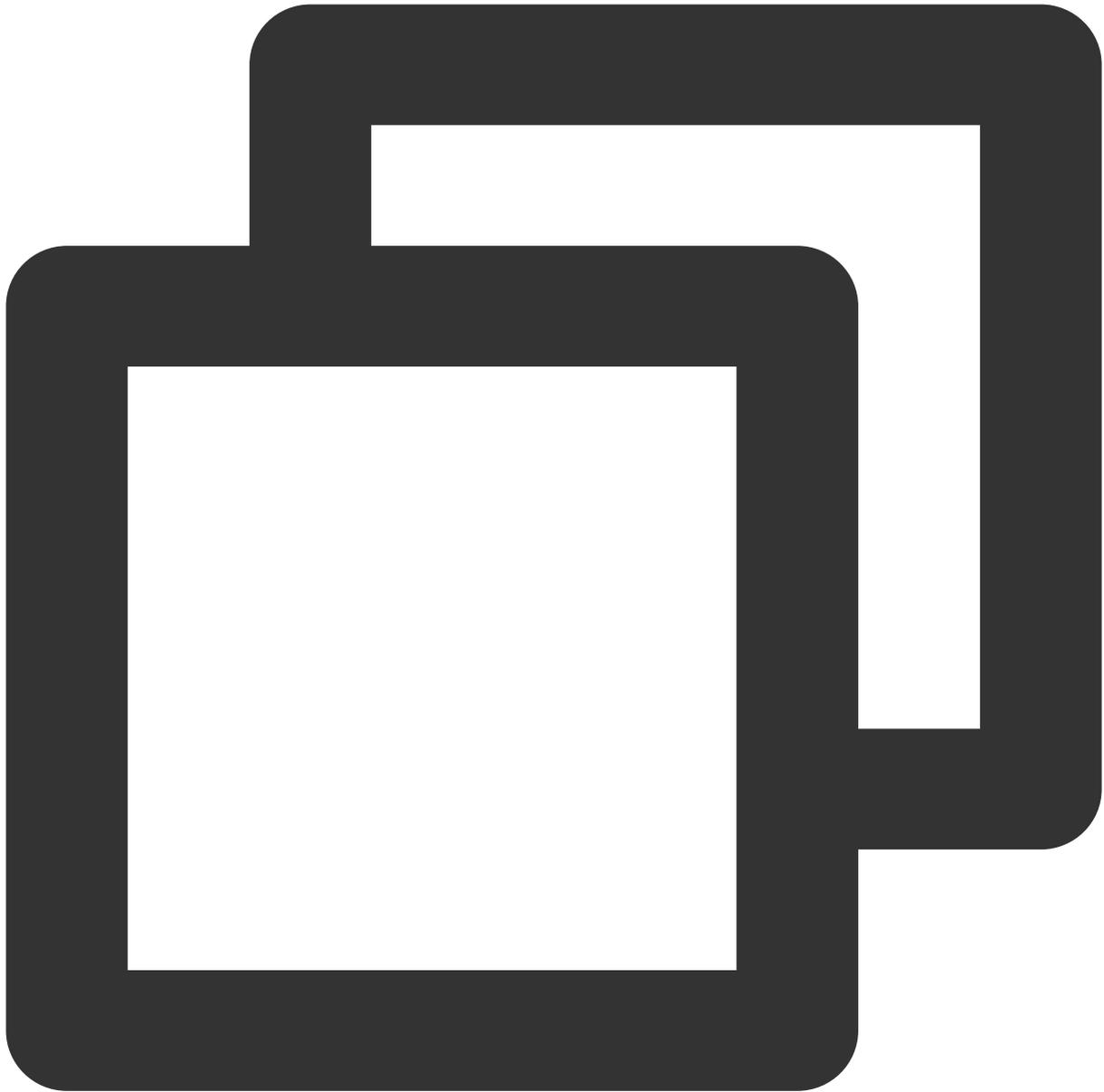
4. rootのパスワードを再度入力し、**Enter**キーを押します。

下記のような情報が返された場合は、rootパスワードの設定に成功したことを示しています。



```
passwd: password updated successfully
```

5. 下記のコマンドを実行し、 `sshd_config` 構成ファイルを開きます。



```
sudo vi /etc/ssh/sshd_config
```

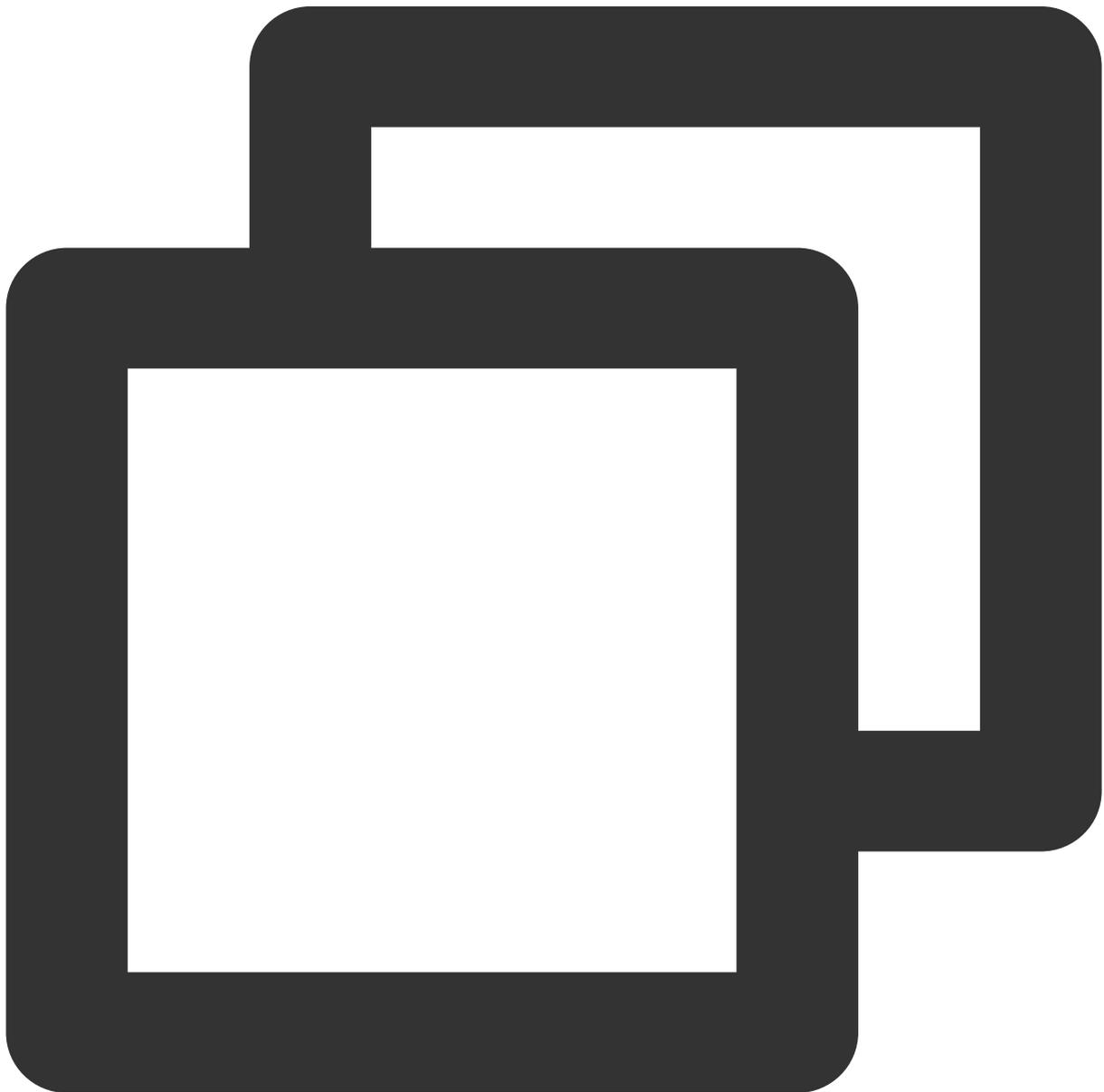
6. 下図に示すように、**i**を押して編集モードに切り替えて、`#Authentication` を見つけて、`PermitRootLogin` パラメータを `yes` に変更します。

説明：

`PermitRootLogin` パラメータがコメントアウトされている場合、最初の行のコメント記号（`#`）を削除してください。

```
# Authentication:  
  
#LoginGraceTime 2m  
PermitRootLogin yes  
#StrictModes yes  
#MaxAuthTries 6  
#MaxSessions 10
```

7. **Esc**を押し、**:wq**を入力し、ファイルを保存してから戻ります。
8. 下記のコマンドを実行し、sshサービスを再起動します。



```
sudo service ssh restart
```

9. [標準ログイン方式を利用してLinuxインスタンスにログインする](#) を参照して、以下の情報を使用してUbuntu CVMにログインします。

ユーザー名：rootです

ログインパスワード：[ステップ2](#) で設定されたパスワードです。

rootアカウントを使用して正常にログインした後、次の画面が表示されます。

```
* Socket connection established *
Welcome to Ubuntu 18.04.3 LTS (GNU/Linux 4.15.0-34-generic amd64)

 * Documentation:  https://help.ubuntu.com
 * Management:    https://landscape.canonical.com
 * Support:       https://ubuntu.com/advantage

System information as of Tue Jan 21 09:27:02 CST 2020

System load:  0.08          Processes:    89
Usage of /:   4.6% of 49.15GB Users logged in:  0
Memory usage: 11%          IP address for eth0:
Swap usage:   0%

 * Overheard at KubeCon: "microk8s.status just blew my mind".

      https://microk8s.io/docs/commands#microk8s.status

Last login: Tue Jan 21 08:46:18 2020 from 172.16.17.22
root@VM-0-12-ubuntu:~#
```

インスタンスの再起動後に接続（ログイン）できない場合、どのように対処すれば良いですか。

CVMのCPU/メモリの使用率が高すぎる原因である可能性があります。下記のドキュメントを参照して対処してください。

[Linux インスタンス：CPUまたはメモリの使用率が高いため、ログインできない](#)

[Windows インスタンス：CPUまたはメモリの使用率が高いため、ログインできない](#)

CVMインスタンスにリモートログインすると、「インスタンス接続がタイムアウトしました」というメッセージが表示されます。

次の問題をトラブルシューティングしてください。

インスタンスが実行されている必要があります。

インスタンスが配置されているセキュリティグループに対応するセキュリティグループルールが追加されています。詳細については、[セキュリティグループルールの追加](#) をご参照ください。

インスタンスでは、ターミナル接続 (SSH) またはリモートデスクトップ (RDP) に対応するリモートサービスが起動されています。

インスタンスは接続ポートを開き、通常、ターミナル接続 (SSH) はポート22を開き、リモートデスクトップ (RDP) はポート3389を開きます。

Linuxインスタンスにリモートログインすると、「接続が拒否されました」というメッセージが表示されます。

次の問題をトラブルシューティングしてください。

インスタンスでは、ターミナル接続 (SSH) またはリモートデスクトップ (RDP) に対応するリモートサービスが起動されています。

インスタンスは接続ポートを開き、通常、ターミナル接続 (SSH) はポート22を開き、リモートデスクトップ (RDP) はポート3389を開きます。

Linuxインスタンスにリモートログインすると、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」というメッセージが表示されます。

次の問題をトラブルシューティングしてください。

正しいユーザー名を入力してください。通常、Linuxインスタンスのユーザー名はrootです (Ubuntuシステムのデフォルトのユーザー名はubuntuです)。

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることができます。操作の詳細については、[インスタンスパスワードのリセット](#) をご参照ください。

Windows インスタンスにリモートログインすると、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」というメッセージが表示されます。

次の問題をトラブルシューティングしてください。

正しいユーザー名を入力してください。通常、Windows インスタンスのユーザー名はAdministratorです。

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることができます。操作の詳細については、[インスタンスパスワードのリセット](#) をご参照ください。

管理者以外のユーザーでWindowsインスタンスにログインする場合、当該ユーザーはRemote Desktop Usersグループに属する必要があります。

コンソールでは、マルチユーザーがVNC方式でCVMにログインすることができますか。

できません。1人のユーザーがすでにログインしている場合、他のユーザーはログインできなくなります。

CVMにログインするためのパスワードを忘れた場合は、どうすればよいですか。

CVMのパスワードをリセットすることができます。操作手順の詳細については、[インスタンスパスワードのリセット](#) をご参照ください。

IE8.0ブラウザを使用してVNC経由でインスタンスにログインできないのはなぜですか。

VNC経由のログインは、IE10以降のバージョンでのみサポートされています。最新バージョンのIEブラウザをダウンロードしてください。

また、Chromeブラウザを使用することをお勧めします。TencentCloudのコンソールは、Chromeブラウザとの互換性が高くなっています。

Linuxインスタンスにリモートログインする方法とは。

Tencent Cloudは[WebShell](#)を使用してLinuxインスタンスにログインすることをお勧めします、他の方法があります。

[リモートログインソフトウェア](#)を使用してLinuxインスタンスにログインする。

[SSH](#)を使用してLinuxインスタンスにログインする

[VNC](#)を使用してLinuxインスタンスにログインする。

Linuxインスタンスにログインできない場合の対処方法

Linuxインスタンスに接続またはログインできない場合は、[Linuxインスタンスにログインできない](#)を参照して、問題のトラブルシューティングを行うことができます。

それでも問題を解決できない場合、[チケットを提出](#)してください。

Windows インスタンスにログインできない場合の対処方法

Windows インスタンスに接続またはログインできない場合は、[Windows インスタンスにログインできない](#)を参照して、問題のトラブルシューティングを行うことができます。

それでも問題を解決できない場合、[チケットを提出](#)してください。

CVMインスタンスにオフサイトログインが発生しました、どうすればよいですか。

オフサイトログインが発生した場合、以下のように対処します。

1. オフサイトログインの時間を確認して、自分または他の管理者によるログインかを確認します。
2. 不正な管理者によるログインする場合は、次の操作を実行してください。
 - 2.1 今すぐ [パスワードをリセット](#)してください。
 - 2.2 ウイルスに攻撃されていないか確認します。
 - 2.3 [特定のIPアドレスによるログインのみを許可](#)します。

インスタンスの購入

最終更新日：2020-07-24 16:12:33

CVMの購入方法は何ですか。

すべてのユーザは、Tencent Cloudの公式ウェブサイトからCVMを購入できます。ユーザは従量課金（秒単位の課金、1時間ごとに決済されます）CVMを購入できます。詳細については、[課金モード](#)をご参照ください。

CVMはどのようなインスタンスタイプを提供しますか。

CVMは複数のインスタンス仕様を提供します。詳細については、[インスタンスタイプ](#)をご参照ください。ビジネスニーズに基づいて適切なインスタンスタイプを選択できます。

突発的なビジネスピークに対して、従量課金の課金方法を選択できます。これにより、いつでもコンピューティングインスタンスをアクティブ化したり、廃棄したりすることができ、実際に使用したリソースに対してのみ支払うことができます。課金は秒単位まで正確であり、コストを最小限に抑えます。

Windows Server 2003 CVMを購入できますか。

Microsoftは2015年7月14日からWindows Server 2003およびWindows Server 2003 R2の拡張サポートサービスの提供を停止したため、Tencent CloudはWindows 2003サーバーを提供しなくなりました。このサーバーは購入できません。

CVMの購入ルートは何ですか。

CVMは、コンソールまたはAPIを介して購入できます。

購入したCVMはいつ使用できますか。

CVMシステムのインストールが完了したら、CVMのステータスが**実行中**になったら、CVMにログインして使用できます。

インスタンスを購入できるリージョンまたはアベイラビリティゾーンを確認する方法はありますか。

[CVMインスタンス購入ページ](#)に移動して、各リージョンまたはアベイラビリティゾーンで利用可能なインスタンスタイプを表示できます。

購入したいインスタンスのリソースが売り切れた場合はどうすればよいですか。

インスタンスの作成中にリソースが売り切れた場合は、次の措置を講じることをお勧めします。

別のリージョンを選択します

別のアベイラビリティゾーンを選択します

別のリソースを選択します

上記のすべての対策を実施してもリソースが利用できない場合は、しばらく待ってから再購入することをお勧めします。インスタンスリソースは動的であり、リソースが不足している場合、Tencent Cloudはできるだけ早くリソースを補充しますが、少し時間がかかります。

自分のビジネスに適したCVMインスタンスを選択する方法はなんですか。

CVMインスタンスを選択するときは、次の要素を考慮してください。ビジネスに適したCVMインスタンスを選択する方法の詳細については、[インスタンスタイプ](#)をご参照ください。

実際のビジネスニーズ。

ウェブサイトのタイプ。

ウェブサイトの1日あたりの平均ページビュー（PV）数。

ホームページのサイズ。

ウェブサイトのデータ容量。

CVMインスタンスの決済方法はなんですか。

[オンライン決済](#)：クレジットカードでのお支払いが可能です。

CVMの起動にはどのくらい時間がかかりますか

通常、インスタンスの作成には1~2分かかります。インスタンスが作成された後：

Linuxインスタンスの場合、インスタンスに接続できます。具体的な手順については、[Linuxインスタンスへのログイン](#)をご参照ください。

Windowsインスタンスの場合、インスタンスに接続できます。具体的な手順については、[Windowsインスタンスへのログイン](#)をご参照ください。

説明：

インスタンスの作成中にエラーが発生した場合は、[チケットを送信](#)してください。

インスタンスを購入して支払いに成功しましたが、インスタンスが作成されないのはなぜですか。

当該アベイラビリティーゾーンのインスタンス仕様の在庫が不十分である可能性があります。システムが自動的に払い戻します。30分以内に払い戻しができない場合は、[チケットを送信](#)してください。

[CVMインスタンス購入ページ](#)に移動して、各アベイラビリティーゾーンで利用可能なインスタンスタイプを表示できます。

Cloud Virtual Machine (CVM)が見つからない質問

最終更新日： : 2023-01-09 16:45:31

問題の説明

CVMコンソールで購入したインスタンスを見つかりません。

考えられる原因

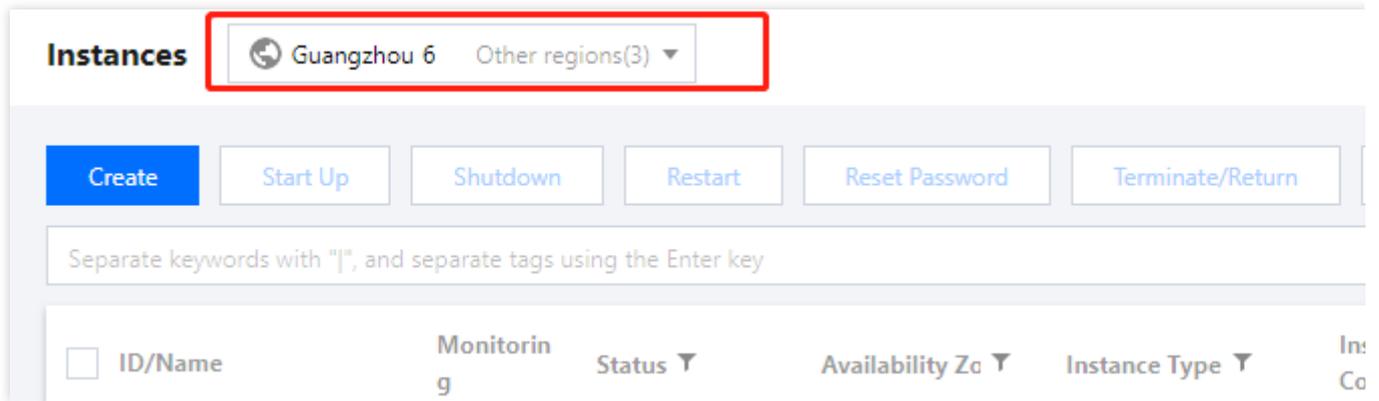
1. リソースは現在のリージョンにありません
2. 製品コンソールが間違っています
3. 現在のアカウントにはリソースがありません
4. インスタンスの有効期限が切れるか、支払い延滞でリリースされました
5. ビッドインスタンスが自動的に回収されました
6. リソース不足のため、払い戻しになりました

処理方法

1. リソースが現在のリージョンにないについてのソリューション

インスタンスが配置されているリージョンに切り替えていない場合、インスタンスは見つかりません。次の方法で確認できます：

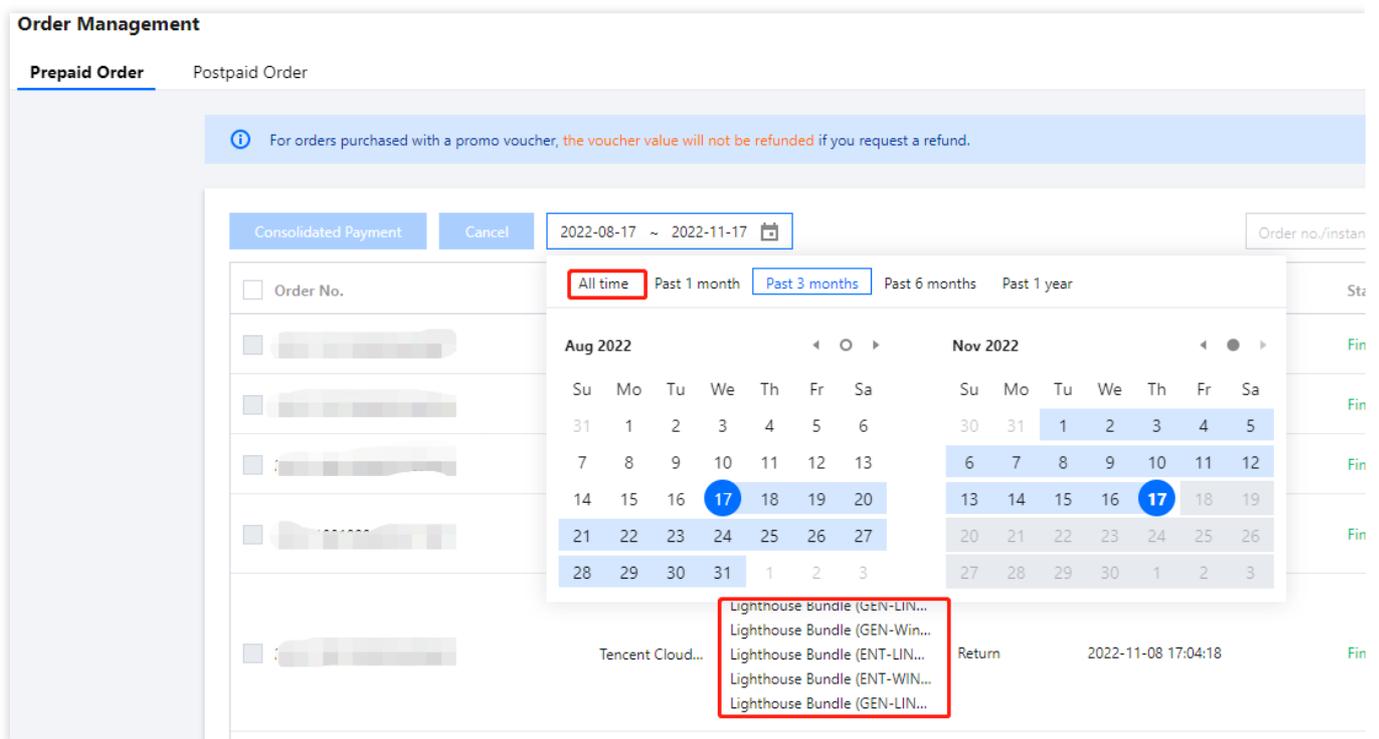
[CVMインスタンスページ](#) の上方でリージョンを切り替えます。他のリージョンにインスタンスがある場合は、ターゲットリージョンに直接切り替えて表示できます。



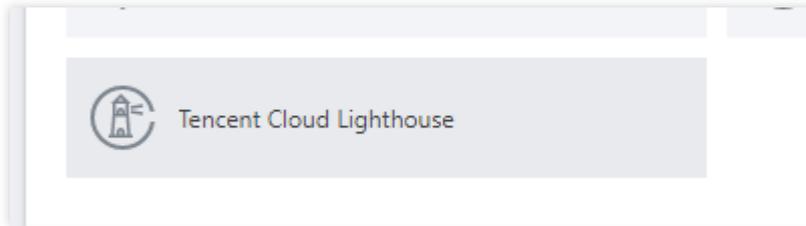
2. 製品コンソールが間違っているについてのソリューション

購入したリソースはCVMではなく、[Tencent Cloud Lighthouse](#) またはその他の製品である可能性があり、正しい製品コンソールが見つかりませんでした。

方法1：[コンソールの概要](#) > [最近の注文](#)で、過去3か月間に購入された前払い/後払いのリソースを確認します。購入時間が長い場合は、[すべてを表示](#) をクリックして確認できます。



方法2：[コンソールの概要](#) > [マイリソース](#)で、アカウントの下のリソースを確認します。



3. 現在のアカウントにはリソースがないについてのソリューション

サーバーから受信した関連SMSコンテンツの履歴からアカウントIDを確認できます。

インスタンスリソースは、お客様名義で購入しない可能性があります。お客様による確認が必要です。

4. インスタンスの有効期限が切れるか、支払い延滞でリリースされるについてのソリューション

支払い延滞や期限切れのインスタンスは、一定期間後に完全にリリースされるため、コンソールで見つけることができません。

リソースが廃棄されると、取得できなくなります。[サイト内メール](#)で『前払いリソースの期限切れ&サービス停止の通知』を表示して確認できます。関連するサイト内メールを受け取っていない場合は、以前に製品ニュースのサブスクリプションをキャンセルした可能性があります。

アカウントが支払い延滞の場合、CVMインスタンスとパブリックネットワークの帯域幅の状態については、[支払い延滞の説明](#)をご参照ください。

5. ビッドインスタンスが自動的に回収されるについてのソリューション

[ビッドインスタンス](#)の重要な特徴は、価格または需要と供給の関係に基づいて、アサインされたインスタンスを回収することです。

ビッドインスタンスが廃棄される前に、サイト内メール、`metadata`などを通じてユーザーに通知されます。[サイト内メール](#)で『ビッドインスタンス回収の通知』を表示して確認できます。関連するサイト内メールを受け取っていない場合は、以前に製品ニュースのサブスクリプションをキャンセルした可能性があります。

6. リソース不足のため、払い戻しになるについてのソリューション

コンソールで購入したばかりのインスタンスを見つからない原因は、リソース不足のため、直接払い戻される可能性があります。

[注文の管理](#)から、払い戻しの情報を確認できます。払い戻しを確認したら、リージョンまたはアベイラビリティゾーンを変更して、もう一度購入を試みることができます。

インスタンスの使用

最終更新日：：2022-03-24 15:00:53

どのように使用中のCVMを確認しますか。

[CVM コンソール](#) にログインして、CVM 画面で利用中のCVM確認することができます。

CVMは仮想マシンのインストールをサポートしますか。

CVMは仮想マシンのインストールをサポートしません。

どのようにインスタンスをシャットダウンしますか。

詳細については、[インスタンスのシャットダウン](#) をご参照ください。

どのようにインスタンスを再起動しますか。

詳細については、[インスタンスの再起動](#) をご参照ください。

どのようにインスタンスを終了しますか。

具体的な操作については、[インスタンスの破棄](#) をご参照ください。

Linuxインスタンスのユーザー名とパスワードを問い合わせる方法はありますか。

CVMインスタンスを作成すると、そのユーザー名とパスワードが [サイト内メール](#) を通じてTencent Cloudのアカウントに送信されます。Linuxインスタンスの管理者アカウントは、デフォルトではrootです。

Linuxインスタンスのディスクを確認、パーティション、およびフォーマットする方法はありますか。

`df-h` コマンドを実行してディスク容量と使用状況を確認でき、`fdisk-l` コマンドを実行してディスク情報を確認できます。Linuxインスタンスのディスクをパーティション分割してフォーマットする方法については、[Cloud Block Storageの初期化（2TB未満）](#) 及び [Cloud Block Storageの初期化（2TB以上）](#) をご参照ください。

Linuxインスタンスにファイルをアップロードする方法はありますか。

[SCP](#)を使用してLinuxインスタンスにファイルをアップロードします。

[FTP](#)を使用してLinuxインスタンスにファイルをアップロードします。

Linuxインスタンスのディレクトリとファイルの所有者と所有グループを調整するにはどうすればいいですか。

ファイルまたはディレクトリの権限がWebサーバーで正しく設定されていない場合、ウェブサイトへのアクセス時に403エラーが発生することがあります。そのため、ファイルとディレクトリを調整する前に、所属プロセスの実行IDを確認する必要があります。

`ps` と `grep` コマンドを実行して、ファイルとディレクトリの所属プロセスの実行IDを確認できます。

`ls-l` コマンドを実行して、ファイルとディレクトリの所有者と所有グループを確認できます。

`chown` コマンドを実行して権限を変更できます。例えば、 `chown-R`

`www.www.tencentcloud/www/user/` コマンドを実行して、ディレクトリ `/tencentcloud/www/user` 配下のすべてのファイルとディレクトリの所有者と所有グループをアカウント「`www`」に変更できます。

Linuxインスタンスは視覚化インターフェースをサポートしていますか。

サポートしています。Linuxインスタンスで視覚化インターフェースを構築したい場合の具体的な操作については、[Ubuntu視覚化インターフェースの構築](#) をご参照ください。

CVMインスタンスにサウンドカードまたはビデオカードを追加できないのはなぜですか。

Tencent Cloud CVMは、マルチメディアサーバではなく、通常のサーバを提供しています。デフォルトでは、サウンドカードとビデオカードのコンポーネントは提供されていません。そのため、サウンドカードとビデオカードをCVMインスタンスに追加することはできません。

クラウドサービスインスタンス購入時にMACアドレスの指定をサポートしていますか。

サポートしていません。MACアドレスはCVMインスタンス構築時にランダムに割り当てられ、指定することはできません。

CVMインスタンスの未使用時間を別のCVMインスタンスに転送できますか。

できません。柔軟性とコストの両方を考慮する必要がある場合は、インスタンスを購入する際に、従量課金制のインスタンスを選択することをお勧めします。

CVMインスタンスのIPアドレスが配置されているリージョンをどのように確認しますか。

CVMインスタンスのIPアドレスは、CVMインスタンスを購入したのと同じリージョンにあります。

CVMインスタンスはデフォルトでデータベースを提供しますか。

CVMインスタンスはデフォルトでデータベースを提供しませんが、ユーザが次の手順でデータベースを利用できます。

データベースを自分で配置します。例えば、[MySQLデータベースをインストール](#) します。

[TencentDB for MySQL](#) サービスを個別に購入します。

イメージマーケットを使用して環境データベースを設定します。

CVMインスタンス上にデータベースを構築できますか。

できます。必要に応じてデータベースソフトと設定環境をインストールすることができ、CVMは制限されません。また、[TencentDB for MySQL](#) サービスを個別に購入することもできます。

インスタンスを強制的に停止できるのはいつですか。CVMインスタンスを強制的に停止すると、どのような影響がありますか。

通常のシャットダウン手段でインスタンスを停止できない場合は、インスタンスを強制的に停止できます。インスタンスを強制的に停止することは、電源切断と同じ、インスタンスOSのディスクに書き込まれていないデータが失われる可能性があります。

システムをリインストールする

最終更新日：2022-07-08 15:42:43

CVMインスタンスのパブリックIPアドレスの変更にはどのような制限がありますか。

CVMインスタンスのパブリックIPアドレスの変更には、次の制限があります。

各アカウントは、同じリージョンのパブリックIPアドレスを1日に最大3回変更できます。

各インスタンスは、パブリックIPを1回しか変更できません。

古いパブリックIPは、パブリックIPが変更された後にリリースされます。

CVMインスタンスでのWebサイトの作成に制限はありますか。

CVMではさまざまなウェブサイトをホストすることができますが、すでにドメイン名を持っている場合や、ドメイン名を介してウェブサイトにアクセスしたい場合は、CVMとドメイン名に基づいて、ウェブサイトのICP登録操作をする必要があるかどうかなどを判断する必要があります。

CVMインスタンスはAmazonウェブサイトアクセスできますか。

CVMインスタンスは、インターネットに正常にアクセスすることを確認できれば、Amazonウェブサイトアクセスできます。

従量課金制のCVMを追加購入するにはどうすればよいですか。

購入可能数量が上限に達している場合、従量課金インスタンスを引き続き購入できない場合があります。詳細については、[購入制限](#)をご参照ください。

CVMリソースクォータを確認するにはどうすればいいですか。

CVMリソースの使用制限とクォータについて、[利用制限一覧](#)をご参照ください。

設定を調整する

最終更新日：2020-07-24 16:39:26

CVMの構成をアップグレード/ダウングレードするにはどうすればよいですか。

システムディスクとデータディスクの両方がクラウドディスクであるインスタンスのみが設定変更をサポートします。

インスタンス設定をアップグレードまたはダウングレードする方法の詳細については、[インスタンス設定の変更](#)をご参照ください。

帯域幅/ネットワーク設定を変更する方法の詳細については、[ネットワーク設定の変更](#)をご参照ください。

設定の変更が有効にならない場合は、[チケットを送信](#)してください。

設定変更履歴を確認するにはどうすればよいですか。

1. [CloudAuditコンソール](#) にログインします。
 2. Event historyページで、実際のニーズに応じて、ユーザ名、リソースタイプ、リソース名などの条件パラメータを選択し、レコードリストを表示します。
- 操作の詳細については、[クイックスタート](#)をご参照ください。

CVMインスタンスの設定を調整できますか。

システムディスクとデータディスクの両方がクラウドディスクであるインスタンスのみが設定変更をサポートします。その中、従量課金インスタンスは設定のアップグレード/ダウングレードをサポートしており、回数制限はありません。

CVMの設定は最大何回までダウングレードできますか。

従量課金インスタンスは設定のアップグレード/ダウングレードをサポートしており、回数制限はありません。

従量課金制インスタンスの仕様と設定をアップグレードできますか。

できます。[インスタンス設定の変更](#)ドキュメントを参照するか、[ResetInstancesType](#) APIを使用して、従量課金制CVMインスタンスの設定をアップグレードできます。

CVMインスタンスのアップグレードにはどれくらいの時間がかかりますか。

CVMインスタンスのアップグレードには約1~2分かかります。

CVMインスタンスのアップグレードにかかるコストはどのように計算されますか。

CVMインスタンスの仕様または設定をアップグレードした後、操作画面に料金情報が表示されます。また、[課金センター](#)で発生した費用の詳細を確認することもできます。

CVMインスタンスをアップグレードすると、クラウド上のサービス設定にどのような影響を与えますか。

CVMインスタンスをアップグレードした後、新しい設定を有効にするにはインスタンスを再起動する必要があります。そのため、アップグレード操作を実行するとサービスが一時的に中断される可能性があります。サービスがビジーでない時にアップグレードすることをお勧めします。アップグレードされたインスタンスはサービスとシームレスに連携するため、CVMインスタンスの環境を再設定する必要はありません。

ダウングレード時にインスタンスの予想返金額が0になるのはなぜですか。

考えられる理由の一つは、インスタンスを割引価格で購入したが、ダウングレードされた設定がインスタンスの元の価格に従って計算されていることです。割引で購入したインスタンスの価格がインスタンスの元の価格以下の場合、すべて0で表示されます。

インスタンスのアップグレードが有効にならないのはなぜですか。

インスタンス設定をアップグレードした後、コンソールまたはAPIを使用してインスタンスを再起動する必要があります。

スポットインスタンス

最終更新日：2023-06-12 14:58:54

インスタンスのリリース

インスタンスが自動的にリリースされた原因について

スポットインスタンスの重要な特徴はシステムが価額あるいは需給関係によって、割り当てられたインスタンスを回収します。市場価格が入札よりも高い場合、またはスポットインスタンスで使用される CVM リソースプールの在庫が不足している場合、システムの中断プロセスをトリガーします。

入札価格の指定でシステム回収を回避できますか？

残念ながら、できません。在庫不足による回収を回避できないので、スポットインスタンスに業務をデプロイするには、インスタンスが回収されることを受け入れる必要があります。

インスタンスが中断されそうになることを検知する方法について

システムが中断される2分前に、Metadata の方式で当該インスタンスを中断して回収することを通知させていただきます。

詳細については、[スポットインスタンスの回収状態の確認](#) をご参照ください。

在庫が回復すると、自動的にスポットインスタンスを申請する方法について

一括コンピューティング、Auto Scaling など、CVM クラスタを自動的に保守できるクラウド製品を使用することをお勧めします。これらの製品が提供する、マルチ機種/アベイラビリティゾーン対応のキャパシティを活用して、指定した数の CVM クラスタをより効率よく保守できます。

価格と料金

スポットインスタンスと従量課金の違いは何ですか？

課金項目	共通点	相違点
スポットインスタンス	課金モデルは全部後払いで、事前に利用料金を支払う必要がないが、一定の金額を凍結する必要があります。CVM をいつでもアクティブ化/廃棄できる。インスタンスの実際の使用量に応じて課金されます。請求時間は秒単位で、1時間ごとに1回請求します。	価格：ほとんどの場合、スポットインスタンスは、仕様が同じで従量課金を使用した場合の10%～20%になります。 リリースメカニズム：従量課金のライフサイクルはユーザーにより

従量課金		管理されます。スポットインスタンスはシステムから回収される可能性があります。 機能制限：設定を変更できません。
------	--	--

市場価格とユーザーが指定した最高入札額のどちらで料金を請求しますか？

市場価格で請求します。比較的高い入札価格を指定することで、価格による回収を未然に防ぐことができます。システムでは、現在の市場価格で料金を請求します（現段階の市場価格は固定されます）。

スポットインスタンスの請求時間はどのように計算されますか？

スポットインスタンスを取得してからリリース（手動またはシステム中断）されるまでとし、秒まで精算します。

すべてのスポットインスタンスの現在の市場価格はどこで確認できますか？

現在、価格確認ページを提供していません。今後、すべてのインスタンスの市場価格を確認できるページを提供します。ほとんどのスポットインスタンスは、同種類で同仕様の従量課金インスタンスの価格の20%で請求します。

スポットインスタンスに関する消費の詳細はどのように確認しますか。

従量課金のインスタンスと同様に、コンソールの上部にある **料金 > 収支明細/リソース請求書** で、インスタンスの詳細な使用情報と課金情報を確認できます。スポットインスタンスは後払いサービスです。

クォータと制限

当該スポットインスタンスはどのリージョンで利用できますか。スポットインスタンスはどのインスタンスタイプと仕様をサポートしていますか？

リージョン	サポートするインスタンスモデルファミリー	割引
北京、上海、成都、重慶、広州Open		
広州（広州ゾーン1を除く）		
中国香港、シンガポール、バンコク、ソウル、東京、ムンバイ、トロント、シリコンバレー、バーヂニア、フランクフルト	すべての従量課金はモデルファミリーをサポートします	同じ仕様の従量課金インスタンスの公表価格の20%に固定する

スポットインスタンスのクォータ制限と従量課金を共有しますか？

いいえ。各ユーザーは各アベイラビリティーゾーンに最大50のスポットインスタンスvCPUコアを持つことができます。各アベイラビリティーゾーンは個別に計算されます（クォータを増やすには、チケットを送信してください）。

スポットインスタンスの仕様をアップグレードまたはダウングレードできますか？

サポートしません。

スポットインスタンスはシャットダウン時無料をサポートしますか？

サポートしません。

スポットインスタンスはOSの再インストールをサポートしますか？

サポートしません。

スポットインスタンスは、クーポン券のを使用しますか？

サポートしません。

ビッグデータ型インスタンスの問題

最終更新日：：2021-08-31 17:07:41

ビッグデータ型インスタンスとは何ですか。

ビッグデータ型インスタンスとは Hadoop 分散コンピューティング、大規模ログ処理、分散ファイルシステム、大型データウェアハウスなどのビジネスシナリオ向けに設計されたCVMインスタンスであり、主にビッグデータ時代の大量ビジネスデータのクラウドコンピューティングとストレージの問題を解決します。

ビッグデータ型インスタンスはどのような業界の顧客とビジネスシナリオに適していますか。

インターネット業界、ゲーム業界、金融業界など、ビッグデータコンピューティングとストレージ分析のニーズを持つ業界のお客様に適しています。大規模データストレージとオフラインコンピューティングのビジネスシナリオを実行し、Hadoop に代表される分散コンピューティングビジネスタイプのインスタンスストレージ性能、容量およびプライベートネットワーク帯域幅に対する多様な要件を十分に満たします。

また、Hadoopに代表される分散コンピューティングビジネスの高可用性アーキテクチャ設計を踏まえ、ビッグデータ型インスタンスはローカルストレージの設計を採用し、大規模なストレージ容量、高いストレージ性能を確保することを前提に、オフラインIDCで独自構築したHadoopクラスターと同等の総所有コストを実現しています。

ビッグデータ型インスタンス製品の特徴

単一インスタンスのスループットは最大2.8GB /秒です。スループット集約型HDDローカルディスクはスループット集約型のベストチョイスであり、Hadoop分散コンピューティング、大規模なログ処理、大型データウェアハウスなどのビジネスシナリオ向けに設計されており、安定した高いシーケンシャルリード/ライトスループット性能を提供します。

ローカルストレージ単価を S2 の1/10まで抑え、ビッグデータシナリオで最も優れたコストパフォーマンスを実現しています。大規模なストレージ容量、高いストレージ性能を確保することを前提に、IDCで独自構築したHadoopクラスターと同等の総コストを実現しています。

2ms~5msのリード/ライトのレイテンシーの、高性能なエンタープライズ版マシンであり、成熟したエンタープライズ開発者向けに定義されたモデルです。

「従量課金制」課金モードをサポートします。

ビッグデータ型インスタンスの仕様

ビッグデータ型インスタンスの仕様については、[ビッグデータ型インスタンスファミリー](#) をご参照ください。

ビッグデータ型ローカルデータストレージの注意事項

ビッグデータ型インスタンスのデータディスクはローカルディスクであることから、**データが失われるリスク**があります（ホストがダウンしている場合など）。自身のアプリケーションでデータ信頼性の高いアーキテクチャを構築できない場合は、CBSをデータディスクとして選択できるインスタンスの使用を強く推奨します。

ローカルディスクを備えたインスタンスの操作とデータ保持の関係は下表に示すとおりです：

操作	ローカルハードディスクデータのステータス	説明
OS再起動/コンソールでインスタンスの再起動/強制再起動	保持	ローカルハードディスクストレージは保持され、データは保持されます。
OSシャットダウン/コンソールでインスタンスのシャットダウン/強制シャットダウン	保持	ローカルハードディスクストレージは保持され、データは保持されます。
コンソールで破棄（インスタンス）	消去	ローカルディスクストレージが消去され、データは保持されません。

ご注意：

ローカルディスクに長期間保存したいビジネスデータを保存しないでください。また適時、データバックアップを作成し、高可用性アーキテクチャを採用してください。長期間保存したい場合は、データをCBSにストレージすることをお勧めします。

ビッグデータ型ローカルディスクの購入方法は。

ローカルディスクのみを個別に購入することはできず、インスタンス作成時にのみローカルディスクを同時購入することができます。ローカルディスクの数量と容量は選択したインスタンス仕様によって決まっています。

ビッグデータ型インスタンスのローカルマシンストレージはスナップショットをサポートしていますか。

サポートしていません。

ビッグデータ型インスタンスはアップグレード/ダウングレード設定とフェイルオーバーをサポートしていますか。

設定の調整はサポートしていません。

ビッグデータ型インスタンスの現在のデータディスクはローカルHDDハードディスクの大規模データストレージ型インスタンスに基づくことから、現状、データディスク障害後（ホストコンピュータのダウン、ローカルディスクの破損など）の切り替えをサポートしていません。データ消失のリスクを防止するため、冗長性と災害耐性をサポートするファイルシステム（HDFS、Mapr-FS など）などの冗長化ポリシーを使用することをお勧めします。また定期的にデータをTencent Cloud Object Storage COSなどの、より持久的なストレージシステムにバックアップすることをお勧めします。[Cloud Object Storage COS](#) をご参照ください。

ローカルディスクが破損した場合は、ローカルディスクを交換する前にCVMインスタンスのシャットダウン操作

を実行する必要があります。CVMインスタンスがすでにダウンしている場合は、メンテナンス操作の実行を通知します。

ビッグデータ型インスタンスファミリーとHigh IO型I2との違いは。

High IO型I2は低レイテンシと高ランダムI/Oのビジネスシナリオ向けに特別に設計されたCVMインスタンスであり、極めて高いIOPS性能を備えていることから、一般的なユースケースは高性能データベース（リレーショナル、NoSQLなど）です。ビッグデータ型インスタンスは、高シーケンシャルリード/ライトと低コストの大容量データストレージのビジネスシナリオ向けに特別に設計されたCVMインスタンスであり、極めて高いストレージコストパフォーマンスと優れたプライベートネットワーク帯域幅を備えています。

ビッグデータ型インスタンスのハードディスクスループット能力は。

シーケンシャルリード/ライトスループットにおけるビッグデータ型D2インスタンスローカルディスクの性能は次のとおりです：

220 + MB/sに達するシングルディスクのシーケンシャルリードのスループット能力、220 + MB/s（ブロックサイズ128KB、ビット深度32）に達するシーケンシャルライトのスループット。

最大2.8GB/s（ブロックサイズ128KB、ビット深度32）に達するマシン全体のスループット。

ビッグデータ型インスタンスのローカルディスクとCloud Block Storage（CBS）の違いは。

Cloud Block Storage CBS CBSインスタンスに効率的で信頼性の高いストレージデバイスを提供します。CBSは、CVMの独立した拡張可能なハードディスクとして使用できる、可用性、信頼性、低コスト、カスタマイズ可能なブロックストレージデバイスです。データブロックレベルのデータストレージを提供することができ、3コピーの分散メカニズムを採用して、CVMインスタンスのためにデータの信頼性を保証し、各種アプリケーションシナリオのニーズを満たします。ビッグデータ型インスタンスのローカルディスクは、Hadoop分散コンピューティング、大規模並列コンピューティング、データウェアハウスなど、ローカルの大規模データセットに対して高いシーケンシャルリード/ライト性能を必要とするビジネスシナリオ向けに特別に設計されています。

その他の質問

最終更新日：：2023-01-09 16:18:14

どのようにCVMの操作ログを確認しますか？

CloudAuditの操作記録機能によってCVMの操作ログを確認することができます。手順は次のとおりです：

1. [CVMコンソール](#) にログインし、画面の右上隅の **ツール** > **操作の記録** を選択します。
2. 「操作の記録」画面で、「リソースイベントの名称」に「CVM」を選択します。その他のフィルタリング条件は必要に応じて選択してください。
3. **照会** をクリックすると、CVMの操作ログを取得できます。

CloudAuditの操作記録機能について、その他の情報をお知りになりたい場合は、[操作記録イベントの詳細を確認](#) をご参照ください。

コンソールでCVMを見つからなかった場合、どのように処理すれば良いですか？

サーバーコンソールで購入したインスタンスを見つからなかった場合、いくつかの理由が考えられます。

1. リソースは現在のリージョンにありません
2. 製品コンソールが間違っています
3. 現在のアカウントにはリソースがありません
4. インスタンスの有効期限が切れるか、支払い延滞でリリースされました
5. ビッドインスタンスが自動的に回収されました
6. リソース不足のため、払い戻しになりました

詳細な説明と処理方法については、[CVMを見つからなかった問題を処置する考え](#) をご参照ください。

CVM CPU周波数の確認方法

仮想マシンは、一部の特権レジスタにアクセスできないため、CPUの基本的なリアルタイム動作周波数情報を読み取ることができません。Linuxインスタンスでは、`/proc/cpuinfo` で表示される周波数は基本周波数のみです。各モデルに対応するCPU型式と周波数の詳細については、[インスタンス仕様](#) をご参照ください。

CVMターボ周波数の有効化方法

すべてのCVMは実行するときにターボ周波数を有効にしているため、追加の設定は必要ありません。プロセッサは、プログラムのCPU負荷要件に従って動作周波数を自動的に調整し、CPUを集中的に使用するプログラムを実行しているときに最高のターボ周波数に到達できます。

ストレージ関連

システムディスクとデータディスク

最終更新日：：2022-09-01 17:36:39

CVMシステムディスクのデフォルト容量はどのくらいですか。

現在、新規購入したCVMシステムディスクのデフォルト容量は50GBです。

CVMのシステムディスクをローカルディスクからCBSに変更できますか。

CVMインスタンスの購入時

購入時に、直接CVMシステムディスクをハードディスクタイプとして選択できます。

購入済みのCVMインスタンス

購入されたCVMのあるアベイラビリティゾーンに利用可能なCBSがある場合は、[ディスクメディアの調整](#)機能を使用して、システムディスクをローカルディスクからCBSに切り替えることができます。

システムディスクが50GBを超えるような調整は、どのリージョンのアベイラビリティゾーンでサポートされていますか。

システムディスクがCBSであれば、スナップショットをサポートしているすべてのリージョンで、50GBを超えるシステムディスクの調整が可能です。

システムの再インストール時に、CVMシステムディスクはスケールアウトをサポートしていますか。

以下の2つの状況に分かれます。実際の状況に応じて以下をご参照ください。

システムディスクがCBSの場合：

スケールアウトはサポートしていません。

システムディスクがローカルディスクの場合：

システムの再インストール時に、現在のシステムディスクのサイズに応じて、以下の2つの状況に分かれます。

購入時のシステムディスクのデフォルト容量が50GBのインスタンスは、スケールアウトをサポートしていません。

この状況は初期に購入したインスタンスに適用します：システムディスクの容量が20GB以下の場合、デフォルトで再インストールし、20GBにします。システムディスクの容量が20GBを超える場合、デフォルトで再インストールし、50GBにします。

システムディスクはスケールアウト後の再インストールによりスケールインすることが可能ですか。

システムディスクはスケールインをサポートしていません。

CVMインスタンスの現在のデータを保存しつつ、システムディスクを拡張するにはどうすればよいですか。

具体的な操作については、[システムディスクの拡張](#)をご参照ください。

50GB未満の小容量の既存イメージを選択し、それをCVMの作成または再インストールに使用する場合、システムディスクの大きさはどれくらいになりますか。

選択した小イメージはシステムディスクの大きさに影響しません。最低はいずれも50GBです。

CVMシステムディスクはパーティションをサポートしていますか。

サポートしていますが、システムディスクにパーティション操作を行うことはお勧めしません。

サードパーティツールを使用して強制的にシステムディスクのパーティション操作を行うと、システムのクラッシュやデータ消失などの未知のリスクが発生することがあります。システムディスクをスケールアウトしてからパーティション操作を行うことができます。

CBSの使用についてのご質問

最終更新日：2021-08-02 16:28:26

データディスクを表示するにはどのようにすればよいですか。

1. [CVMコンソール](#) にログインします。
2. 左側のナビゲーションバーでクラウドディスクを選択し、管理ページに進みます。
3. プロパティカラムをクリックし、データディスクにチェックを入れて、【OK】をクリックすると、リージョン内のすべてのデータディスクが表示されます。

WindowsシステムをLinuxシステムに再インストールした後、元のNTFSタイプのデータディスクを読み書きするにはどうすればよいですか。

Windowsのファイルシステムでは一般的にNTFSまたはFAT32フォーマットが使われていますが、Linuxのファイルシステムでは一般的にEXTシリーズのフォーマットが使われます。再インストール後にOSをWindowsからLinuxに変更しても、データディスクは元の形式のままです。したがって、再インストールした後のシステムがデータディスクのファイルシステムにアクセスできない可能性があります。この場合、元のデータを読み込むには、フォーマットコンバータを使用する必要があります。操作の詳細について、[Windows CVMをLinux CVMに再インストールした後のNTFSタイプのデータディスクの読み取り/書き込み](#) をご参照ください。

LinuxシステムをWindowsシステムに再インストールした後、元のEXTタイプのデータディスクを読み書きするにはどうすればよいですか。

Windowsのファイルシステムのフォーマットは通常NTFSまたはFAT32で、Linuxのファイルシステムのフォーマットは通常EXTシリーズです。OSをLinuxからWindowsに再インストールした場合、OSのタイプには変更が生じますが、データディスクは元のフォーマットのままです。再インストール後のシステムで、データディスクのファイルシステムにアクセスできない状況が発生する可能性があります。この場合は、フォーマットコンバータで元のデータを読み取る必要があります。具体的な操作については、[LinuxにWindowsを再インストールした後の元のEXTタイプデータディスクの読み取り](#) をご参照ください。

通常のCBS、高性能CBS、SSD CBS、強化型SSD CBS、超高速型SSD CBSにはどのような違いや共通点がありますか。

通常のCBS：Tencent Cloudが提供する1つ前の世代のCBSタイプです。データへのアクセスが頻繁でないI/O負荷の低い業務シナリオに適しています。

高性能CBS：Tencent Cloudが打ち出した混合型ストレージタイプです。CacheのメカニズムによってSSDによく似た高性能ストレージ性能を提供すると同時に、3つの複製による分散型のメカニズムによってデータの信頼性を保証します。高性能CBSは、データ信頼性に対する要求が高く、性能要件が普通・中程度の中小型のユースケースに適しています。

SSD CBS：フルNVMe SSD記憶媒体をベースに、3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、高ランダムIOPS、高スループットのI/O性能およびデータの安全性が99.9999999%となる高性能ストレージ

を提供します。SSD CBSはI/O性能に対する要求が比較的高いシナリオに適しています。

強化型SSD CBS：Tencent Cloudが新世代ストレージエンジンをベースに設計し、フルNVMe SSD記憶媒体を基盤として提供する製品タイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、高ランダムIOPS、高スループットのI/O性能およびデータの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。強化型SSD CBSは、中型データベース、NoSQLなどのレイテンシーに対する要求が非常に高いI/Oバウンド型シナリオに適しています。

超高速型SSD CBS：Tencent Cloudが新世代ストレージエンジンをベースに設計し、Intelの最新ストレージハードウェアと最新ネットワークインフラを基盤として提供する製品タイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、超低レイテンシー、高ランダムIOPS、高スループットのI/O性能、データの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。超高速型SSD CBSは、大型データベース、NoSQL、KV、ES、AIのリコメンドーションなど、レイテンシーに対する要求が非常に高いI/Oバウンド型シナリオに適しています。

説明：

現在、通常販売のCBSの料金は、地域ごとに異なります。アプリケーションプログラムの要件および予算に応じて必要なCBSタイプをお選びください。詳しい料金については、[CBS価格一覧](#)をご参照ください。

ハードディスクのタイプと性能に関するより詳しい情報については、[CBSタイプ](#)をご参照ください。

ディスク性能はどのようにテストしますか。

クラウドディスクでストレステストと検証を実行するには、FIOを使用することをお勧めします。具体的な操作については、[クラウドディスクのパフォーマンスの測定](#)をご参照ください。

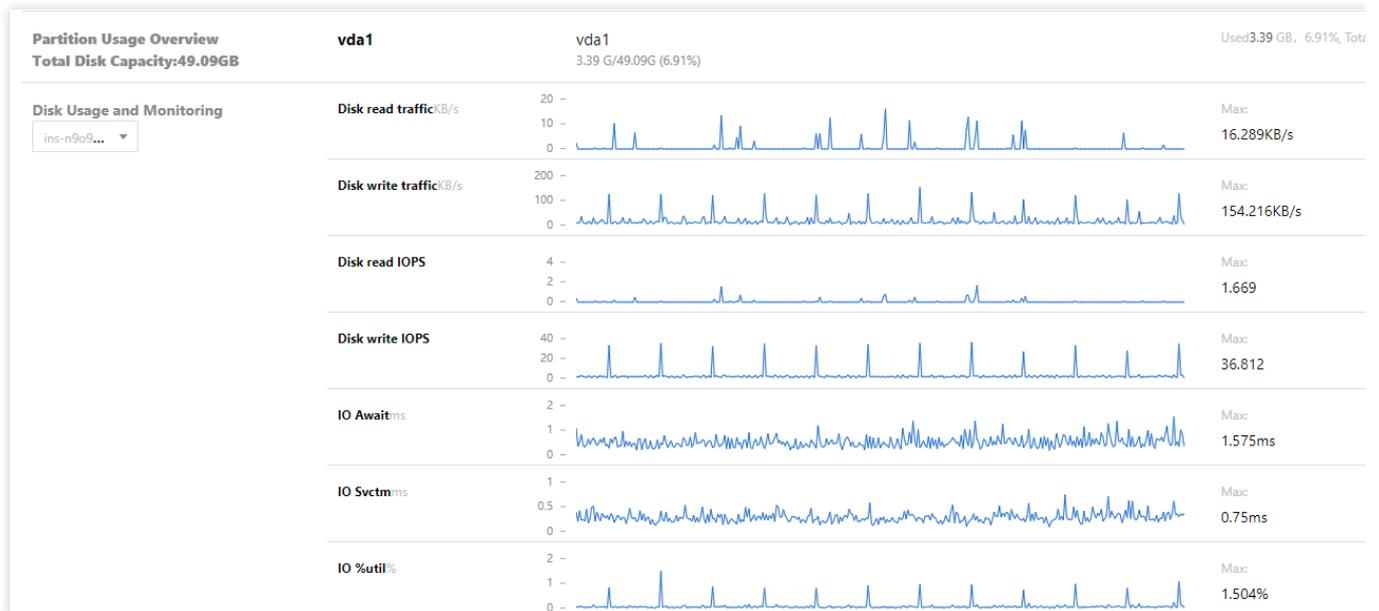
クラウドディスクに関する一般的な操作は何ですか。

クラウドディスクに関する一般的な操作については、[操作一覧](#)をご参照ください。

CBSの使用状況と空き容量はどうすれば確認できますか。

CVMインスタンスにログインして、クラウドディスクの使用可能なスペースと使用済みスペースを確認できます。CVMコンソールからクラウドディスクの使用状況を確認することもできます。手順は次のとおりです。

1. [CVMコンソール](#)にログインし、「インスタンス」リストページに進みます。
2. ターゲットインスタンスのIDを選択して、インスタンスの詳細ページに入ります。
3. インスタンス詳細ページで、[モニタリングタグ](#)を選択すれば、当該インスタンスのCBS使用状況を確認できます。下図のとおりです。



単独で作成したCBSがインスタンスと一緒にリリースされるのはなぜですか。

クラウドディスクをマウントするときに、インスタンスとともに自動的にリリースされるかどうかを設定できます。[CBSコンソール](#)、または[ModifyDiskAttributes API](#)を介して、クラウドディスクがインスタンスと共にリリースされる機能を有効または無効に設定できます。

クラウドディスクをマウントした後、パーティションとフォーマットを実行する方法はありますか。

具体的な操作については、[クラウドディスクの初期化（2TB未満）](#) 或は [クラウドディスクの初期化（2TB以上）](#) をご参照ください。

CBSの拡張と縮小に関するご質問

最終更新日：：2022-01-11 10:02:36

CBSではどのように容量を拡張しますか。

お客様のCVMがCBSサーバーの時は、容量を拡張することができます。操作ガイドについては、[CBS拡張](#)をご参照ください。

CBSの容量を圧縮することはできますか。

Tencent CloudはCBSの容量の圧縮をサポートしていません。購入されたCBSについて大きく容量を縮小したい場合は、先に適切な容量の新しいCBSを作成してマウントし、旧ディスクの必要なデータを新しいディスク上にコピーしてから、旧ディスクをリリースすることを推奨します。

システムディスクはどのようにして拡張しますか。

Tencent Cloudでは、CVMコンソール経由でのシステムディスクの拡張をサポートしています。操作ガイドについては、[システムディスクの拡張](#)をご参照ください。

全タイプのCBSがシステムディスクの容量拡張をサポートしていますか。

SSD CBS、高性能CBS、通常のCBSはシステムディスクの拡張をサポートしています。

従量課金制のCVMインスタンスはいずれもシステムディスクの拡張をサポートしていますか。

従量課金制のCVMインスタンスはいずれもシステムディスクの拡張をサポートしています。

スナップショットの使用に関する問題

最終更新日：2022-05-06 14:57:08

スナップショットにリージョンによる制限はありますか。

現在、スナップショット機能はすでにすべてのアベイラビリティゾーンをサポートしています。

スナップショットの作成はハードディスクの性能に影響しますか。

スナップショットの作成では、少量ですがCloud Block Storage (CBS) のI/Oが占有されます。業務がアイドル状態のときにスナップショット操作を実行することをお勧めします。

スナップショットの作成からスナップショットが使用可能になるまでにどのくらいの時間が掛かりますか。

スナップショットの作成時間はCBS書き込み量、底層の読み取り書き込み状況など各種要因の影響を受けるため、予測は困難ですが、スナップショットの作成はハードディスクの正常な使用に影響しません。

スナップショットをロールバックするにはシャットダウンが必要ですか。

CVM上にマウントされているCBSでは、ロールバック時にCVMをシャットダウンする必要があります。マウントされていないCBSでは、ロールバック操作を直接実行できます。

CBSの初回フルスナップショット容量の計算方法は。

CBSが作成する初回のスナップショットはフルスナップショットであり、このCBSに特定時刻のすべてのデータがバックアップされます。スナップショットの容量はCBSの使用済み容量と同じです。例えば、あるCBSの総容量が200GBで、122GBが使用済みである場合、初回フルスナップショットのサイズは122GBとなります。

CVMインスタンススナップショットはローカルにダウンロードまたはエクスポートできますか。

スナップショットはローカルにダウンロードまたはエクスポートできません。

手動スナップショットと定期スナップショットに区別や競合がありますか。

使用中に競合はありませんが、作成プロセス中に時間が競合する可能性があります。

自動スナップショットがディスクで実行されている場合、ユーザーは自動スナップショットが完了するのを待ってカスタムスナップショットを作成する必要があります（その逆も同様です）。

ディスクのデータ量が大きく、1回のスナップショット時間が2つの自動スナップショット時点の間隔を超えている場合は、次の時点は自動スナップショットされず自動ジャンプされます。例えば、ユーザーが9:00、10:00および11:00を自動スナップショット時点に設定し、9:00に実行した自動スナップショットの使用時間が70分（10:10に完了）である場合、10:00に自動スナップショットは実行されず、次のスナップショット時点は11:00となります。

ローカルディスクはスナップショットの作成をサポートしていますか。

サポートしていません。アプリケーション層でデータ冗長性処理を実行するか、またはクラスターのデプロイメントセットを作成し、アプリケーションの高可用性を高めることをお勧めします。

CBSがリリースされた後、ローカルスナップショットはCBSとともにリリースされますか。

されません。関連のスナップショットを削除したい場合は、コンソールに移動するか、またはAPIを使用して削除してください。詳細については [スナップショットの削除](#) をご参照ください。

ファイルシステムで確認するとディスクの使用量とスナップショットのサイズが異なるのはなぜですか。

CBSスナップショットは、ブロックレベルを基にしたクローンバックアップです。通常、スナップショット容量はファイルシステムによって統計されるデータ量より大きく、両者の容量が異なる原因は次のとおりです。

底層データブロックにはファイルシステムのメタデータがストレージされます。

データの削除。データが削除されると、書き込まれたデータブロックに変更が加えられますが、スナップショットでは変更されたすべてのデータブロックに対するデータのバックアップが作成されます。

Tencent Cloudによって削除されずにスナップショットを保持する方法は。

Tencent Cloudアカウントの料金が未払いとならないようにします。アカウントの料金が未払いである場合、スナップショットは「隔離済み」ステータスに移行し、「隔離済み」ステータスのスナップショットは30日間保持されます。この期間に残高が0以上になるまで料金がチャージされない場合は、期限到来後にこのアカウントのすべてスナップショット（イメージスナップショットを除く）が削除されます。

定期スナップショットポリシーの保持時間属性を長期的な保持に変更します。CBSの自動スナップショットが上限に達した後、作成時間が最も早い自動スナップショットが自動的に削除されます。詳細な手順については、[定期スナップショット](#) をご参照ください。スナップショットクォータについては [使用制限](#) をご参照ください。

スナップショットを削除し、バックアップの使用コストを削減する方法は。

CBSのスナップショットは、コンソールで直接、またはAPIを介して削除できます。具体的な操作方法については、[スナップショットの削除](#) をご参照ください。

カスタムイメージにバインドされたスナップショットは、まずカスタムイメージを削除し、その後 [スナップショットの削除](#) を実行する必要があります。

インスタンスの期限切れ後またはCBSリリース後に、自動スナップショットは削除されますか。

自動スナップショットは、定期スナップショットポリシーの保持時間の設定に従い、インスタンスの期限切れまたはCBSのリリースによって自動的に削除されません。定期スナップショットポリシーを変更したい場合は、[定期スナップショット](#) をご参照ください。

イメージ、CBSの作成済みのスナップショットを削除する方法は。

CBSを作成済みのスナップショットは、個別に削除できます。スナップショットを削除すると、元のスナップショットデータステータスに依存する業務を操作できなくなります。

カスタムイメージを作成済みのスナップショットは、まず対応するイメージを削除し、その後、スナップショットを削除する必要があります。

インスタンスを作成済みのイメージは、個別に削除できます。イメージを削除すると、元のスナップショットデータステータスに依存する業務を操作できなくなります。

定期スナップショットを使用してカスタムイメージまたはCBSを作成した場合、スナップショットポリシーの実行に失敗しますか。

与えません

1つのCBSに複数の自動スナップショットポリシーを設定できますか。

削除できません。

エラー操作によって引き起こされるデータ損失を回避する方法は。

重要なシステムファイルの修正、インスタンスの基幹ネットワークからVPCへのマイグレーション、日常的なデータバックアップ、インスタンスの誤ったリリース/リカバリ、ネットワーク攻撃の予防、OSの入れ替え、本番環境へのデータサポートの提供などその他操作リスクを伴うシナリオでは、事前に [スナップショットの作成](#) を実行してデータをバックアップできます。エラー操作の発生を防止する場合は、[スナップショットからのデータロールバック](#) を実行して直ちにリスクを低減できます。

以前、広州リージョンにインスタンスがあり、それにバインドされたデータディスクにスナップショットがありました。このインスタンスが期限切れでリリースされた後、広州リージョンでインスタンスを新たに購入した場合、スナップショットを使用して以前のインスタンスデータにロールバックできますか。

できません。スナップショットを使用してデータをロールバックするには、当初のインスタンスにロールバックする必要があります。以前のデータディスクのスナップショットを使用してCBSを作成し、さらにCBSを新たなインスタンスにマウントすることができます。具体的な手順については、[スナップショットからCBSを作成とCBSのマウント](#) をご参照ください。

スナップショットとイメージは何が違うのですか。

インスタンスにデータディスクがマウントされず、すべてのデータがシステムディスクに書き込まれていると仮定した場合、イメージの作成だけではこのシステムディスクに対するデータ保護を実現できません。イメージには定期的な作成機能がないため、このシステムディスクのデータが破損すれば、イメージ作成時の初期データまでしか追跡することができず、データ保護の機能が発揮されません。詳細な区別は下表のとおりです。

名称	スナップショット	イメージ
性質	特定時点のCBSに対するデータバックアップ	CVMソフトウェアの構成（OS、プリインストールプログラムなど）のテンプレート

適用 ケース	重要業務データの定期的なバックアップ 重大な操作前のデータバックアップ 生産データのマルチコピーアップリケーション	短期的に変更しないシステムのバックアップ アプリケーションのバッチデプロイ システムのマイグレーション
-----------	---	---

AアカウントのスナップショットデータをBアカウントにマイグレーションする方法は。

スナップショットはマイグレーションをサポートしていません。必要に応じて、スナップショットでイメージを作成し、その後、他のアカウントと共有することができます。

データディスクのスナップショットでカスタムイメージを作成できますか。

できません。カスタムイメージを作成するスナップショットのCBS属性はシステムディスクである必要があります。

データのバックアップと復元に関する質問

最終更新日：2020-10-14 14:44:17

CVMのデータバックアップはどのように行いますか。

CVMがCBS ホストである場合、システムディスクのカスタマイズイメージとデータディスクのスナップショットを作成することにより、業務データをバックアップできます。

カスタマイズイメージを作成するには、[カスタマイズイメージの作成](#)をご参照ください。

スナップショットを作成するには、[スナップショットの作成](#)をご参照ください。

CVMがローカルディスクホストである場合、カスタマイズイメージを作成することにより、システムディスクをバックアップできます。ただし、データディスク内の業務データについて、バックアップポリシーをカスタマイズする必要があります。

通常、FTP方式を利用してサーバーから他の場所にデータをバックアップできます。詳細のFTPデプロイ方法については、次を参照してください：

Windows OS：[Windows インスタンスでFTPサービスを構築する](#)

Linux OS：[Linux インスタンスでFTPサービスを構築する](#)

一般的なデータのバックアップとリカバリー方法は何かですか。

さまざまなユースケースと業務要件によって適切なデータのバックアップとリカバリー方法も異なります。以下は一般的な利用方法の一部であり、実際の状況に応じて採用してください。

定期的に [CBS スナップショット](#) 機能を利用して、インスタンスをバックアップします。

アプリケーションの重要コンポーネントを複数のアベイラビリティーゾーンにデプロイし、データを適切にコピーします。

[Elastic IP](#) を利用して、ドメイン名をマッピングします。サーバーが利用できない時にサービスIP を別のCVMインスタンスに迅速にリダイレクトできます。

監視データを定期的に確認し、適切なアラームを設定します。詳細については、[クラウド監視](#)をご参照ください。

[Auto Scaling](#) を利用して、突発的なリクエストを処理します。詳細については、[Auto Scaling](#)をご参照ください。

イメージ関連

カスタムイメージ

最終更新日：：2023-06-25 17:49:49

Windowsシステムがカスタムイメージの作成に失敗した場合はどうしたらいいですか。

Windowsシステムがカスタムイメージの作成に失敗した場合は、次のように問題のトラブルシューティングを行うことができます。

1. カスタムイメージの作成は、Microsoft独自のWindows Modules Installerサービスに依存しているため、このサービスが正常に機能していることを確認してください。
2. カスタムイメージ作成スクリプトの実行は、一部のウイルス対策ソフトまたはSafedogによってブロックされるため、作成に失敗しないように、カスタムイメージを作成する前にこれらのツールを無効にすることをお勧めします。
3. イメージ作成ツールは、実行中にシステムのポップアップウィンドウによって中断された場合は、CVMにリモートでログインして確認し、ポップアップウィンドウを表示しないようにCVMの構成を調整してください。

データディスクのスナップショットからカスタムイメージの作成は可能ですか。

いいえ。カスタムイメージは、システムディスクのスナップショットから作成できますが、データディスクのスナップショットからは作成できません。

新しいインスタンスを起動すると同時に、元のインスタンスのデータディスクのデータを保持する必要がある場合、最初にデータディスクのスナップショットを作成してから、このデータディスクのスナップショットを使用して新しいCBSデータディスクを作成できます。詳細については、[スナップショットを使用したクラウドディスクの作成](#)のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

ローカルディスクはカスタムイメージをサポートしていますか。

インスタンスのシステムディスクがローカルディスクの場合は、カスタムイメージを作成できます。

インスタンスのデータディスクがローカルディスクの場合は、インスタンスのシステムディスクのイメージのみを作成できます。

データディスクがマウント解除され、カスタムイメージを作成できることを確認するにはどうすればよいですか。

1. `/etc/fstab` ファイル内で、自動マウントされたデータディスクのパーティションステートメント行がすでに削除されていることを確認します。
2. `mount` コマンドを実行して、すべてのデバイスのマウント情報を確認します。実行結果に対応するデータディスクのパーティション情報が含まれていないことを確認してください。

インスタンスがリリースされた後もカスタムイメージは存在しますか。

存在します。

カスタムイメージから作成されたインスタンスのOSを変更できますか。OSを変更した後も、元のカスタムイメージを使用できますか。

はい。OSを変更した後も、元のカスタムイメージを引き続き使用できます。

カスタムイメージによって有効化されたCVMインスタンスのCPU、メモリ、帯域幅、ディスク、およびその他の構成をアップグレードできますか。

はい。それらすべてをアップグレードできます。詳細については、[インスタンス構成の変更](#)と[ネットワーク構成の変更](#)のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

クロスリージョンでカスタムイメージを使用できますか。

いいえ。カスタムイメージは同じリージョン内でのみ使用できます。例えば、華東地区（上海）のCVMインスタンスから作成されたカスタムイメージを使用して、華東地区（南京）のCVMインスタンスを直接起動することはできません。

クロスリージョンでカスタムイメージを使用したい場合は、まずイメージをターゲットリージョンにコピーしてください。詳細については、[イメージのコピー](#)のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

イメージ作成の進行状況はどこで確認できますか。イメージの作成にはどのくらい時間がかかりますか。

CVMコンソールのイメージ管理画面でイメージ作成の進行状況を確認できます。イメージの作成にかかる時間は、インスタンスのデータのサイズによって異なります。

イメージのコピー

最終更新日：：2021-10-27 17:33:38

どのような状況でイメージをコピーする必要がありますか。

カスタムイメージは同一リージョンでのみ使用でき、クロスリージョンでは直接使用できません。以下の操作が必要です。

CVMインスタンス上のアプリケーションを複数のリージョンにデプロイします。

CVMインスタンスをその他のリージョンに移行します。

クロスリージョンではカスタムイメージを使用します。

[イメージをコピーする](#) によって解決できます。

どのイメージをコピーできますか。

イメージのコピーはカスタムイメージのみをサポートしています。パブリックイメージおよび別人がお客様に共有するイメージはサポートしません。

現在、どのリージョンがイメージコピー機能をサポートしていますか。

中国大陸リージョン内、その他の国および地域内でのイメージコピーをサポートしています。中国大陸リージョンから他の国および地域にイメージをコピーしたい場合、または他の国および地域から中国大陸リージョンにイメージをコピーしたい場合は、[チケットを提出](#)して申請してください。

中国台北では現在イメージコピー機能はサポートしていません。

1個のイメージをコピーするのに、およそどのくらい時間がかかりますか。

イメージのコピーにかかった時間は、ネットワークの伝送速度とタスクキューの長さによって異なります。イメージのコピーには、ネットワークを介して1つのリージョンのアベイラビリティゾーンのイメージファイルを、ターゲットリージョンのアベイラビリティゾーンに伝送する必要があるため、しばらくお待ちください。

イメージのコピーはどのように課金しますか。

リージョン間でイメージをコピーしても料金はかかりませんが、コピーされたイメージはスナップショット容量を占有し、費用は発生します。詳細については、[スナップショット価格一覧](#) をご参照ください。

アカウントのイメージリソースをその他のTencent Cloudアカウントのその他のリージョンにコピーするにはどうすればいいですか。

まずご自身のイメージをターゲットリージョンにコピーしてから、ターゲットリージョンのイメージを先方のTencent Cloudアカウントに共有します。イメージが共有されると、先方のTencent Cloudアカウントの共有イメージリストからこのイメージを表示します。

イメージコピーに容量制限はありますか。

制限はありません。

カスタムイメージの共有に関する質問

最終更新日：2024-05-16 10:20:39

イメージごとに最大何人のユーザーに共有できますか。

500人です。

共有イメージに対して、その名前と説明を変更できますか。

変更できません。

共有イメージは自身のイメージクォータを占有しますか。

占有しません。

共有イメージでCVMインスタンスを作成および再インストールする際に、リージョンの制限はありますか。

リージョンの制限はあります。共有イメージは、ソースイメージと同じリージョンにある必要があります。CVMインスタンスは、同じリージョンでのみ作成および再インストールできます。

共有イメージは他のリージョンにコピーできますか。

できません。

他のユーザーを共有しているカスタムイメージを削除できますか。

削除できますが、先にこのカスタムイメージのすべての共有をキャンセルする必要があります。

他のユーザーが共有しているイメージは削除できますか。

削除できません。

他のユーザーが共有するカスタムイメージを使用するリスクは何ですか。

他のユーザーが共有するイメージを使用する場合、Tencent Cloudはこの共有イメージの完全性とセキュリティを保証しません。共有イメージを使用する場合はご自身でリスクを負うこととなりますので、信頼できるアカウントで共有されているイメージを選択してください。

他人が共有してくれたイメージを別の他人に共有できますか。

できません。

カスタムイメージをその他のアカウントに共有するリスクは何ですか。

データやソフトウェアの漏洩が発生する可能性があります。カスタムイメージをその他のアカウントと共有する前には、そのイメージにデリケートでセキュリティにかかる重要なデータやソフトがないか確認してください。共

有イメージを取得したアカウントは、共有イメージからCVMインスタンスを作成して、さらにCVMインスタンスからより多くのカスタムイメージを作成することができます。この中のデータは絶えず転送すると、漏洩のリスクが高まります。

他のユーザーと共有したイメージを使用してインスタンスを作成できますか。

できます。イメージをその他のアカウントに共有した後も、このイメージを使用してCVMインスタンスを作成できます。CVMインスタンスに基づいてカスタムイメージを作成することもできます。

華北地域のサーバーAで作成されたイメージを華東地域のサーバーBと共有できますか。

両方のサーバーが同じアカウントの下にある場合は、イメージを直接華東地域にコピーしてサーバーBで使用させることができます。詳細な手順については、[イメージのコピー](#)をご参照ください。

両方のサーバーが異なるアカウントの下にある場合は、まずイメージを華東地域にコピーしてから、サーバーBのアカウントと共有する必要があります。詳細な手順については、[イメージのコピー](#)、[カスタムイメージの共有](#)、[カスタムイメージ共有のキャンセル](#)をご参照ください。

イメージの変更（システムの再インストール）

最終更新日：：2020-07-23 16:37:37

CVMはOSの再インストールをサポートしていますか。

OSを再インストールすることは、システム障害が発生した場合にインスタンスを初期状態に復元するための重要な方法です。具体的な操作ガイドについては、[システムの再インストール](#)をご参照ください。

CVMはOSを再インストールするのにどれぐらいの時間がかかりますか。

再インストールには、通常10～30分かかります。

OSの再インストールが遅い、または失敗した場合はどうすればいいですか。

OSの再インストールは一般的には操作後10～30分かかります。

30分未満の場合は、しばらくお待ちください。

OSの再インストール時間が長すぎるか、または失敗した場合は、[チケットを送信](#)してご連絡ください。

OSを再インストールするとデータが失われますか。

再インストール後、サーバーのシステムディスク上のすべてのデータがクリアされ、システムディスクが初期状態に戻ります。サーバーのデータディスク上のデータは失われませんが、使用するにはデータディスクを手動でマウントする必要があります。

CVMのOSを既存のイメージに置き換えるにはどうすればよいですか。

詳細な操作については、[システムの再インストール](#)をご参照ください。

InitとCloudbase-init

最終更新日：：2022-09-01 17:36:40

Cloud-Init

Cloud-Initとは何ですか。

Cloud-Initはオープンソースツールで、CVMインスタンス内部の非常駐サービスで動作します。起動時に実行され、実行が完了するとすぐに終了し、どのポートも監視しません。

Tencent CloudのLinuxパブリックイメージはすべてCloud-Initサービスがあらかじめインストールされています。

Cloud-Initサービスは主にCVMインスタンスの初期化操作（例：DNS、Hostname、IPなどの情報の設定）を実現するために用いられ、ユーザーがCVMインスタンスを作成する時に初回起動時に実行するように指定したカスタムスクリプトを実行するため、rootユーザーでCloud-Initサービスを実行する必要があります。

Linuxインスタンス内部のCloud-Initサービスが正常に動作しているかどうかを確認するにはどうすればよいですか。

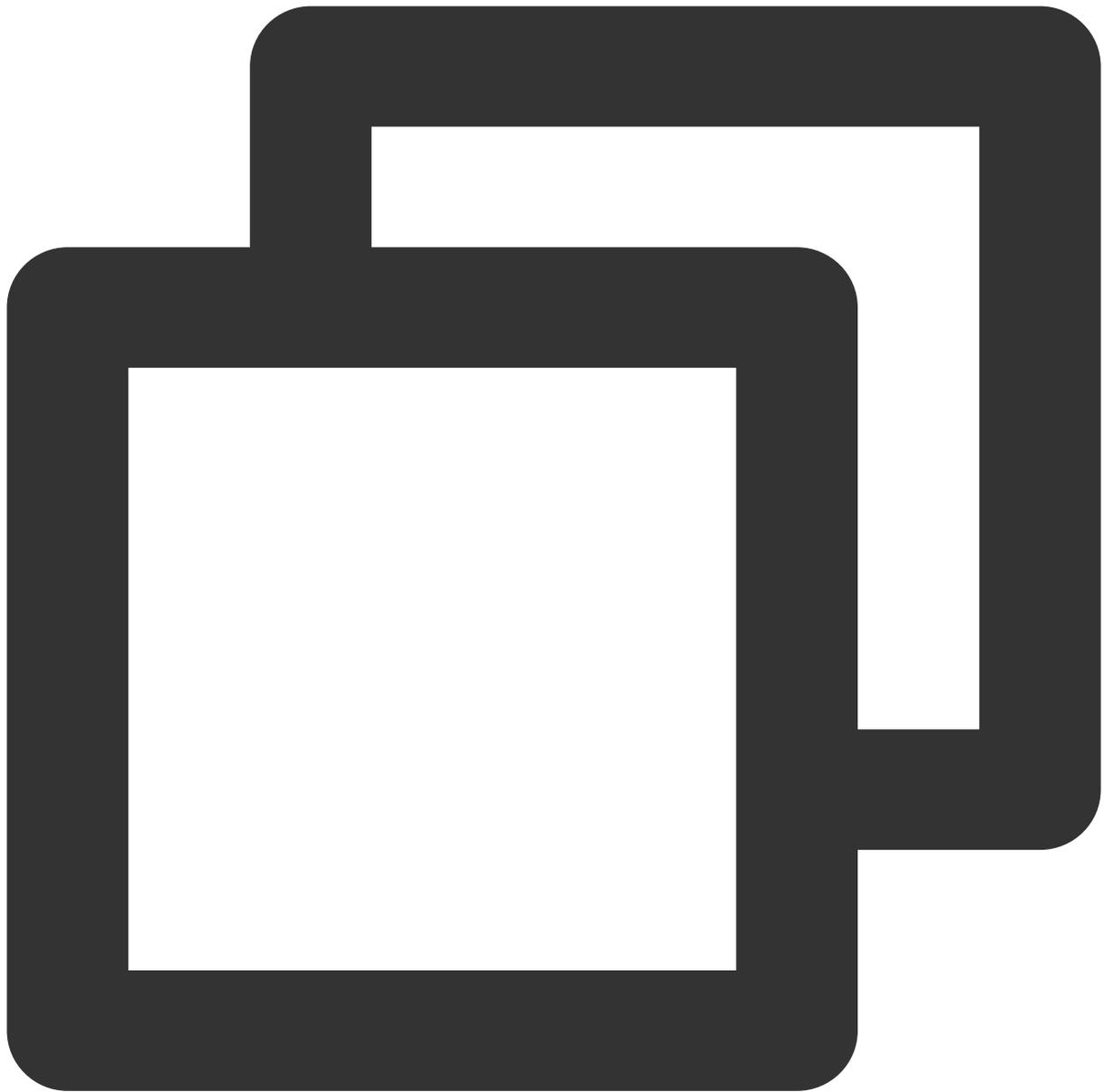
Cloud-Initサービス動作確認プログラム

[標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン（推奨）](#)を参照してインスタンスにログインし、以下のコマンドを順に実行します。エラーが報告されるかどうかを観察し、実行結果が表示されればサービスは正常に実行されています。表示されない場合、エラーの原因が表示されますので、表示された内容に従ってトラブルシューティングを行ってください。

説明：

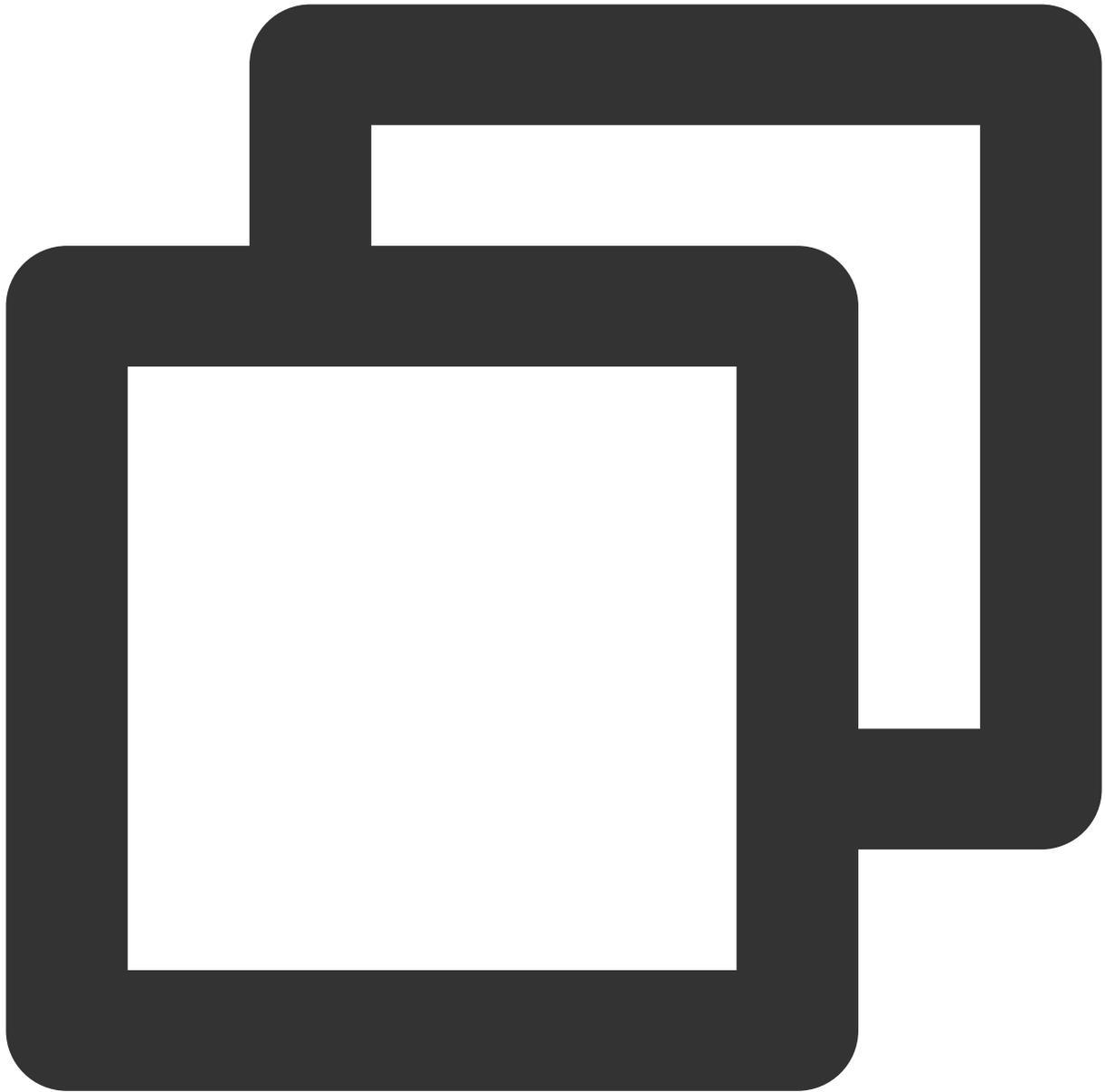
このステップは、Linuxパブリックイメージを使用して作成されたCVMインスタンスにのみ適用されます。ご自身でCloud-Initをインストールした場合は、実情に即して実行コマンドを調整してください。

1. cloud-initキャッシュディレクトリを削除します。



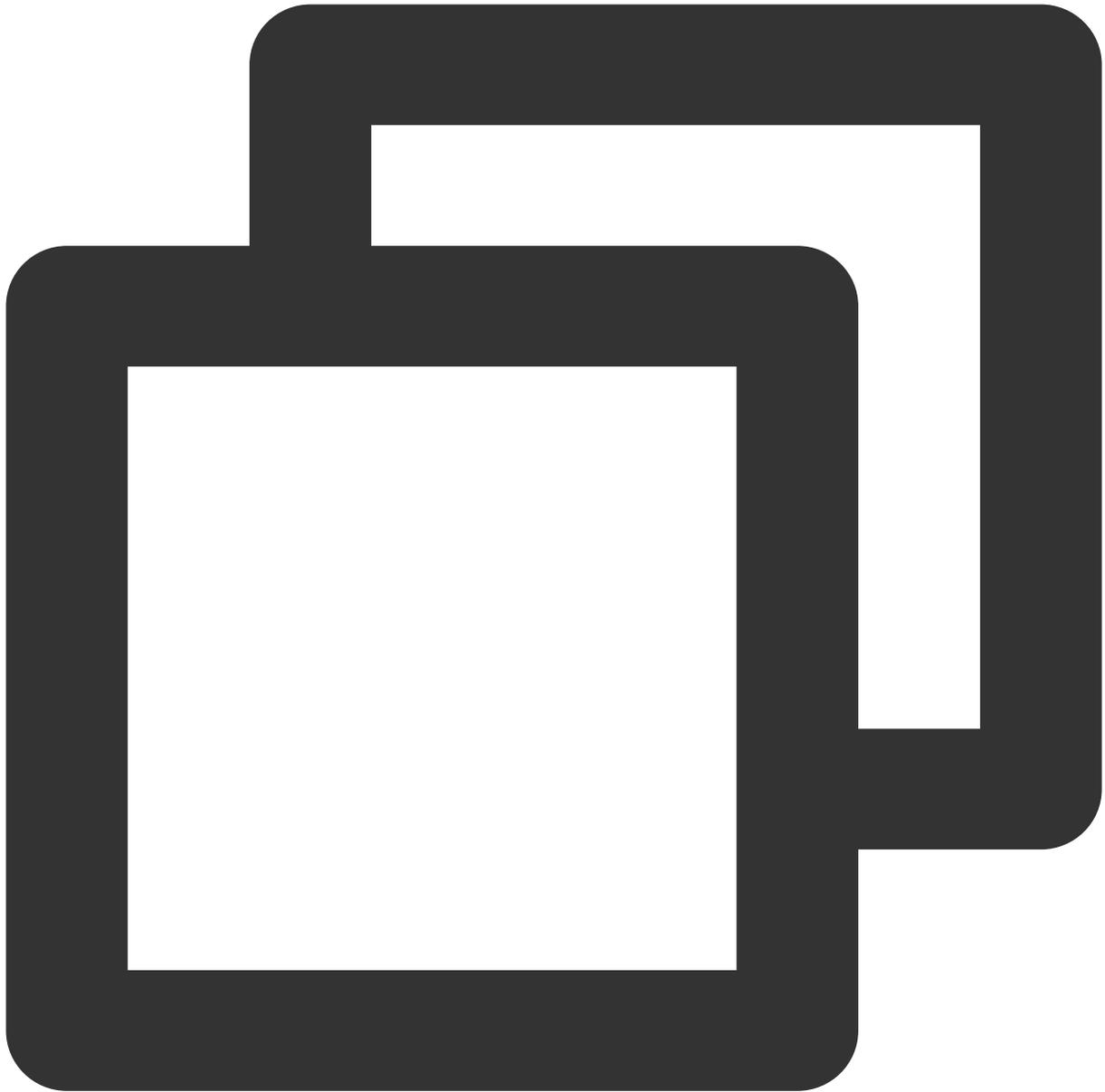
```
rm -rf /var/lib/cloud
```

2. cloud-init全体の初期化を実行します。



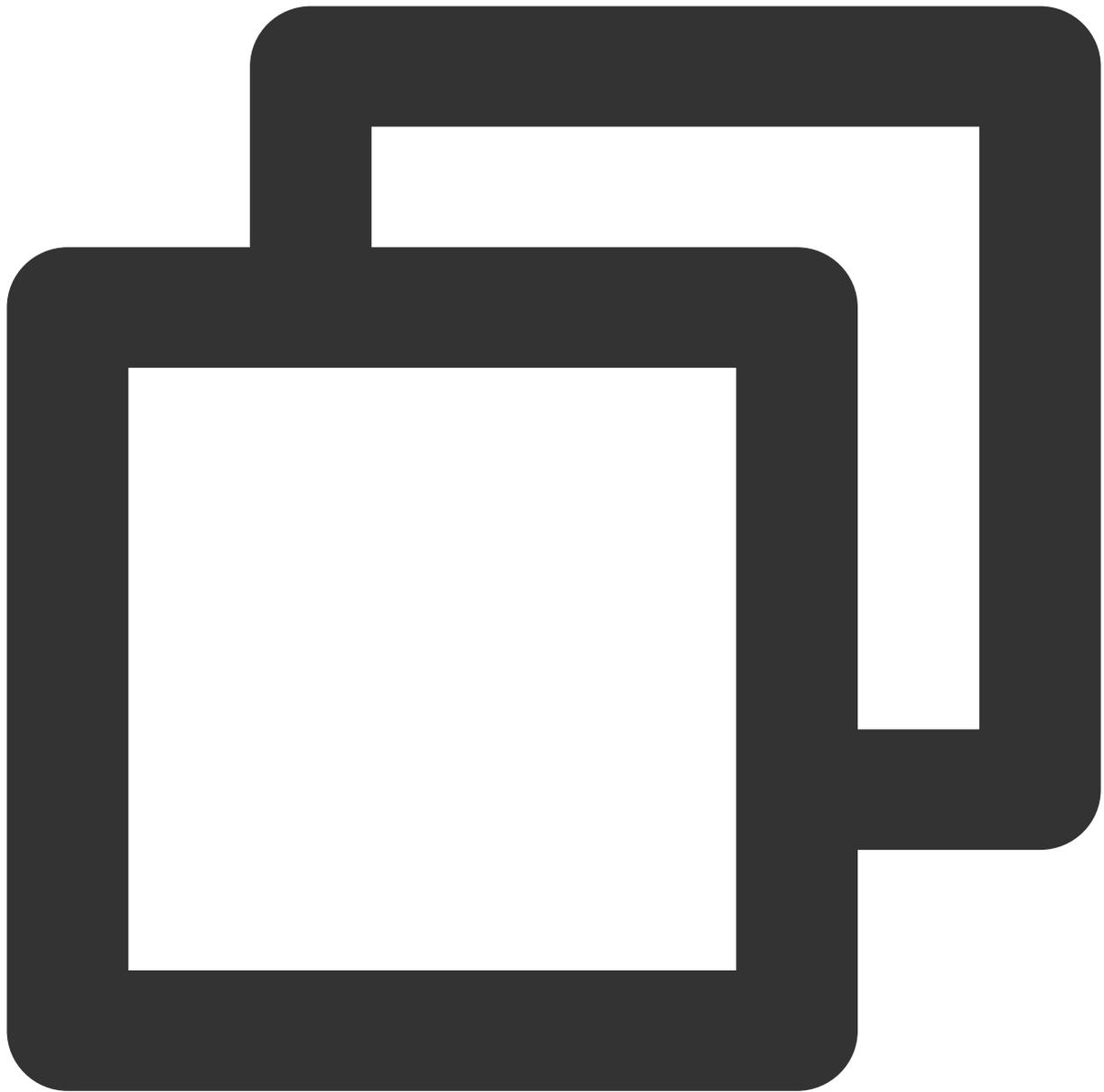
```
/usr/bin/cloud-init init --local
```

3. 設定されたデータソースに基づいてデータを取得します。



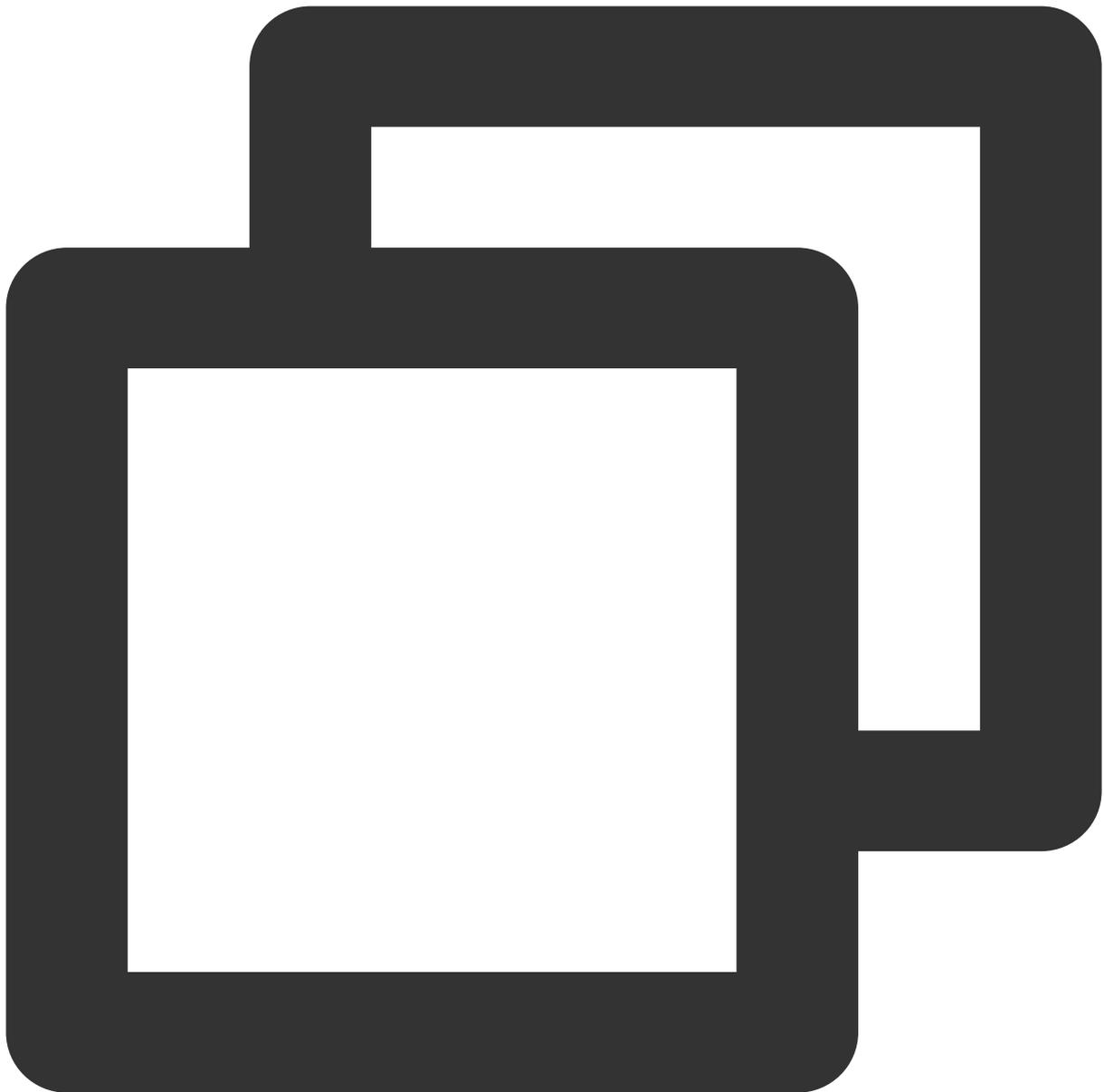
```
/usr/bin/cloud-init init
```

4. Cloud-Initの初期化は複数のstageに分かれています。各stageの依存が充分であることを確認し、cloud-init modulesで実行するconfig stageを指定します。



```
/usr/bin/cloud-init modules --mode=config
```

5. cloud-init modulesで実行するfinal stageを指定します。



```
/usr/bin/cloud-init modules --mode=final
```

Cloud-Initはどのようなインスタンス初期化の操作を実行しますか。

Tencent CloudはCloud-Initによってインスタンスのすべての初期化操作を実現し、インスタンス内部全体の操作をより透明化します。以下の内容で関連する操作状況をご紹介しますが、詳細については、[Cloud-init公式ドキュメント](#)をご参照ください。

初期化タイプ	デフォルトの動作	無効化方法

hostname の初期化	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>hostname</code> 情報を用いて、インスタンスの <code>hostname</code> を設定します。	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 <code>hostname</code> の設定を維持したいときは、カス する前 に、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> の <code>pres true</code> に設定し、 <code>- scripts-user</code> の行の さい。
/etc/hosts の初期化	インスタンス初回起動時にCloud-Initはデフォルト で <code>/etc/hosts</code> を以下のように初期化しま す <code>127.0.0.1\$hostname</code> 。	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 <code>hostname</code> の設定を維持したいときは、カス する前に、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> の <code>user</code> と <code>- ['update_etc_hosts', ' instance']</code> の2行の構成を削除できます
DNSの初 期化（非 DHCPシ ナリオ）	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>nameservers</code> 情 報を用いて、インスタンスのDNSを設定します。	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 の設定を維持したいときは、カスタムイメ ーに、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> の <code>- unverified_modules: ['resolv_co</code> を削除できます。
ソフト ウェア ソースの 初期化	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>write_files</code> 情報を用 いて、インスタンスのソフトウェアソースを設定 します。	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 ウェアソースの設定を維持したいときは、 作成する前に、 <code>/etc/cloud/cloud.cf files</code> の行の構成を削除できます。
NTPの初 期化	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>NTP Server</code> 情報 を使用して、インスタンスのNTPサーバーの構成を 設定し、 <code>NTP Service</code> をプルします。	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 設定を維持したいときは、カスタムイメー ーに、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> の <code>- nt</code> できます。
パスワー ドの初期 化	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>chpasswd</code> 情報を用 いて、	カスタムイメージを使用してインスタンス ストールする場合に、カスタムイメージ内 ルトのアカウントパスワードを維持したい

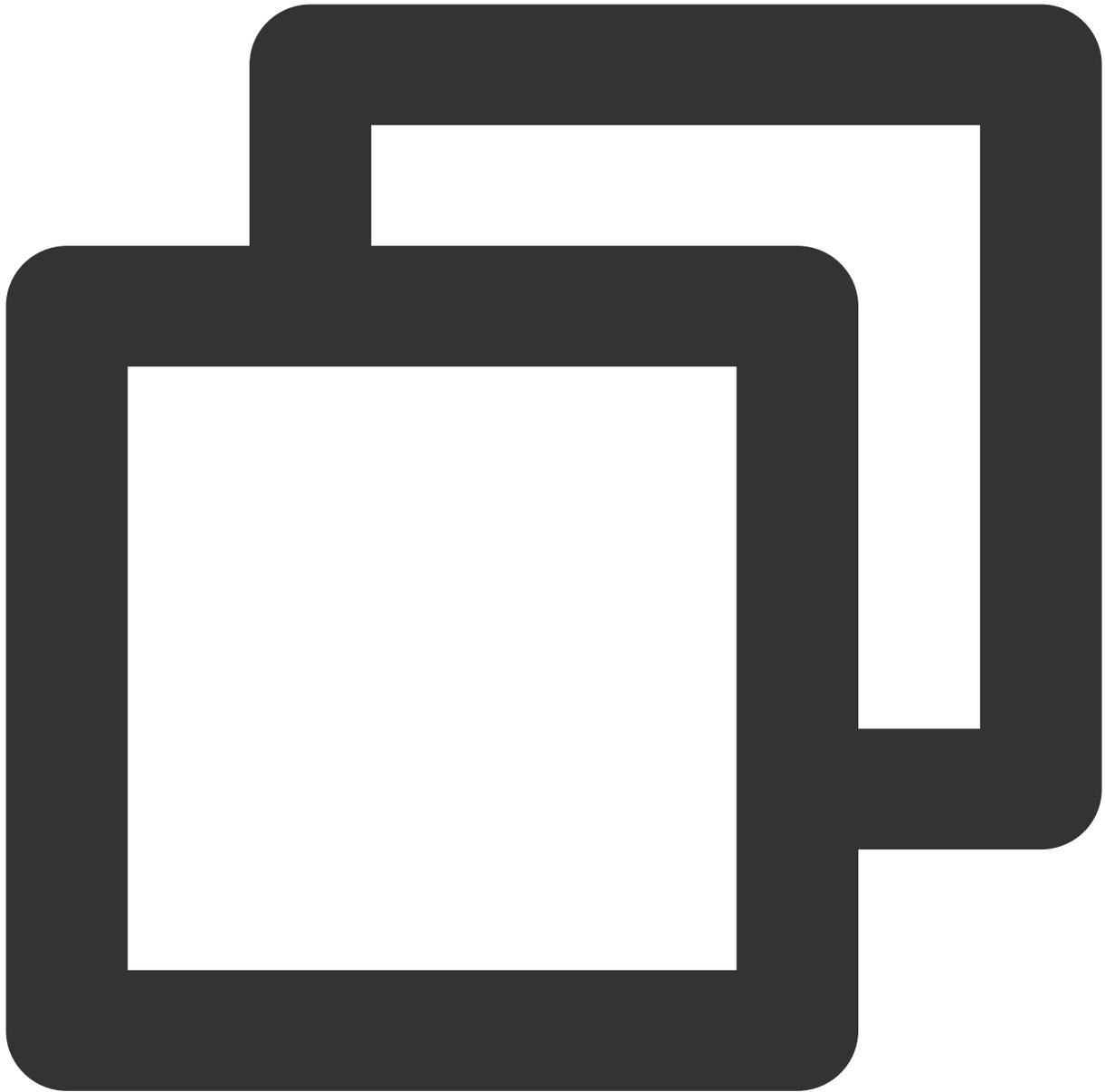
	いて、インスタンスのデフォルトのアカウントパスワードを設定します。	メージを作成する前に、 <code>/etc/cloud/cloud-init</code> の <code>set-passwords</code> の行の構成を削除できま
キーのバインド	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>vendor_data.json</code> の <code>ssh_authorized_keys</code> 情報を用いて、インスタンスのデフォルトのアカウントキーを設定します。	カスタムイメージを使用してインスタンスをストールする場合に、カスタムイメージ内を維持したいときは、カスタムイメージを作成前に、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> の <code>- us</code> の構成を削除できます。
ネットワークの初期化 (非DHCPシナリオ)	インスタンス初回起動時に、Cloud-Init は、 <code>network_data.json</code> の情報を使用して、インスタンスのIP、GATEWAY、MASKなどを設定します。	カスタムイメージを使用してインスタンスをストールする場合に、カスタムイメージ内ネットワーク情報を維持したいときは、カスタムイメージ作成前に、 <code>/etc/cloud/cloud.cfg</code> に <code>networking: { disabled: true }</code> の行の構成を追加できます。

Cloud-Initのよくある問題をどのようにトラブルシューティングすればよいですか。

1. Cloud-Initの依存パッケージをアンインストールしたことによるエラー

問題の現象：

コマンドを使用してCloud-Initサービスが正常に動作しているかどうかを確認した場合、以下のようなエラーが発生することがあります：



```
Traceback (most recent call last):
File "/usr/bin/cloud-init", line 5, in
*****
raise DistributionNotFound(req)
pkg_resources.DistributionNotFound: pyyaml
```

問題の分析：

「pkg_resources.DistributionNotFound: xxxxx」はCloud-Initのインストールされている依存パッケージがアンインストールされたことを表します。

対処方法：

1.1 この依存パッケージを再インストールします。

1.2 エラーがなくすべて実行されるまで、[Cloudbase-Initサービス動作確認プログラム](#) に基づいて操作を実行します。

2. デフォルトのPythonインタプリターを変更するとエラーが発生します

問題の現象：

起動時にCloud-Initを実行するとエラーが発生する。

問題の分析：

Cloud-Initをインストールした時に、PythonインタプリターはデフォルトでPython2を使用します

（`/usr/bin/python` と `/bin/python` の2つのソフトはPython2にリンクされています）。ユーザーの業務上の必要に応じて、インスタンス内部でPythonのデフォルトのインタプリターをPython3に変更する可能性があります（`/usr/bin/python` と `/bin/python` の2つのソフトのリンクを変更し、Python3に指向させます）。互換性の問題により、起動時にCloud-Initを実行するとエラーが発生します。

対処方法：

1.1 `/usr/bin/cloud-init` ファイル内の指定されたPythonインタプリターを修正

し、`#!/usr/bin/python` または `#!/bin/python` を `#!/usr/bin/python` に修正します。

ご注意：

シンボリックリンクを使用せず、直接、特定のインタプリターを指定します。

1.2 エラーがなくすべて実行されるまで、[Cloudbase-Initサービス動作確認プログラム](#) に基づいて操作を実行します。

Cloudbase-Init

Cloudbase-Initとは何ですか。

Cloud-Initと同様に、Cloudbase-InitはWindows CVMインスタンスと通信するブリッジです。インスタンスが初めて起動した時にCloudbase-Initサービスを実行します。このサービスはインスタンスの初期化設定情報を読み取り、インスタンスに初期化操作を行います。同時にその後のパスワードのリセット、IPの修正などの機能もすべてCloudbase-Initによって実現します。

Windowsインスタンス内部のCloudbase-Initサービスが正常に動作しているかどうかを確認するにはどうしたらよいですか。

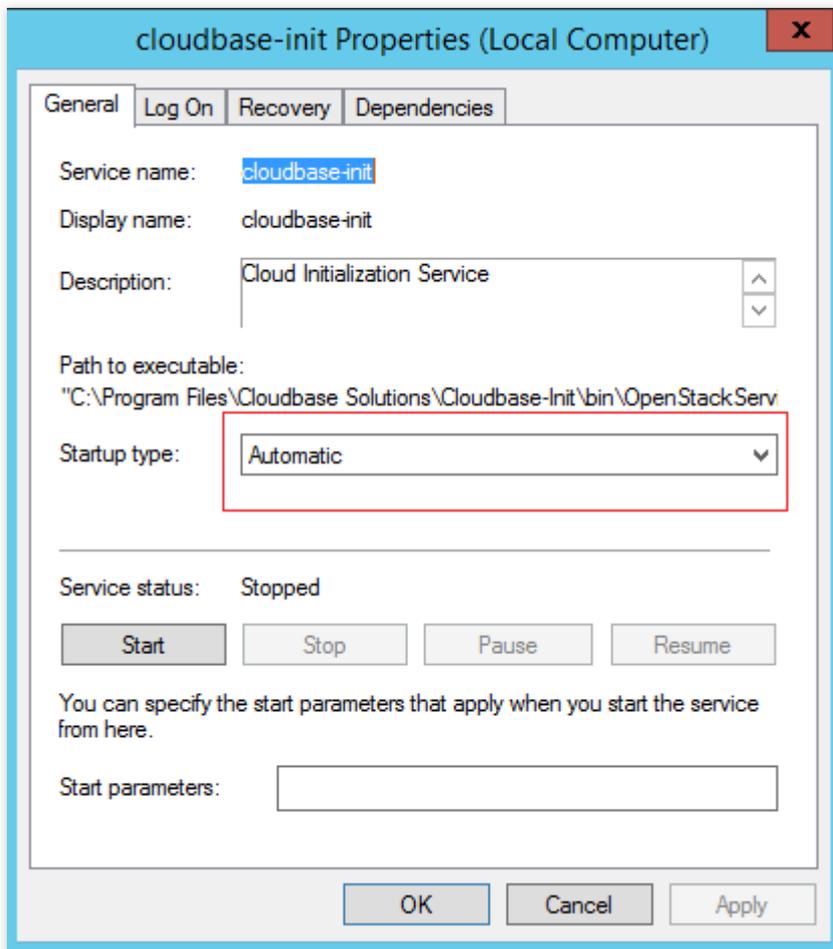
Cloudbase-Initサービス動作確認プログラム：

1. インスタンスにログインします。

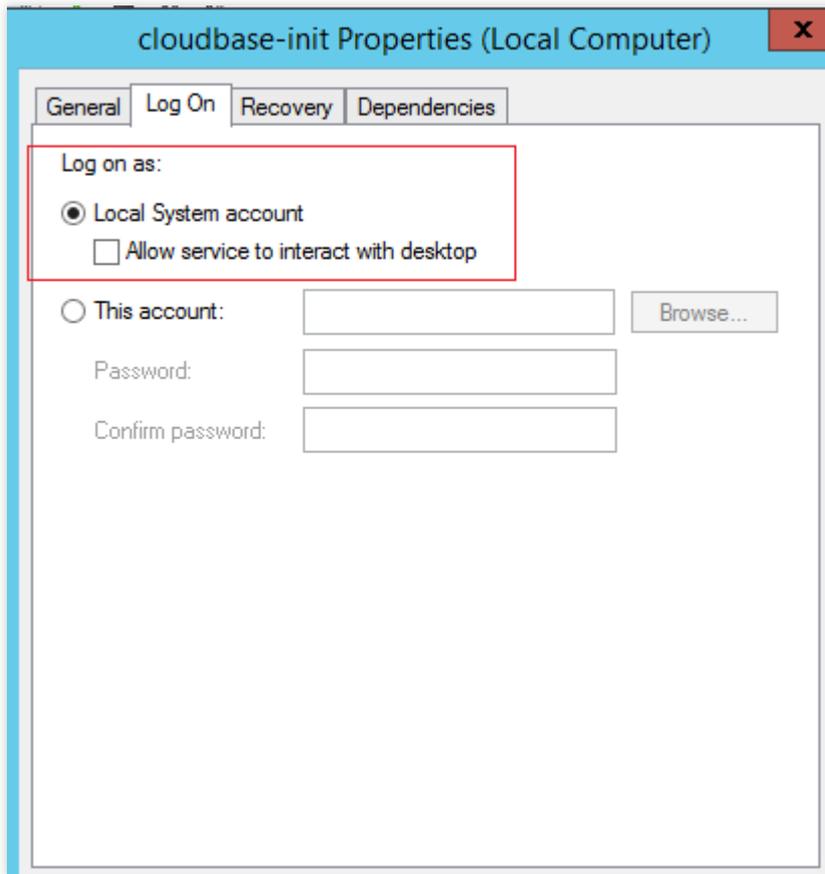
説明：

パスワードを忘れた場合、またはCloudbase-Initサービスの異常に起因してリセットに失敗した場合は、[ステップ2](#)でパスワードをリセットできます。

2. コントロールパネル > 管理ツール > サービスを開きます。
3. cloudbase-initサービスを見つけ、プロパティを右クリックしてcloudbase-initのプロパティウィンドウを開きます。
「起動タイプ」を確認し、下図のように「起動タイプ」が「自動」であることを確認します。

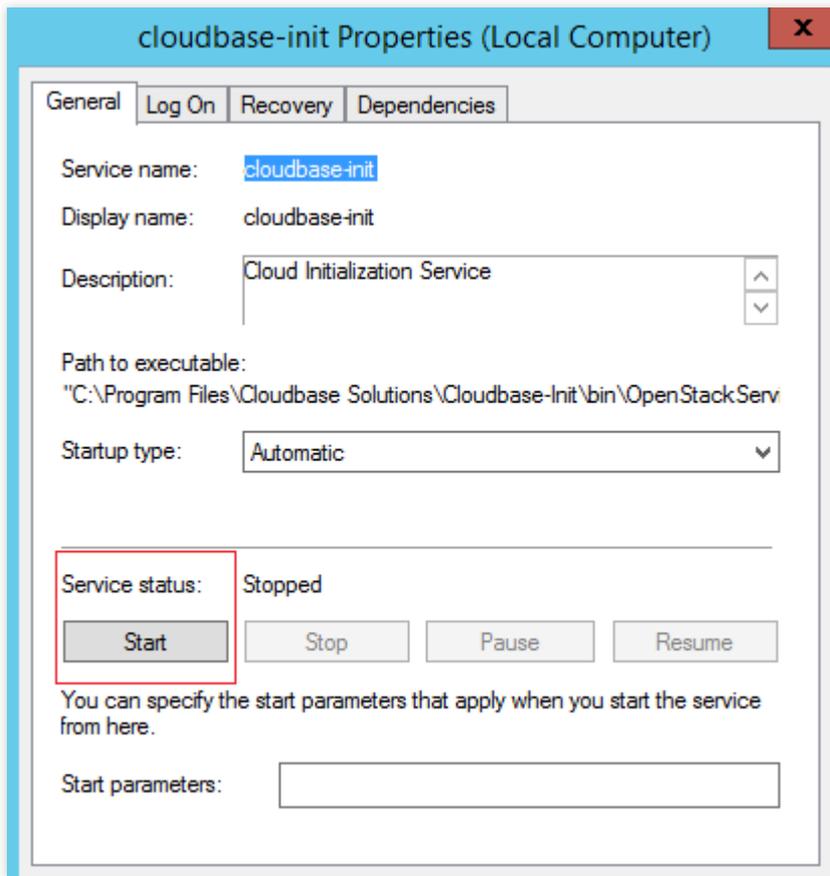


下図に示すように「ログインID」を確認し、「ログインID」が「ローカルシステムのアカウント」であることを確認します。

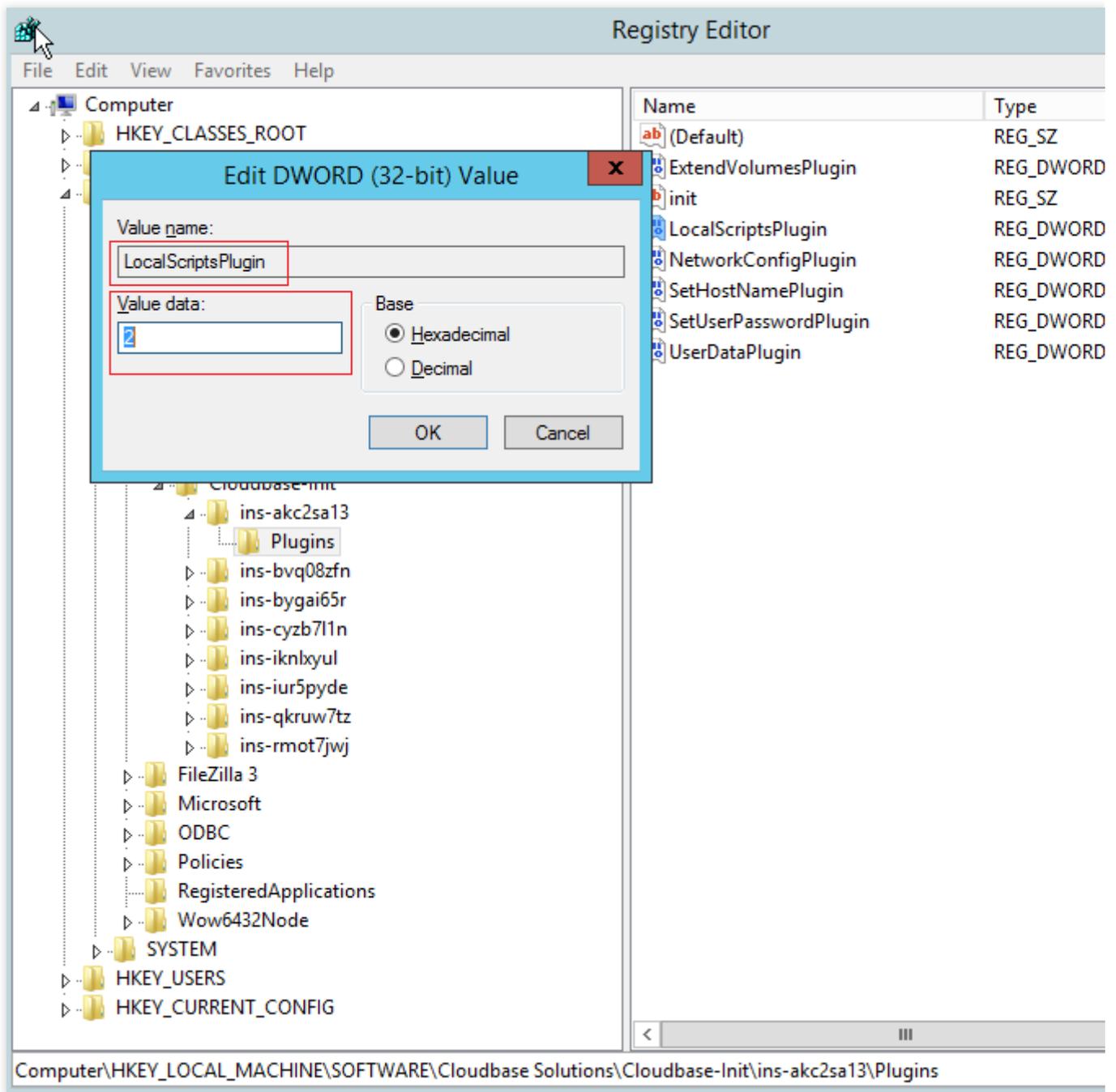


手動でcloudbase-initサービスを起動し、関連するエラーが発生するかどうかを観察します。

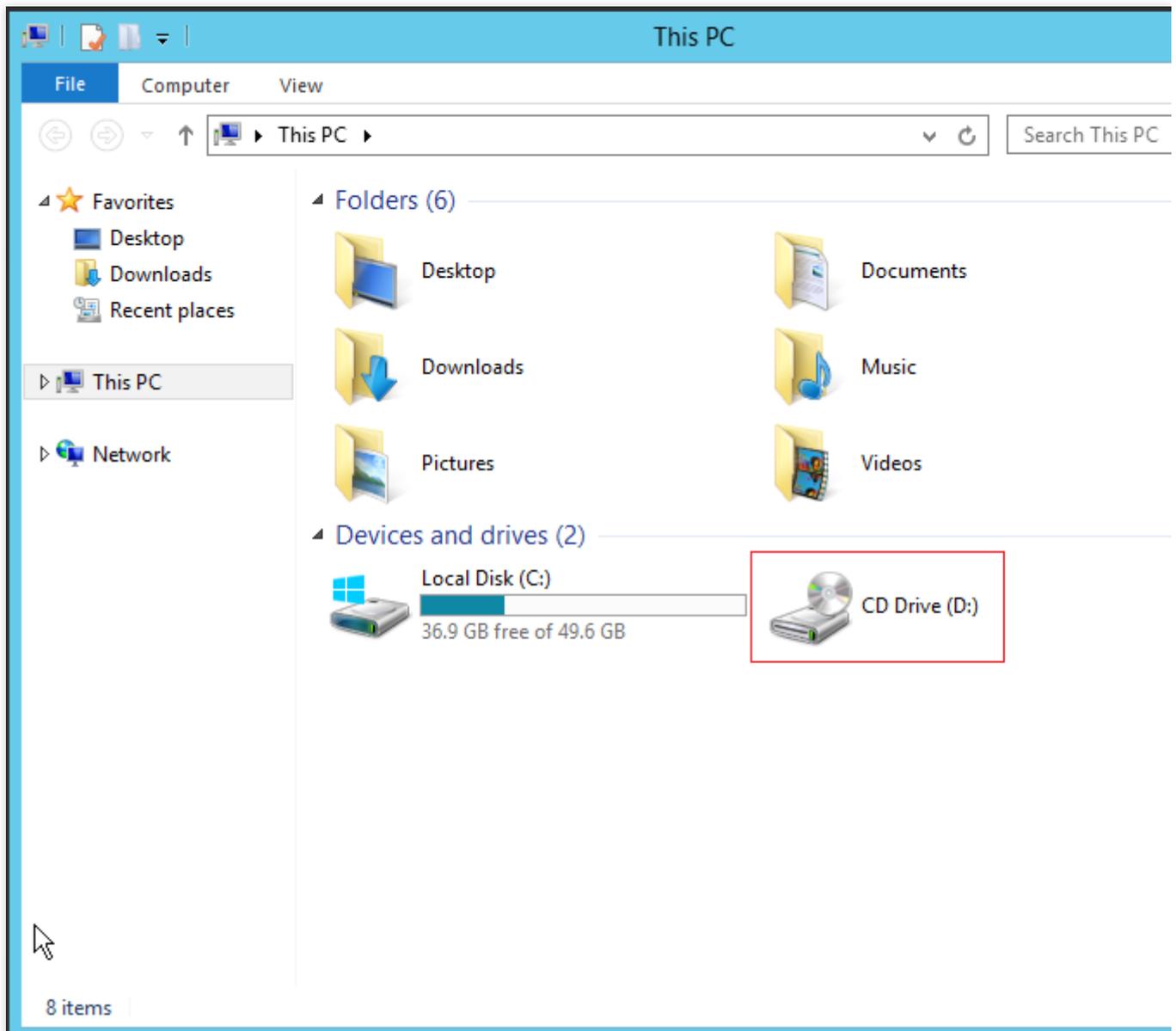
エラーがある場合は、先に解決する必要があります。cloudbase-initが実行する関連操作をブロックするセキュリティソフトウェアがインストールされているかどうかを確認してください。



下図に示すように、「登録フォーム」を開いてすべての「LocalScriptsPlugin」を検索し、値が2であることを確認してください。



CD-ROMのロードが禁止されているかどうかを確認してください。下図に示すように、光ドライブ装置が見える場合、正常にロードできることを表します。そうでない場合は禁止されているため、禁止を取り消す必要があります。



Cloudbase-Initの実行ログを確認するにはどうしたらよいですか。

OSに応じて、以下のログファイルで確認できます。

Linuxシステム： `/var/log/cloud-init-output.log`

Windowsシステム： `C:\Program Files\Cloudbase Solutions\Cloudbase-Init\log\cloudbase-init.log`

Cloudbase-Initのよくある問題をどのようにトラブルシューティングすればよいですか。

パスワードリセットの初期化に失敗しました

考えられる原因：

手動でcloudbase-initアカウントのパスワードを修正するとcloudbase-initサービスの起動に失敗し、それによってパスワードリセットの初期化などの操作に失敗します。

cloudbase-initサービスを無効にすると、パスワードリセットの初期化などの操作に失敗します。

cloudbase-initサービスがパスワードをリセットする操作をブロックするセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、パスワードをリセットするプロセスは成功と返しますが、実際のリセットは失敗しています。

対処方法：

考えられる原因に対して、それぞれ以下の3つの点を参考にして操作を行ってください。

1.1 cloudbase-initサービスをLocalSystemサービスに変更します。詳細な操作については、[Cloudbase-Initサービス動作確認プログラム](#)の [ステップ2](#) をご参照ください。

1.2 cloudbase-initサービスの起動タイプを自動に変更します。詳細な操作については、[Cloudbase-Initサービス動作確認プログラム](#)の [ステップ2](#) をご参照ください。

1.3 対応するセキュリティソフトウェアをアンインストールするか、セキュリティソフトウェア内のcloudbase-initサービスに関連する操作をホワイトリストに追加します。

Red Hat Enterprise Linux イメージに関するよくあるご質問

最終更新日： : 2023-08-01 16:12:33

Red Hat Enterprise Linux イメージを使用するにはどうすればよいですか？

Red Hat Enterprise Linux イメージは現在ベータ版テスト版実施中で、ベータ版ユーザになろうとする方は、[チケットを送信](#)してください。

どの Red Hat Enterprise Linux イメージタグが利用可能ですか？ どのようなインスタンスタイプがサポートされていますか？

説明：

CVMを購入したときにRed Hat Enterprise Linux認証に合格したインスタンスタイプを選択した場合は、Red Hat Enterprise Linuxイメージを使用できます。

モデル	RHEL7.9	RHEL8.5	RHEL8.6
標準 SA2	サポート	サポート	サポート
標準S5	サポート	サポート	サポート
コンピューティング C3	サポート	サポート	サポート
コンピューティング C4	サポート	サポート	サポート

トライアルのリクエストが承認された後は、Red Hat Enterprise Linux イメージが表示されないのはなぜですか？

選択したインスタンスモデルが上表に記載されているかどうかを確認してください。表に記載されていないインスタンスモデルは、現在このイメージの使用をサポートしていません。Tencent Cloud は、お客様のニーズと用途に応じて、より多くのモデルを Red Hat Enterprise Linux イメージに適応させます。

既存のイメージタグまたはモデルが要件を満たしていない場合はどうすればよいですか？

[サポートチケットを送信](#)してください。

Red Hat Enterprise Linux 商用イメージの利用料金はどのように請求されますか？

請求の詳細については、[イメージの請求](#)をご参照ください。

アフターサポート

Tencent Cloud公式ウェブサイトでは販売されている公式ライセンス版のRed Hat Enterprise Linux OS に対して、無料のソースアップデート (バージョンアップや脆弱性の修正を含む) が提供されます。製品の使用中に問題が発生した場合は、[サポートチケットを送信](#) してください。Tencent Cloud エンジニアチームは、ユーザーが Red Hat Enterprise Linux OSで発生する問題を解決できるよう支援します。必要に応じて、Tencent Cloud チームは Red Hat Enterprise Linux に連絡してヘルプとサポートを求めます。

Red Hat Enterprise Linux イメージは RI モードでどのように請求されますか?

詳細については、[イメージの請求 - Red Hat Enterprise Linux イメージの請求]をご参照ください。

CVMの購入時に Red Hat Enterprise Linux イメージを選択した場合、インスタンスと同じ割引が適用されますか?

CVM インスタンスで利用できる割引は、Red Hat Enterprise Linux イメージには適用されません。他の形式の割引もサポートしません。

Red Hat Enterprise Linuxイメージを購入する際にクーポンコードを使用できますか?

いいえ。クーポンを使用して Red Hat Enterprise Linux イメージを購入することはできません。

Tencent Cloud はRed Hat Enterprise Linux の BYOS イメージをサポートしていますか?

はい。[イメージのインポート](#) 機能を使用してカスタムイメージをインポートできます。このカスタムイメージからインスタンスを作成する場合に商用イメージのライセンス料は発生しません。

Red Hat Enterprise Linux OS を使用するインスタンスの構成と課金モードを変更できますか?

いいえ。

その他のよくある質問

最終更新日：：2020-06-30 17:20:11

イメージとは何ですか。

イメージはCVMソフトウェア設定の（OS、プリインストールプログラムなど）テンプレートです。Tencent Cloudでは、ユーザーがインスタンスを起動するためにイメージを使用する必要があります。ユーザーはイメージを複数回繰り返し使用し、複数のインスタンスを起動することができます。イメージの詳細については、[イメージの概要](https://intl.cloud.tencent.com/document/product/213/4940)をご参照ください。

イメージをインポートする前に、どのような準備が必要ですか。

イメージをインポートする前に、権限の申請とイメージファイルの準備という2つの主要な手順を完了する必要があります。具体的な操作については、[イメージのインポートの概要](#)をご参照ください。

ローカルテスト用にイメージをエクスポートするにはどうすればよいですか。

現在、Tencent Cloudサービス移行でサポートされているイメージ形式はqcow2、vhd、raw、vmdkです。VMWare vCenter ConvertまたはCitrix XenConvertなどの仮想化プラットフォームのイメージエクスポートツールを使用できます。詳細については、各プラットフォームのエクスポートツールのドキュメントをご参照ください。[Disk2vhd \(Windows\)](#) を使用してイメージをエクスポートする、[コマンド \(Linux\)](#) を使用してイメージをエクスポートすることもできます。

CVMインスタンスの作成に使用されたカスタムイメージを削除できますか。

カスタムイメージを削除した後、このイメージを利用してインスタンスを作成することはできませんが、起動済みのインスタンスには影響しません。このイメージを利用して起動したすべてのインスタンスを削除する必要がある場合、[インスタンスのリサイクル](#)、或は [インスタンスの廃棄/リターン](#) をご参考ください。

別のアカウントと共有されているカスタムイメージを削除できますか。

別のアカウントと共有されているカスタムイメージは削除できません。削除するには、まず、すべての共有をキャンセルする必要があります。詳細については、[共有イメージのキャンセル](#)をご参照ください。

サービスマイグレーション関連

最終更新日：2024-01-05 15:26:45

[オフライン移行に関するよくある質問](#)

[オンライン移行に関するよくある質問](#)

[コンソール経由での移行に関するよくある質問](#)

[オンライン移行ツールに関するよくある質問](#)

オフライン移行

COS へのアップロードと移行にかなり時間がかかるのはなぜですか？

COSへのイメージのアップロードにかかる時間は、イメージファイルのサイズと帯域幅に関係します。転送と移行の時間を短縮するために、圧縮イメージ形式 (QCOW2 または VHD) を使用することをお勧めします。

移行タスクが失敗したのはなぜですか？

Tencent Cloud のサービス移行では、QCOW2、VHD、VMDK、RAW 形式のイメージがサポートされています。

イメージが上記のいずれかの形式であることを確認してください。

イメージファイルがCOSに完全にアップロードされていることを確認し、COS権限をチェックし、一時 URL が有効であり、ファイルが破損していないことを確認してください。

ターゲットCVMまたはクラウドディスクの有効期限が切れていないことを確認してください。

移行タスクで発生したエラーをトラブルシューティングするにはどうすればよいですか？

「イメージファイルのメタデータの取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、通常、イメージファイルが破損しているか、イメージファイルの形式がサポートされていないことなどが原因です。イメージの作成/エクスポート、アップロードなどの段階でエラーが発生していないか確認してください。またはqcow2、vhd、vmdk、raw形式のイメージファイルを提供して、再試行してください。

「イメージの解凍に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、通常、イメージ作成のエラーが原因です。イメージ圧縮パッケージの正当性を確認するか、イメージを再度エクスポートして、ターゲットディスクの容量がソースディスクよりも大きいことを確認して、再試行してください。

「ターゲットデバイスのストレージ容量が小さすぎます」というメッセージが表示された場合は、通常、現在の移行タスクのターゲットシステムディスクまたはデータディスクのストレージ容量がソースディスクよりも小さいか、ターゲットシステムディスクまたはデータディスクのストレージ容量がイメージファイルのサイズよりも小さいなどが原因です。この場合、ターゲットシステムディスクまたはデータディスクのサイズを変更して、ターゲットディスクの容量がソースディスクの容量より大きいことを確認して、再試行してください。

「COSイメージファイルへのアクセスに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、通常、COS権限の問題です。COSファイルが現在のリージョンにあり、COS権限をチェックし、一時URLの有効性を確認して、再試行してください。

「ターゲットディスクへの移行に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、考えられる理由は通常、次のとおりです：

十分なディスク容量がありません。

イメージの作成中にエラーが発生しました。

これらの問題をトラブルシューティングした後、再試行してください。

「タスクタイムアウト」、「システムエラー」、「その他の原因」などのメッセージが表示された場合、または移行タスクを再試行しても失敗する場合は、[お問い合わせ](#) ください。

Windowsサーバーをオフラインに移行した後にネットワークが切断された場合はどうすればよいですか？

以下の手順に従って、Windowsネットワーク構成をリセットするか、または [インスタンスにPingが通らない](#) ドキュメントをご覧ください。

1) 2018年6月より前に作成されたVPCの場合は、サーバーがdhcpをサポートしているかどうかを確認してください。サポートしない場合は、静的IPが正しいかどうかを確認してください。

2) サーバーがdhcpをサポートしている場合は、割り当てられたプライベートIPが正しいかどうかを確認してください。正しくない場合は、サーバーを再起動せずに、管理者としてコマンド `ipconfig /release;`
`ipconfig /renew` を実行してください。

3) 割り当てられたIPは正しいが、ネットワークが切断されている場合は、`ncpa.cpl` を実行してローカル接続を開き、ENIを無効にしてから有効にします。

4) 管理者として次のコマンド実行し、サーバーを再起動します：`reg delete`

```
"HKEY_LOCAL_MACHINE\\SOFTWARE\\Microsoft\\Windows  
NT\\CurrentVersion\\NetworkList\\Profiles" /f
```

オンライン移行に関するよくある質問

オンライン移行ではどのタイプのOSやディスクをサポートしていますか？

主流のLinux系OSおよびWindows系OSをサポートします。

移行はディスクの種類や使用状況には関係ありません。

オンライン移行とイメージのインポートの違いは何ですか？

オンライン移行は、イメージのインポートと似ています。どちらもソースシステムをTencent Cloudに移行できます。オンライン移行とイメージのインポートの違いとして最も大きな点は、オンライン移行を使用すると、イメージを手動で作成、エクスポート、インポートすることなく、システムとデータをソースサーバーからTencent Cloudに転送できます。

移行元サーバーのパブリックIPは移行されますか？

いいえ。オンライン移行ではソースシステムとデータのみが同期され、パブリック IP は移行できません。

オンライン移行ツールはチェックポイントからの再起動をサポートしていますか？

中断後にツールを再度実行すると、転送を再開できます。

移行完了後もツールを保持する必要がありますか？

いいえ。移行が完了したら、移行元サーバー上のツールを直接削除できます。

移行速度とコストについてはどうですか？

速度：ターゲット CVM インスタンスの帯域幅によって決まります。帯域幅 12Mbps の 1CIG 従量課金制インスタンスを使用したテストでは、実際の移行速度は約 9 Mbps です。具体的な計算方法については、[移行時間予測チュートリアル](#) をご参照ください。

費用：移行ツールは無料です。移行中に使用される帯域幅およびその他のリソースに対して料金が発生します。トラフィックやと期間に応じて課金されます。詳細については、[課金説明](#) をご参照ください。

複数のCVMの同時移行はサポートされていますか？

はい。複数の CVM を異なる移行先 CVM に同時に移行できます。

Virtioを確認してインストールするにはどうすればよいですか？

[LinuxでのVirtioドライバーの確認](#) を参照して、Virtio を確認してインストールします。

Rsyncをインストールするにはどうすればよいですか？

Rsync をインストールする移行元サーバーの OS に応じて、対応するコマンドを選択して、Rsync をインストールできます。

CentOS : `yum -y install rsync`

Ubuntu : `apt-get -y install rsync`

SUSE : `zypper install rsync`

他の Linux ディストリビューションの特定のコマンドについては、対応する公式 Web サイトのインストールドキュメントをご参照ください。

SELinuxを無効にするにはどうすればよいですか？

`/etc/selinux/config` ファイルを編集し、`SELINUX=disabled` を設定します。

コンソール経由でのオンライン移行に関するよくある質問

オンライン移行ツールはどこでダウンロードできますか？

[ここをクリックして](#) オンライン移行ツールパッケージをダウンロードし、[オンライン移行の操作ガイド](#) の指示に従ってツールを使用してください。

移行元をインポートするにはどうすればよいですか？

1. [オンライン移行ツールパッケージ](#) をダウンロードして解凍します。
2. ソースサーバーアーキテクチャの実行可能ファイルを実行して、移行ソースを CVM コンソールのオンライン移行ページにインポートします。

ソースサーバーが 32 ビットの場合は、`go2tencentcloud_x32` を実行します。

ソースサーバーが 64 ビットの場合は、`go2tencentcloud_x64` を実行します。

移行元を更新したり、移行元を再インポートするにはどうすればよいですか？

移行元ディスクなどの情報が変更された場合は、移行元情報を更新するか、再インポートする必要があります。まず既存の移行元を削除してから、クライアントを実行して移行元を再インポートします。

移行元を削除するにはどうすればよいですか？

[オンライン移行コンソール](#) にログインし、ターゲット移行元の右側にある **削除** をクリックします。移行元が完了していない移行タスクに関連付けられている場合は、移行タスクを中止し削除してから、移行元を削除してください。

移行前に移行先CVMインスタンスを選択するにはどうすればよいですか？

移行元サーバーと移行先 CVM インスタンスには同じ OS を使用することをお勧めします。たとえば、CentOS 7 移行元サーバーを移行するには、移行先として CentOS 7 CVM を選択してください。

タスクが完了したことを示す移行タスクのステータスはどれですか？

移行タスクのステータスが「成功」の場合のみ完了を意味し、その他のステータスはすべて未完了を意味します。

移行タスクを削除するにはどうすればよいですか？

実際の移行タスクのステータスに基づいて、次の操作を実行します。

移行タスクのステータスが「未開始」または「成功」の場合、移行タスクの右側にある **削除** をクリックしてタスクを直接削除できます。

移行タスクのステータスが「失敗」の場合、移行タスクを削除したい場合は、移行元をオンライン状態のままにし、移行タスクの右側にある **削除** をクリックして移行タスクを削除する必要があります。その後、タスクのステータスが「削除中」になり、移行ツールは、移行タスクによって生成されたリソースを自動的にクリアし、移行タスクを削除します。

時間がかかりすぎる場合、移行タスクをキャンセルするにはどうすればよいですか？

[オンライン移行コンソール](#) にログインして移行タスクを一時停止し、移行タスクの右側にある **削除** をクリックしてタスクを削除します。

リレーインスタンスが終了した場合はどうすればよいですか？

移行先Tencent Cloud イメージへの移行中に、作成されたリレーインスタンスが誤って終了した場合、現在の移行タスクを削除し、移行元の移行タスクを再度作成して開始できます。

コンソールでの移行中にエラーまたは障害が発生した場合はどうすればよいですか？

一部の移行失敗理由とエラーについては、以下を参照してください:

移行先CVMに移行する場合、移行先CVMのセキュリティグループでポート 80 と 443 が開きません。

解決策: 移行先CVMインスタンスのセキュリティグループルールを変更して、ポート80と443を開きます。

移行先CVMに移行する場合、移行先CVMインスタンスのディスク容量が不足します。

解決策: 十分な容量のあるCVMインスタンスを選択し、それに十分な容量のあるディスクをマウントし、移行タスクを再作成して移行を開始します。

移行先Tencent Cloudイメージに移行する場合、リレーインスタンスを作成するときにエラーが発生しました。たとえば、ログエラーメッセージ「Failed create transit instance, maybe no available source in target region」が表示されます。

解決策: 移行タスクの移行先リージョンに利用可能なリソースがありません。この場合は、別のリージョンを選択するか、指定されたCVMインスタンスにサーバーを移行できます。

依然として問題が解決しない場合、または上記の原因に該当しない場合は、その時点の移行ログファイル（デフォルトでは移行ツールディレクトリのlogファイル）を保持し、弊社まで [お問い合わせ](#) ください。

移行完了後に何をすることができますか？

移行タスクが完了すると、プラットフォームは移行タスクに設定した移行先タイプに従ってTencent Cloud リソースが生成されます。

CVMイメージへの移行: 移行後、移行元のTencent Cloud イメージが生成されます。移行タスクの行にある**CVM** イメージ ID をクリックして、[CVMイメージ](#) ページでイメージの詳細を確認でき、このイメージを使用して**CVM**をすばやく作成できます。**CVM**イメージが正常に作成されると、このイメージに関連付けられた**CVM** スナップショットも同時に作成されます。

CVMインスタンスへの移行: 移行後、移行元は移行先CVMインスタンスに移行されます。

Linux サーバーの移行後にシステムを確認するにはどうすればよいですか？

移行先 CVMインスタンスが正常に起動するかどうか、移行先 CVM インスタンス上のデータが移行元サーバー上のデータと一致しているかどうか、ネットワークやその他のシステムサービスが正常であるかどうかを確認してください。

移行完了後に移行元を再移行するにはどうすればよいですか？

[オンライン移行コンソール](#) にログインし、移行元の移行タスクを作成して再度開始します。

オンラインからWindowsサーバーを移行した後、ネットワークが切断された場合はどうすればよいですか？

以下の手順に従って、Windowsネットワーク構成をリセットするか、または [インスタンスにPingが通らない](#) ドキュメントをご覧ください。

1) 2018年6月より前に作成されたVPCの場合は、サーバーがdhcpをサポートしているかどうかを確認してください。サポートしない場合は、静的IPが正しいかどうかを確認してください。

2) サーバーがdhcpをサポートしている場合は、割り当てられたプライベートIPが正しいかどうかを確認してください。正しくない場合は、サーバーを再起動せずに、管理者としてコマンド `ipconfig /release;`
`ipconfig /renew` を実行してください。

3) 割り当てられたIPは正しいが、ネットワークが切断されている場合は、`ncpa.cpl` を実行してローカル接続を開き、ENIを無効にしてから有効にします。

4) 管理者として次のコマンド実行し、サーバーを再起動します：`reg delete`

```
"HKEY_LOCAL_MACHINE\\SOFTWARE\\Microsoft\\Windows  
NT\\CurrentVersion\\NetworkList\\Profiles" /f
```

オンライン移行ツールに関するよくある質問

オンライン移行ツールはどこでダウンロードできますか？

[ここをクリックして](#) 圧縮移行ツールパッケージをダウンロードし、[オンライン移行ツール](#) の指示に従って操作を行います。

移行ツールを使用するにはどう設定すればよいですか。

移行ツールをダウンロードして移行元サーバーにアップロードし、実行する前に実際のサーバーの状況に基づいて構成ファイルを変更する必要があります。バッチ移行を実行するには、バッチ処理を実装するスクリプトを作成します。

ツールを使用した移行中にエラーまたは障害が発生した場合はどうすればよいですか？

一部の移行失敗理由とエラーについては、以下を参照してください：

移行先CVMのセキュリティグループでポート80と443が開きません。

`user.json`ファイルのDataDisksフィールドは、移行元サーバーのデータディスクを移行するように構成されていません。すべてのデータがターゲットCVMシステムディスクに送信されるため、ディスク容量が不足していた。

[プライベートネットワーク移行モード](#) では移行ステージ3が実行されないため、移行先CVMは移行モードを終了します。

依然として問題が解決しない場合、または上記の原因に該当しない場合は、その時点の移行ログファイル（デフォルトでは移行ツールディレクトリのlogファイル）を保持し、弊社まで[お問い合わせ](#) ください。

ネットワーク関連 IP アドレス

最終更新日：：2020-07-23 16:37:37

パブリックIPアドレス

パブリックIPのないCVMはどのようにしてパブリックネットワークにアクセスできますか。

CVMの購入時にパブリックIPを購入しなかった場合、またはパブリックIPを返却した場合は、[EIPコンソール](#)でEIPを申請し、CVMにバインドすることにより、パブリックネットワークへのアクセスを実現できます。

パブリックIPアドレスを変更できますか。

CVMのパブリックIPアドレスを変更できます。詳細な操作については、[インスタンスのパブリックIPの変更](#)をご参照ください。

パブリックIPを変更しないようにするにはどうすればよいですか。

アカウントにある特定のパブリックIPを保持する必要がある場合、まずこれをEIPに変換して、デバイスをバインドした後、このIPを利用してパブリックネットワークにアクセスできます。リリースの操作を実行しない限り、このEIPはアカウントに保留し続けます。

関連する操作については、[EIP](#)をご参照ください。

パブリックIPアドレスとは何ですか。

パブリックIPアドレスはInternet上で保持されていないアドレスであり、パブリックIPアドレスを持つCVMは、インターネット上の他のコンピューターと相互アクセスできます。

詳細については、[パブリックサービス](#)をご参照ください。

インスタンスのパブリックIPアドレスを取得するにはどうすればよいですか。

詳細については、[パブリックIPアドレスの取得](#)をご参照ください。

インスタンスのパブリックIPアドレスを変更するにはどうすればよいですか。

詳細については、[パブリックIPアドレスの変更](#)をご参照ください。

パブリックゲートウェイとパブリックIPアドレスを持つCVMの違いは何ですか。

パブリックゲートウェイは、イメージのパブリックネットワークトラフィック転送機能を有効にします。ただし、パブリックIPアドレスを持つCVMには、デフォルトではこの機能がありません。Windowsイメージにはトラ

フィック転送機能が有効になっていないため、Windowsパブリックイメージで作成されたCVMをパブリックゲートウェイにすることはできません。

CVMのパブリックIPを変更できないのはなぜですか。

考えられる原因は以下の通りです。

CVMインスタンスが既にシャットダウンしました、シャットダウン時に課金しない設定になっています。

CVMのパブリックIPが変更されました。

インスタンス作成時に独立したパブリックIP (IPv4) が割り当てられていない場合に、インスタンスを作成した後、パブリックIPアドレスを取得するにはどうすればよいですか。

EIPを申請してバインドすることで取得できます。詳細については、[EIP](#) をご参照ください。

プライベートIP

プライベートIPアドレスとは何ですか。

プライベートIPアドレスはInternet経由でアクセスできないIPアドレスであり、Tencent Cloudプライベートネットワークサービスの実現形式です。

詳細については、[プライベートネットワークサービス](#) をご参照ください。

インスタンスのプライベートIPアドレスを取得するにはどうすればよいですか。

詳細については、[インスタンスのプライベートIPアドレスの取得](#) をご参照ください。

パブリックIPアドレスに加えてインスタンスのプライベートIPアドレスを変更できますか。

インスタンスのプライベートIPアドレスを変更できます。詳細については、[プライベートIPアドレスの変更](#) をご参照ください。

エラスティックパブリックネットワークIPに関する質問

最終更新日：2020-07-23 16:36:07

EIPの役割は何ですか。

EIPは次のシナリオに適しています：

災害復旧。EIPを利用して、災害復旧を実現することを推奨します。例えば、あるサーバーが障害が発生した場合、このサーバーからEIPをバインド解除し、正常なサーバーに再バインドすることにより、迅速なサービス復帰に役立ちます。

特定のパブリックIPを保留します。アカウントにある特定のパブリックIPを保留する必要がある場合、このIPをEIPに変換して、デバイスのバインド/バインド解除を実行した後、このIPを利用してパブリックネットワークにアクセスできます。「リリース」を実行しない限り、このEIPはアカウントに保留し続けます。

その他の特別なシナリオ。特別な状況でIPを変更する必要がある場合、普通のパブリックIPをEIPに変換してから、EIPをバインド/バインド解除を通して実現できます。ただし、利用可能なEIPリソースが限られているため、単一アカウント下の各リージョンにクォータの制限があり、合理的に計画して使用することを推奨します。

EIP料金はどのように請求されますか。

1. コンソールに表示される料金は、1時間以上アイドル状態になっているEIPに適用されます。現在、EIPの課金は秒レベルまで正確です。複数回バインド/バインド解除されたEIPは、バインド解除状態の期間は秒単位で累計して課金されます。
2. アイドル状態が1時間未満のEIPには、リソース占用料は割合によって請求されます。

EIPはいつ請求されますか。

現在、EIPに関連する操作は、申請、バインド、バインド解除、およびリリースが含まれています。利用可能なEIPリソースが限られているため、EIPは、デバイスがバインド解除の状態ですでにリソース占用料のみを請求します。

どのようにEIPの課金を停止しますか。

課金されているEIPが不要であればリリースできます。リリースされたEIPは課金されません。

操作の詳細については、[EIPのリリース](#)をご参照ください。

あるEIPを保留にしたい、課金を停止する必要がある場合、このIPをデバイス（CVM、NAT）にバインドすることによって実現できます。バインドされたEIPは課金されません。

EIPはパブリックIPに再変換できますか。

できません。

EIPは回復できますか。

他のユーザーに割り当てられていないパブリックIPを回復できます。詳細については、[パブリックIPアドレスの取得](#)をご参照ください。

Elastic Network Interface

最終更新日：2022-12-26 10:46:55

Elastic Network Interfaceは何ですか？

Elastic Network Interface (ENI) は、Virtual Private CloudのCVMをバインディングする一種のElasticネットワークインターフェースであり、複数のCVMの間で自由にマイグレーションすることができます。ENIはネットワーク管理の設定及び信頼性の高いネットワークソリューションの構築に役立ちます。

ENIはVirtual Private Cloud、アベイラビリティゾーンとサブネットの属性があり、同じアベイラビリティゾーン中のCVMのみバインディングできます。一台のCVMは複数のENIをバインディング可能であり、具体的なバインディング数はCVM仕様により定められます。

CVMはENIを利用する場合は、どのような制限がありますか？

使用制限一覧の [ENIに関する制限](#) 部分をご参照ください。

ENIはどのような基本情報がありますか？

[ENI概要](#) の [関連概念](#) 部分をご参照ください。

どのようにENIを作成しますか？

[ENIの作成](#) をご参照ください。

どのようにENIを確認しますか？

[ENIの確認](#) をご参照ください。

どのようにENIをCVMのインスタンスにバインディングしますか？

[ENIのバインディングと設定](#) をご参照ください。

どのようにCVMインスタンスのENIを設定しますか？

[ENIのバインディングと設定](#) をご参照ください。

どのようにENIのプライベートIPを修正・カスタマイズしますか？

VPCのCVMはENIのプライベートIPを修正・カスタマイズすることをサポートします。コンソールでの操作手順は以下のように：

1. [Virtual Private Cloudコンソール](#) にログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで、【IPとENI】 > 【ENI】 をクリックし、ENIリスト画面に入ります。
3. ENIの【ID/名称】 をクリックし、ENIの詳細画面に入り、ENI情報を確認します。
4. 【IPv4 アドレス管理】 タブを選択し、【プライベートIPのアサイン】 をクリックします。

5. ポップアップウィンドウで、アサインしたIP 方式を**手動記入**に選択し、修正したいIP アドレスを入力してください。

6. **【OK】** をクリックして操作を完了させます。

コンソールで修正した後、同時にENIの設定ファイルを修正する必要があります。[ENIのバインディングと設定](#)をご参照ください。

パブリックネットワーク帯域幅

最終更新日：：2020-07-23 16:37:37

Cloud Virtual Machine(CVM)インスタンスのインバウンド帯域幅とアウトバウンド帯域幅とは何ですか。

インバウンド帯域幅：CVMインスタンスへのインバウンドトラフィックの帯域幅です。例として、CVMインスタンスが外部ネットワークリソースをダウンロードします。

アウトバウンド帯域幅：CVMインスタンスからのアウトバウンドトラフィックの帯域幅です。例として、CVMインスタンスが外部アクセスを提供します。

CVMインスタンスのパブリックネットワーク帯域幅はどのように課金されますか。

詳細については、[パブリックネットワーク課金方式](#) をご参照ください。

トラフィック課金モードを使用する従量課金インスタンスのアウトバウンド帯域幅の最大値は200Mbit/sですが、帯域幅の上限を増やすにはどうすればよいですか。

パブリックネットワークの帯域幅の上限は、CVMインスタンスの課金方式および設定によって異なります。詳細については、[パブリックネットワークの帯域幅の上限](#)をご参照ください。

その他のネットワークの問題

最終更新日：：2020-06-30 17:20:11

CVMにログインした後、ネットワークに接続できません。この問題を解決するにはどうすればよいですか。

CVMにログインした後、インターネットにアクセスできない（ウェブページにアクセスできないなど）場合は、DNS構成を確認する必要があります。以下の手順に従って、CVMがDNSアドレスを自動的に取得するように設定します。

説明：

下記の操作は、Windows Server 2012を例に説明します。

1. Windows CVM にログインします。
2. OSのインターフェースで

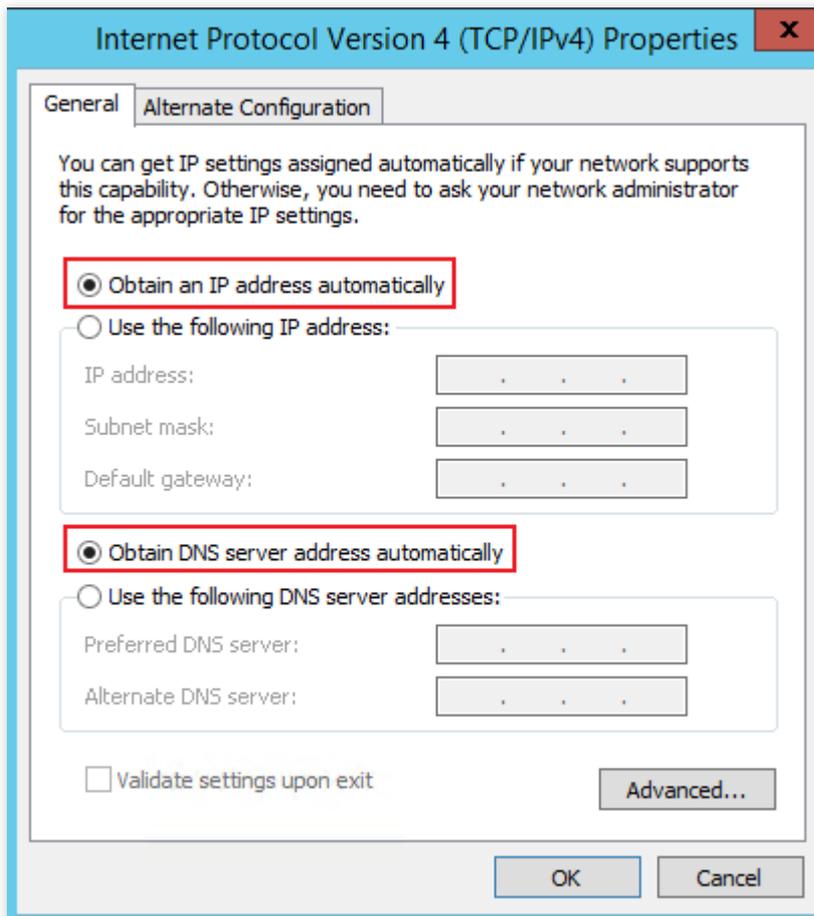


をクリックし、**コントロールパネル > ネットワークとインターネット > ネットワークの状態とタスクの表示 >アダプターの設定の変更**を選択します

3. **イーサネット**を右クリックして、**プロパティ**を選択し、「イーサネットのプロパティ」ウィンドウを開きます。

4. 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウで、**インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)** ウィンドウをダブルクリックして開きます。

5. 以下の図に示すとおり、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」ウィンドウで**IPアドレスを自動的に取得するとDNSサーバーのアドレスを自動的に取得する**を選択し、**【OK】**をクリックします。



VPCインスタンスは、基本ネットワークのインスタンスと相互接続できますか。

できますが、下記の制限があります。

VPC IPアドレス範囲 (CIDR) は10.0.0.0/16-10.0.47.0/16 (サブセットを含む) でなければなりません。そうでない場合、衝突が発生します。

設定手順：

VPCコンソールにログインし、VPCのID/名前をクリックして、VPCの詳細ページに入り、次に[Classiclink]タブをクリックして、**Associate with CVM**で設定を行い、CVMを関連付けます。

VPC CVMと相互接続されている基本ネットワーク内のCVMを表示するにはどうすればよいですか。

VPCコンソールにログインし、VPCのID/名前をクリックして、VPCの詳細ページに入り、**Classiclink**で該当VPC CVMと相互接続されている基本ネットワーク内のCVMを確認できます。

CVMのネットワークは、海外ネットワークに切り替えることができますか。

CVMを購入した後は、ネットワークを切り替えることができません。海外ネットワークが必要な場合は、CVMを返品して海外のCVMを購入することをお勧めします。

プライベートネットワークDNSを設定するには、どうすればいいですか。

[プライベートネットワークDNS](#)をご参照ください。

同じIP範囲内では、VPNはIP範囲のIPアドレスを取得できますが、インターネットにはアクセスできません。この問題を解決するにはどうすればよいですか。

次の設定が正しいかどうかを確認してください。

1. 手動で追加したIPが自動取得したIPと同じIPサブネットにあるかどうか、サブネットマスクが一致しているかどうか、デフォルトゲートウェイを設定したかどうか、デフォルトゲートウェイアドレスが正しいかどうか確認してください。
 2. DNSを設定したかどうか、DNSアドレスが正しいかどうか確認してください。
 3. 上記の設定がすべて正しい場合は、静的に設定されたIPアドレスに競合があるかどうか確認してください。
- 上記の方法で解決できない場合は、[チケットを提出](#)してください。

アカウントAとアカウントB下にあるCVMを同じプライベートネットワークに追加するにはどうすればよいですか。

アカウント間のネットワークはデフォルトでは相互接続できません。アカウント間のネットワークを相互接続するには、[Peering Connection](#) または [Cloud Connection Network](#) サービスを購入することができます。

セキュリティ関連 パスワード

最終更新日：：2021-10-27 17:33:38

CVMの初期パスワードを取得するにはどうすればよいですか。

CVMの購入の際、選択する設定方法ごとに、初期パスワードの取得方法も異なります。

クイック設定によってCVMを購入された場合、CVMの初期パスワードはEメールおよびコンソールの **サイト内メッセージ** で送信されます。

カスタマイズ設定によってCVMを購入された場合、ログイン方法ごとの初期パスワード取得方法は次のとおりです。

ログイン方法	説明
パスワードの自動発行	初期パスワードはEメールおよびコンソール サイト内メッセージ で送信されます。
今すぐキーを関連付ける	デフォルトではオフユーザー名とパスワードでログインすると、キーIDがEメールおよびコンソール サイト内メッセージ で送信されます。パスワードでのログインを同時に使用する必要がある場合は、CVMコンソール インスタンスのパスワードをリセットする にお進みください。
パスワード設定	カスタマイズしたパスワードを初期パスワードとします。

その他の詳細については **ログインパスワードの管理** をご参照ください。

サイト内メッセージで初期パスワードのメッセージを受け取れない場合はどうすればよいですか。

CVMの購入の際、システムはEメールおよびコンソールの **サイト内メッセージ** によって初期パスワードを送信します。

サイト内メッセージで初期パスワードに関する情報を受け取っていない場合は、現在のログインアカウントの種類

を確認し、アカウントの種類に応じたサブスクリプションメッセージドキュメントを参照して確認を行ってください。

[ルートアカウントメッセージサブスクリプション](#)

[サブユーザーのサブスクリプションメッセージ](#)

[コラボレーターのサブスクリプションメッセージ](#)

[メッセージ受信者のサブスクリプションメッセージ](#)

パスワードを忘れた場合はどうすればよいですか。

パスワードをリセットすることができます。具体的な操作については [インスタンスのパスワードをリセット](#) をご参照ください。

CVMのパスワードを変更（リセット）するにはどうすればよいですか。

具体的な操作については、[インスタンスのパスワードをリセット](#)を参照してリセットを行ってください。

パスワードのリセットに失敗した場合はどうすればよいですか。

Windows CVMの場合は、[CVMのパスワードのリセットに失敗した場合または無効になった場合](#) を参照して、トラブルシューティングを行ってください。

Linux CVMの場合は、[チケットを提出](#)してフィードバックしてください。

CVMのパスワードを一括リセットするにはどうすればよいですか。

具体的な操作については、[インスタンスのパスワードをリセット](#) をご参照ください。

CVMのデフォルトユーザー名およびパスワードとは何ですか。

デフォルトユーザー名はインスタンスのタイプに関連しています。

Windowsインスタンスにリモートログインした場合、デフォルトのユーザー名はAdministratorになっています。

Linuxインスタンスにリモートログインした場合、デフォルトのユーザー名はroot（Ubuntuシステムのデフォルトユーザー名はubuntu）です。

パスワードはインスタンスの作成時に設定されます。[インスタンスの作成](#) をご参照ください。ログインパスワードを忘れた場合は、パスワードをリセットできます。[インスタンスのパスワードをリセット](#) をご参照ください。

パスワードとキー

最終更新日：：2020-07-24 16:12:34

SSHキーログインとパスワードログインの違いは何ですか。

SSHキーを使用すると、Linuxサーバーにリモートでログインできます。その原理はキージェネレーターを使用して、キーペア（パブリックキーとプライベートキー）を作成します。パブリックキーをサーバに追加し、クライアントでプライベートキーを利用して認証とログインを完成させます。パスワードログインと比較して、SSHキーログインはより安全で効率的です。

現在、LinuxインスタンスはパスワードとSSHキーログインの両方をサポートしていますが、Windowsインスタンスはパスワードログインのみをサポートしています。関連ドキュメントについては、以下をご参照ください。

[Linuxインスタンスへのログイン](#)

[Windowsインスタンスへのログイン](#)

LinuxインスタンスをSSHキーに関連付けられた後、ユーザー名とパスワードでログインできないのはなぜですか。

CVMをSSHキーに関連付けられた後、パスワードログインはデフォルトで無効になっていますので、[SSHキーを使用してLinuxインスタンスにログイン](#) してください。

SSHキーログインとパスワードログインを併用できますか。

ユーザが [SSHキーを使用してLinuxインスタンスにログイン](#) すると、セキュリティを向上させるために、パスワードログインがデフォルトで無効になります。

どのようにSSHキーを作成するか、キーを紛失した場合どうすればよいですか。

キーの作成については、[SSHキーの作成](#) をご参照ください。

キーを紛失した場合は、次の2つの解決策を提供します。

[SSHキーコンソール](#) で新しいキーを作成し、新しいキーを使用して元のインスタンスにバインドします。

1.1 [SSHキーを作成](#) します。

1.2 キーの作成が完了したら、[CVMコンソール](#) に入ります。

1.3 キーをバインドする元のインスタンスを選択し、[その他 > パスワード/キー > キーを読み込む](#) をクリックすると、新しいキーを使用してインスタンスにログインできます。

CVMコンソールでパスワードをリセットし、新しいパスワードを使用してインスタンスにログインします。詳細については、[インスタンスパスワードのリセット](#) をご参照ください。

どのようにSSHキーをサーバにバインド/バインド解除しますか。

具体的な操作については、[サーバへのキーのバインド/バインド解除](#) をご参照ください。

どのようにSSHキーの名前/説明を変更しますか。

具体的な操作については、[SSHキーの名前と説明の変更](#) をご参照ください。

どのようにSSHキーを削除しますか。

具体的な操作については、[SSHキーの削除](#) をご参照ください。

SSHキーはどのような使用制限がありますか。

[SSHキーの使用制限](#) をご参照ください。

SSHキーを使用してLinuxインスタンスにログインできない場合のトラブルシューティング方法を教えてください。

具体的な操作については、[SSH経由でLinuxインスタンスにログインできない](#) をご参照ください。

キーをダウンロードできないのはなぜですか。

キーは一度しかダウンロードできません。キーを紛失した場合は、新しいキーを作成し、ダウンロードして保存することをお勧めします。

CVMインスタンスで使用されているキーの確認方法はなんですか。

CVMコンソールにログインし、インスタンスの詳細ページに移動して、CVMインスタンスで使用されているキー情報を確認できます。

セキュリティグループ

最終更新日：2022-05-06 16:57:28

セキュリティグループにデフォルトで拒否ルールがあるのは、なぜですか？

セキュリティグループルールは上から下へと順番に有効になります。前に設定された許可ルールが有効になると、他のルールはデフォルトで拒否されます。すべてのポートをオープンにしている場合は、最後の拒否ルールは有効になりません。セキュリティ上の理由から、このデフォルト設定を提供しています。

セキュリティグループの優先順位を調整するにはどうすればよいですか？

操作の詳細については、[セキュリティグループの優先順位の調整](#)をご参照ください。

誤ったセキュリティグループをインスタンスにバインドすると、インスタンスにどのような影響がありますか。この問題を解決するにはどうすればよいですか？

潜在的リスク

SSH経由でLinuxインスタンスへのリモート接続、またはリモートデスクトップ経由でWindowsインスタンスへのリモート接続に失敗する場合があります。

このセキュリティグループ内のCVMインスタンスのパブリックネットワークIPアドレスとプライベートネットワークIPアドレスへのリモートpingに失敗する場合があります。

HTTP経由で当該セキュリティグループのインスタンスによって暴露されるWebサービスへのアクセスに失敗する場合があります。

このセキュリティグループのインスタンスは、Internetサービスにアクセスできない場合があります。

ソリューション

前述のいずれかの状況が発生した場合、コンソールのセキュリティグループに移動して、セキュリティグループルールを変更できます。例えば、デフォルトのオールポートオープンセキュリティグループのみをバインディングします。

セキュリティグループルールの設定方法の詳細については、[セキュリティグループの概要](#)をご参照ください。

セキュリティグループの方向およびポリシーとは何ですか？

セキュリティグループのポリシー方向はアウトバウンドとインバウンドに分けられています。アウトバウンド方向はCVMの送信トラフィックをフィルタリングし、インバウンド方向はCVMの受信トラフィックをフィルタリングします。

セキュリティグループポリシーは、トラフィックの許可と拒否に分けられています。

セキュリティグループポリシーはどの順序で有効になりますか？

セキュリティグループポリシーは、トラフィックがセキュリティグループを通過するときに上から下へ順番に有効になります。トラフィックがポリシーに一致すると、ポリシーはすぐに有効になります。

セキュリティグループによって拒否されたIPアドレスが引き続きCVMにアクセスできるのはなぜですか？

以下の原因が考えられます：

CVMは複数のセキュリティグループにバインディングされており、特定のIPアドレスは別のセキュリティグループによって許可されています。

特定のIPアドレスは、審査済みのTencent Cloudパブリックサービスに属しています。

セキュリティグループを使用する場合、iptablesは使えなくなりますか？

いいえ。セキュリティグループとiptablesは同時に使用できます。トラフィックは次の方向で2回フィルタリングされます。

アウトバウンド方向：インスタンス内のプロセス > iptables > セキュリティグループ。

インバウンド方向：セキュリティグループ > iptables > インスタンス内のプロセス。

すべてのCVMが返されたにもかかわらず、セキュリティグループを削除できないのはなぜですか？

ごみ箱にまだCVMが存在するかどうかを確認します。セキュリティグループがごみ箱のCVMにバインディングされている場合、セキュリティグループを削除することはできません。

セキュリティグループをクローンするときに、名前はターゲットリージョンのセキュリティグループの名前と同じでもいいですか？

いいえ。名前は、ターゲットリージョンの既存のセキュリティグループの名前とは異なる必要があります。

セキュリティグループを異なるユーザー間でクローンできますか？

この機能は現在サポートされていません。

クロスプロジェクトやクロスリージョンでのセキュリティグループのクローンをサポートするTencent Cloud APIはありますか？

現時点では、コンソールを利用するユーザーのために、MCサポートを提供していますが、直接のTencent Cloud APIのサポートはありません。Tencent Cloud APIを使用して、セキュリティグループルールのバッチインポートとエクスポートを行うことで、間接的にクロスプロジェクトやクロスリージョンでのセキュリティグループのクローンを実現できます。

クロスプロジェクトやクロスリージョンでのセキュリティグループのクローンを作成すると、セキュリティグループによって管理されるCVMと一緒にコピーされますか？

いいえ。クロスリージョンでのセキュリティグループのクローンは、元のセキュリティグループのアウトバウンド・インバウンドルールのみがクローンされます。したがって、CVMをセキュリティグループに個別にバインドする必要があります。

セキュリティグループとは何ですか？

セキュリティグループは、ステートフルパケットをフィルタリングする機能を備えた仮想ファイアウォールです。CVM、Cloud Load Balancer(CLB)、MySQLなどのインスタンスを設定するネットワークアクセス制御、インスタンスレベルのインバウンド・アウトバウンドトラフィック制御のために使用されます。ネットワークセキュリティに対する重要な隔離手段です。

各CVMインスタンスは、少なくとも1つのセキュリティグループにバインドされています。インスタンスを作成するときはセキュリティグループを指定する必要があります。同じセキュリティグループ内のCVMインスタンスは、ネットワーク上で相互接続できます。デフォルトでは、異なるセキュリティグループ内のCVMインスタンスは、プライベートネットワークで接続できません。詳細については、[セキュリティグループの概要](#)をご参照ください。

CVMインスタンス作成時にセキュリティグループを選択する理由は何ですか？

CVMインスタンスを作成する前に、セキュリティグループを選択してアプリケーション環境のセキュリティドメインを分割してください。セキュリティグループルールに権限を付与し、合理的なネットワークセキュリティの分離が行われています。

CVMインスタンスの作成前にセキュリティグループを作成していないとどうなりますか？

CVMインスタンスを作成前にセキュリティグループを作成していない場合は、セキュリティグループの新規作成を選択できます。

セキュリティグループの新規作成は、次のルールを提供します。実際のニーズに応じてIP/ポートをオープンしてください。

ICMP：ICMPプロトコルをオープンし、パブリックネットワーク経由でサーバーへのpingを許可します。

TCP：80：ポート80をオープンし、HTTP経由でWebサービスへのアクセスを許可します。

TCP22：ポート22をオープンし、SSH経由でLinux CVMへのリモート接続を許可します。

TCP：443：ポート443をオープンし、HTTPS経由でWebサービスへのアクセスを許可します。

TCP：3389：ポート3389をオープンし、RDP経由でWindows CVMへのリモート接続を許可します。

プライベートネットワークをオープンする：プライベートネットワークをオープンし、さまざまなクラウドリソース（IPv4）間のプライベートネットワークアクセスを許可します。

セキュリティグループはどのような状況でデフォルトのセキュリティグループルールを使用しますか。

デフォルトのセキュリティグループルールは、次の状況で使用されます。

CVMインスタンスを作成するときに、**クイック構成**を選択してCVMを購入する場合、システムによってデフォルトのセキュリティグループが自動的に作成されます。セキュリティグループは、デフォルトのセキュリティルールを使用します（つまり、すべてのIPv4ルールのオープンが許可されます）。

セキュリティ上の理由から、Tencent Cloudは新しいセキュリティグループにCVMを関連付けることをお勧めします。その新しく関連付けられたセキュリティグループはサービスに必要なポートのみをオープンし、不必要なセキュリティリスクを極力回避します。

CVMコンソールでセキュリティグループを作成するときは、セキュリティグループテンプレートを選択できます。現在「Windowsログイン」テンプレート、「Linuxログイン」テンプレート、「Ping」テンプレート、「HTTP(80)」テンプレート、「HTTPS(443)」テンプレートを提供しています。

セキュリティグループルール

最終更新日：2020-07-23 16:37:37

どのようなシナリオでセキュリティグループルールを追加する必要がありますか。

CVMインスタンスに正しくアクセスできるようにするには、次のシナリオでセキュリティグループルールを追加する必要があります。

CVMインスタンスが配置されているセキュリティグループにはセキュリティグループを追加しておらず、セキュリティグループルールもデフォルトではありません。CVMインスタンスがパブリックネットワークにアクセスする必要がある場合、または現在のリージョン内のその他のセキュリティグループに関連付けられているCVMインスタンスにアクセスする場合は、セキュリティルールを追加する必要があります。

作成したアプリケーションは、デフォルトのポートではなく、カスタムポートまたはポート範囲を使用します。この場合、アプリケーションの接続をテストする前にカスタムポートまたはポート範囲を開く必要があります。例えば、CVMインスタンスにNginxサービスを構築するときは、通信ポートはTCP1800で監視を選択しますが、セキュリティグループがポート80のみを開く場合、セキュリティルールを追加して、Nginxサービスがアクセスできるようにする必要があります。

その他のシナリオについては、[セキュリティグループの使用例](#)をご参照ください。

セキュリティグループルールを正しく設定しないと、どのような影響がありますか。

セキュリティグループルールが正しく設定されていない場合、CVMインスタンスはプライベートネットワークまたはパブリックネットワークを介して他のデバイスにアクセスできません。例：

SSH経由でLinuxインスタンスまたはリモートデスクトップ経由でWindowsインスタンスへのリモート接続に失敗する場合があります。

CVMインスタンスのパブリックIPへのリモートpingに失敗する場合があります。

HTTPまたはHTTPSプロトコルを介してCVMインスタンスによって提供されるWebサービスにアクセスできない場合があります。

プライベートネットワーク経由で他のCVMインスタンスにアクセスできない場合があります。

セキュリティグループのインバウンドルールとアウトバウンドルールは別々にカウントされますか。

1つのセキュリティグループには、最大100のインバウンドルールと100のアウトバウンドルールを設定できます。

セキュリティグループルールの数量上限は変更できますか。

各セキュリティグループは、最大200のセキュリティグループルール（100の／インバウンドルール、100の／アウトバウンドルール）を含めることができます。1つのCVMインスタンスは最大5つのセキュリティグループに関連付けることができるため、最大1,000のセキュリティグループルールを含めることができ、ほとんどのシナリオのニーズを満たすことができます。

使用量がこの上限を超える場合は、冗長なルールが存在するかどうかを確認してください。

冗長なルールが存在する場合は、削除してください。

冗長なルールがない場合は、複数のセキュリティグループを作成できます。

さらに、[チケットを送信](#)して、セキュリティグループルールの上限を引き上げてください。

ポートとセキュリティグループ

最終更新日：2020-07-24 16:12:34

インスタンスにログインする前に、どのポートを開放する必要がありますか。

一般的には、Linuxインスタンスの場合はポート22、Windowsインスタンスの場合はポート3389を開放する必要があります。他のインスタンスタイプに適用するポートの詳細については、[セキュリティグループの使用例](#)をご参照ください。

CVMでよく使用されるポートはどれですか。

詳細については、[サーバーの共通ポート](#)をご参照ください。

なぜインターネットにポートを開放する必要があるのですか。特定のポートを開放するには、どうすればいいですか。

ポートに対応するサービスを使用するには、セキュリティグループでポートを開放する必要があります。例えば、

ポート8080を使用してWebページにアクセスする場合は、セキュリティグループでポートを有効にしてインターネットに開放する必要があります。

ポートを開放する手順は次のとおりです。

1. [セキュリティグループコンソール](#)にログインし、このインスタンスにバインドされているセキュリティグループのID/名前をクリックして、その詳細ページに移動します。
2. [Inbound/Outbound rule]を選択し、[Add a Rule]をクリックします。
3. IPアドレス（セグメント）とインターネットに開放するポート情報を記入し、[Allow]を選択してポートを開放します。

操作の詳細については、[セキュリティグループルールの追加](#)をご参照ください。

CVMインスタンスのデフォルトのリモートポートを変更するにはどうすればよいですか。

操作の詳細については、[CVMのデフォルトのリモートポートの変更](#)をご参照ください。

ポートを変更した後、サービスを使用できないのはなぜですか。

サービスポートを変更した後、対応するセキュリティグループで対象ポートを開放する必要があります。そうしないと、サービスを利用できません。

Tencent Cloudはどんなポートに対応していませんか。

デフォルトでは、TCP:ポート25はTencent Cloudによってブロックされています。このポートのブロックを解除する必要がある場合は、[ポート25のブロック解除](#)を参照して、ブロック解除を申請できます。

一部のポートには潜在的なセキュリティ問題があるため、これらのポートはTencent Cloudによってブロックされていますが、キャリアによってブロックされ、アクセスできません。このような状況を回避するように、ポー

トを変更し、次のポートをリスニングに使用しないことをお勧めします。

プロトコル	ブロックされる可能性のあるポート
TCP	42、135、137、138、139、445、593、1025、1434、1068、3127、3128、3129、3130、4444、5554、5800、5900、9996
UDP	1026、1027、1434、1068、5554、9996、1028、1433、135 - 139

TCP ポート25にアクセスできないのはなぜですか。

TCP ポート25はデフォルトのメールボックスサービスポートです。セキュリティ上の理由から、CVMインスタンスのポート25はデフォルトでブロックされています。ポートを使用する必要がある場合は、ブロック解除を申請してください。詳細については、[ポート25のブロック解除](#) をご参照ください。

ファイアウォール

最終更新日：：2024-05-29 15:52:23

Linuxシステムの場合、ファイアウォールソフトウェアiptablesを設定するにはどうすればよいですか

ご注意：

iptables は、CentOS 7 前後のバージョンに重大な変更があります。

CentOS 7より前のバージョン、デフォルトでは iptables サービスをファイアウォールとして使用され、`service iptables stop` コードを使用して、iptables サービスはまず、ルールをクリアしてiptables コンポーネントをアンインストールします。再起動すると、設定ファイルからルールがロードされます。iptables サービスを停止すると、ファイアウォールが制限されているかどうかをテストできます。

```
[root@VM_37_158_centos ~]# service iptables stop
iptables: Setting chains to policy ACCEPT: filter [ OK ]
iptables: Flushing firewall rules: [ OK ]
iptables: Unloading modules: [ OK ]
[root@VM_37_158_centos ~]# service iptables start
iptables: Applying firewall rules: [ OK ]
```

← Unload the iptables module.

CentOS 7以降のバージョン、デフォルトではfirewallサービスをファイアウォールとして使用されます。互換性のため、iptables_filter モジュールもロードされていますが、iptablesサービスは利用できません。そのため、CentOS 7以降、iptables コマンドを使用してルールを追加できますが、iptables サービスはデフォルトで無効になっています。ユーザーがiptables_filterモジュールをロードすることを確認してから、ルールが有効になります。

ファイアウォールを判断する最も安全な方法は `iptables -nVL` を使用して、ルールを確認することです。以下では2つの例を通して設定する方法を説明します。

シナリオ1

Ubuntu 14 システムの場合、セキュリティグループ、監視ポートが開放したが、Telnetは機能しません。

セキュリティグループのインバウンドルール：

Security Group Rule Associate with Instance

Inbound rule Outbound rule

Add a Rule Import rule Sort Delete Open all ports

<input type="checkbox"/>	Source ⓘ ▾	Protocol port ⓘ	Policy
<input type="checkbox"/>		ALL	Allow
<input type="checkbox"/>		TCP:8081	Allow

セキュリティグループのアウトバウンドルール：

Inbound rule **Outbound rule**

Add a Rule Import rule Sort Delete Open all ports

<input type="checkbox"/>	Target ⓘ ▾	Protocol port ⓘ	Policy
<input type="checkbox"/>		ALL	Allow
<input type="checkbox"/>		TCP:8081	Allow

telnetが機能しない：

```
target      prot opt source                destination
RETURN     tcp  -- anywhere              anywhere          limit: avg 3
urst 6
REJECT     all  -- anywhere              anywhere          reject-with
ort-unreachable
root@VM-166-120-ubuntu:~# service iptables status
iptables: unrecognized service
root@VM-166-120-ubuntu:~# ufw status
Status: inactive
root@VM-166-120-ubuntu:~# netstat -tlunp |grep 8081
tcp        0      0 0.0.0.0:8081          0.0.0.0:*          LISTEN
1687/nginx.conf
root@VM-166-120-ubuntu:~# _
```

ソリューション

1. 最初にCVMにパケットキャプチャして、パケットがCVMに到達したかどうかを判断します。

CVMに到達していない場合、セキュリティグループあるいは上位tgw、キャリアによってブロックされている可能性があります。

パケットがCVMに到達したが、応答パケットに問題が発生する場合、CVM内のiptables ポリシーが原因である可能性があります。次の図に示すように、Telnet操作後、TCP パケットは64.11に返されません。

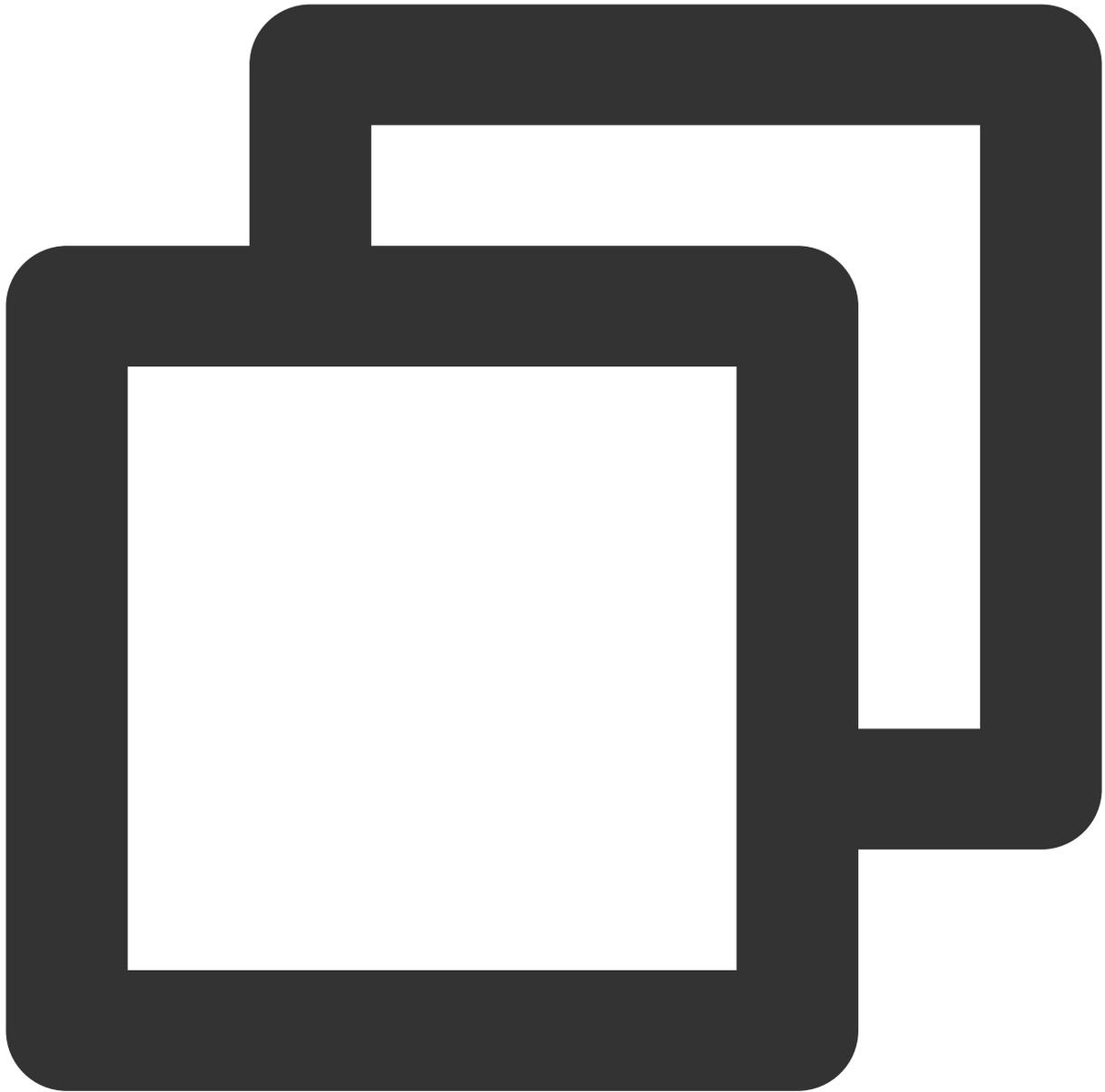
```
0 packets dropped by kernel
root@VM-166-120-ubuntu:/home/ubuntu# tcpdump -i any host 183.60.64.11
tcpdump: verbose output suppressed, use -v or -vv for full protocol decode
listening on any, link-type LINUX_SLL (Linux cooked), capture size 65535 bytes
19:02:21.194801 IP 183.60.64.11.58839 > 10.104.166.120.tproxy: Flags [S], seq 668485174, win 5840, option
op,wscale 7], length 0
19:02:21.194824 IP 10.104.166.120 > 183.60.64.11: ICMP host 10.104.166.120 unreachable - admin prohibite
```

2. iptables ポリシー問題であることを確認した後、`iptables -nvL` を使用してポリシーがポート8081をインターネットに開放されるかどうかを確認します。ここではこのポートがインターネットに開放されていません。

```
root@VM-166-120-ubuntu:~# iptables -L -n
Chain INPUT (policy ACCEPT)
target    prot opt source                destination
ACCEPT    all  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
ACCEPT    all  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
ACCEPT    tcp  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
ACCEPT    icmp --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
ACCEPT    icmp --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
syn-flood tcp  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
REJECT    all  --  0.0.0.0/0             0.0.0.0/0
```

Inbound direction
Inbound packets connection has This is intended for act
state RELATED
state NEW tcp
limit: avg 10
limit: avg 1/
tcp flags:0x1
reject-with

3. コマンドを使用して、8081ポートをインターネットに開放するポリシーを追加します。



```
iptables -I INPUT 5 -p tcp --dport 8081 -j ACCEPT
```

4. ポート8081が開いていることがテストされています。問題は解決されました。

シナリオ 2

iptables の設定によると、ポリシーがインターネットに開かれていますが、宛先サーバーはまだ到達できません。

```

-bash-4.2# cat /etc/resolv.conf
#search localdomain
#nameserver 202.98.
#nameserver 61.139.
nameserver 10.225.30.181
nameserver 10.225.30.223
options timeout:1 rotate
-bash-4.2# vi /etc/resolv.conf
-bash-4.2# grep host /etc/nsswitch.conf
#hosts:      db files nisplus nis dns
hosts:      files dns
-bash-4.2# grep GATEWAY /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg*
/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0:GATEWAY='10.104.61.1'
-bash-4.2#

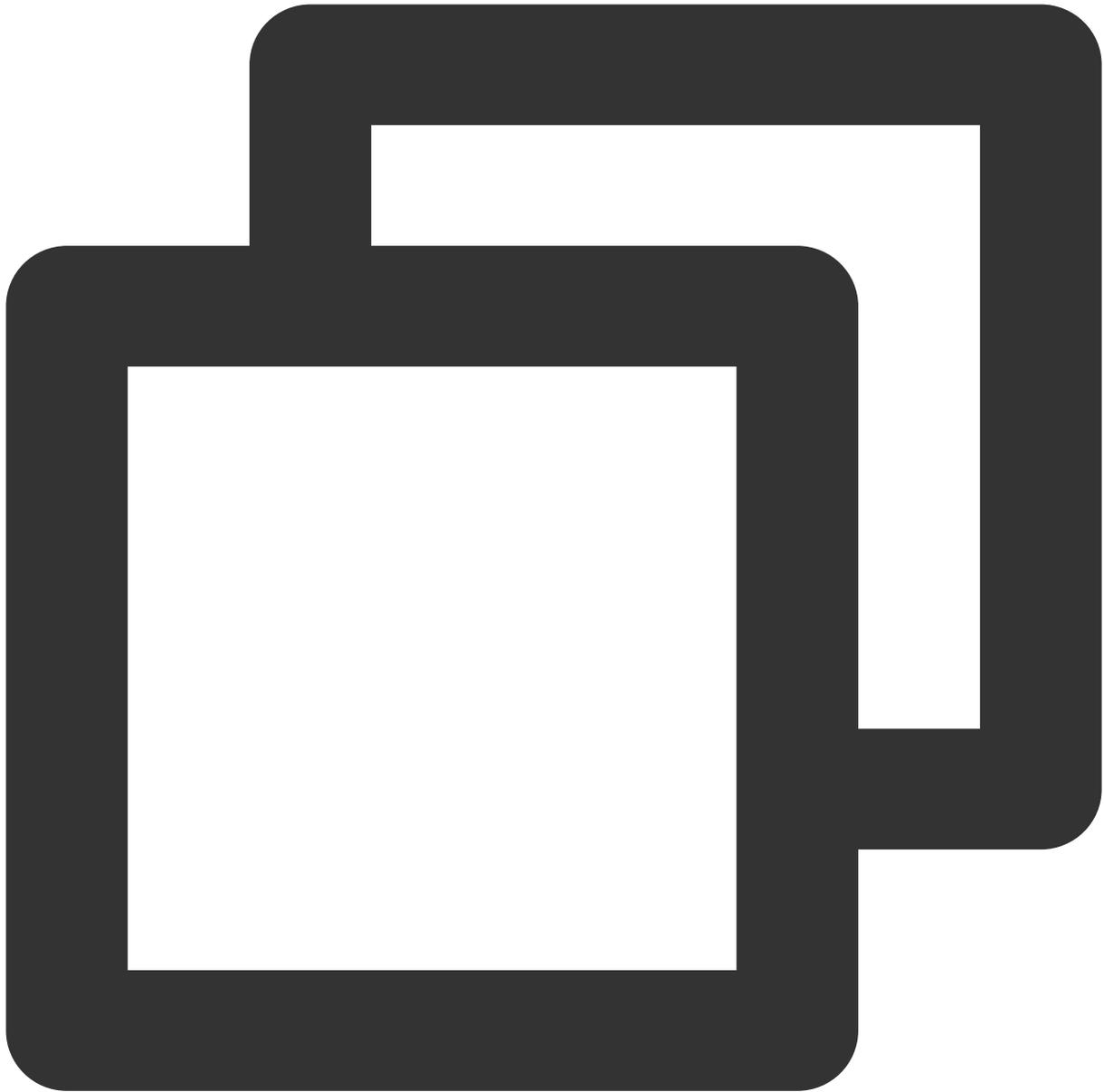
```

ソリューション

以下の状況が発生した場合：

Chain OUTPUT (policy ACCEPT 740K packets, 616M bytes)									The first dro the su
pkts	bytes	target	prot	opt	in	out	source	destinat	
2144	147K	DROP	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	0.0.0.0/0	
0	0	ACCEPT	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	10.225.3	
0	0	ACCEPT	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	10.225.3	
0	0	DROP	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	0.0.0.0/0	
0	0	DROP	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	0.0.0.0/0	
0	0	DROP	udp	--	*	*	0.0.0.0/0	0.0.0.0/0	

コマンドを実行して output 方向の最初のルールを削除します：



```
iptables -D OUTPUT 1
```

テスト後に問題は解決しました。

ファイアウォールをクリアする方法について

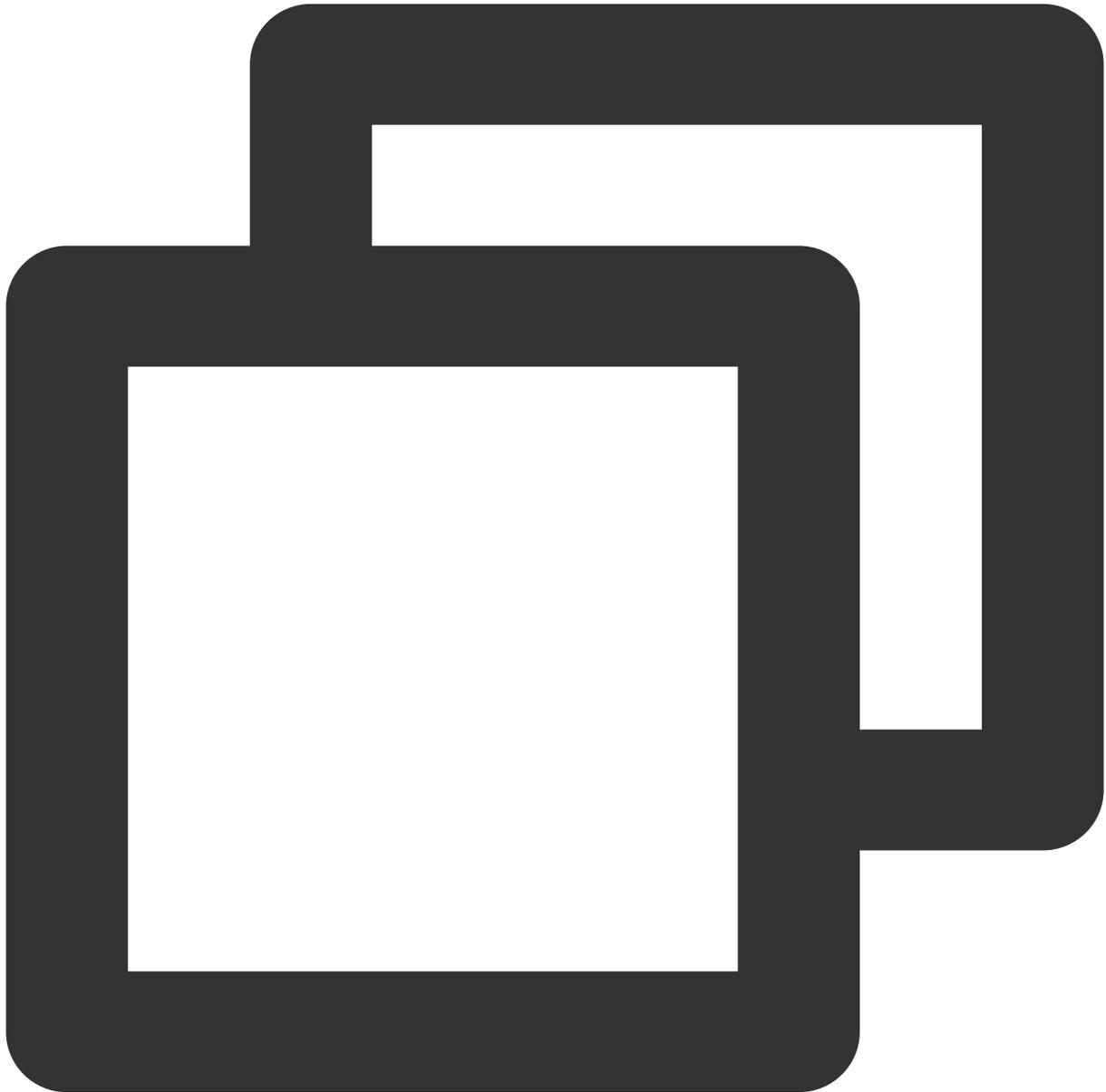
Windows インスタンス：

1. インスタンスにログインした後、【スタート】 > 【コントロールパネル】 【ファイアウォール設定】 をクリックし、ファイアウォール設定画面に入ります。

2. ファイアウォールおよびその他のセキュリティソフトウェア（セキュリティドッグなど）が有効になっているかどうかを確認します。有効になっている場合は無効にします。

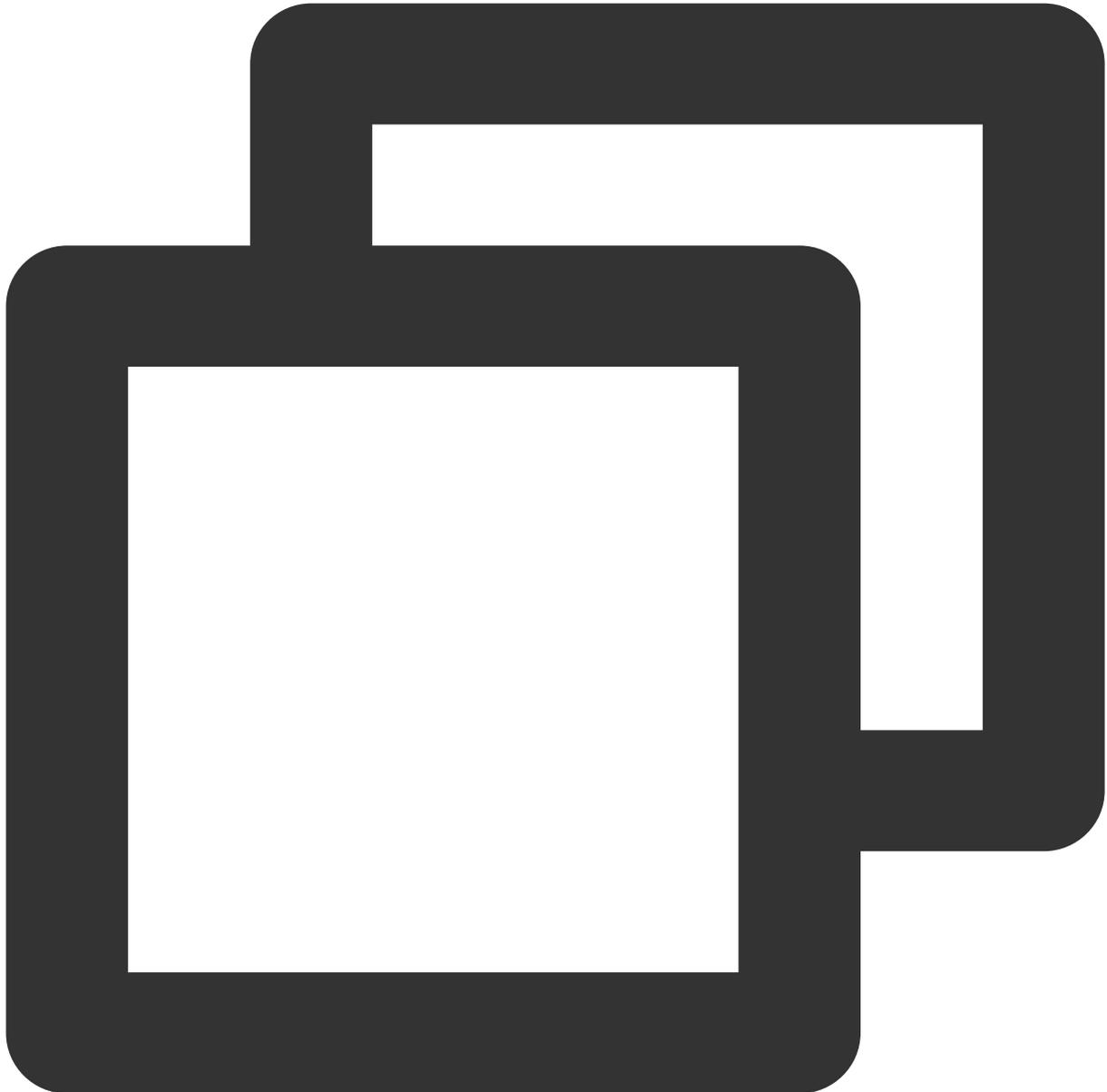
Linux インスタンス：

1. コマンドを実行し、ユーザーがファイアウォールポリシーを有効になっているかどうかを確認します。無効にする場合は、ステップ2をスキップしてステップ3に進んでください。



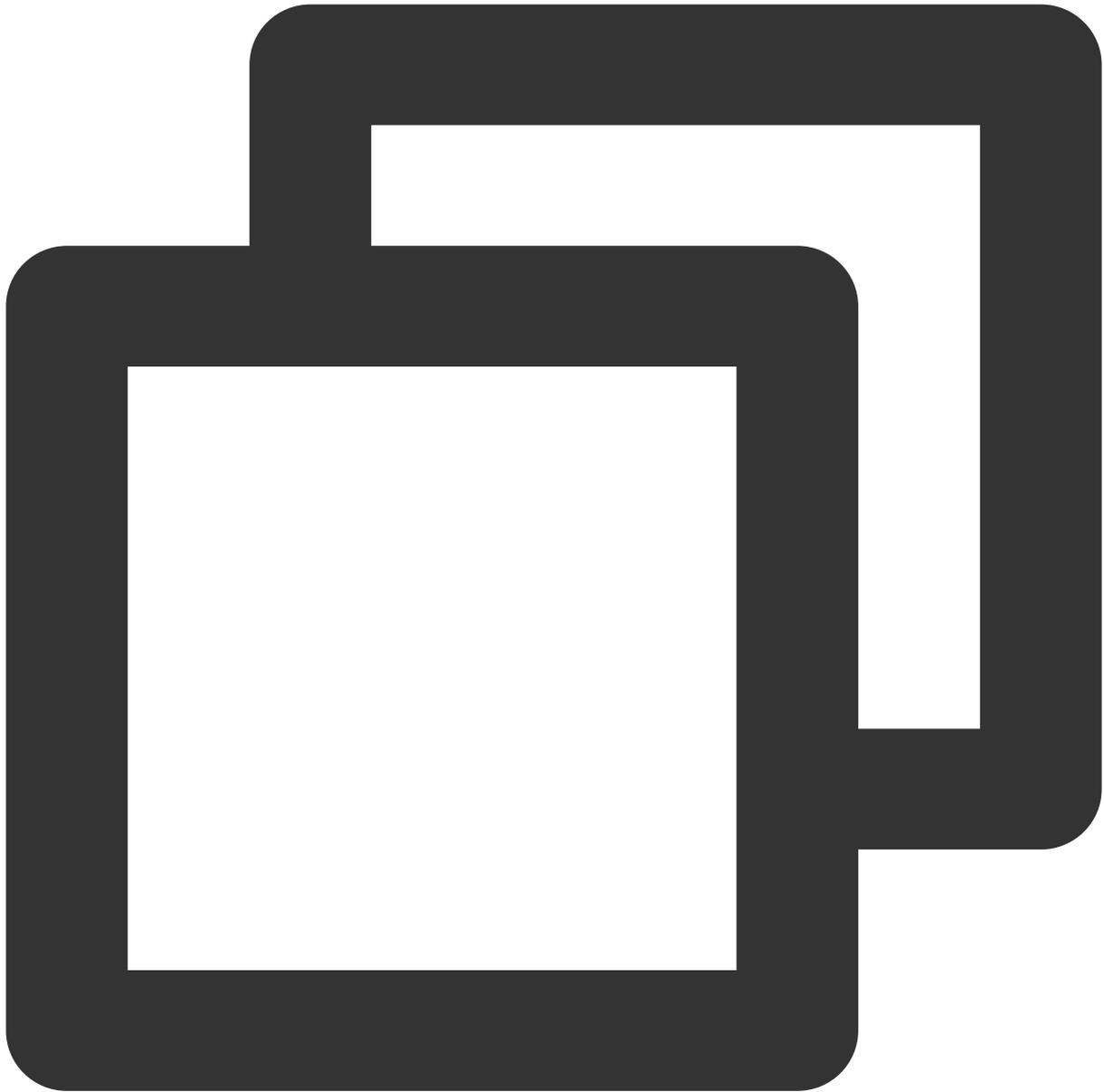
```
iptables -vnL
```

2. ファイアウォールポリシーが有効になっている場合は、コマンドを実行して現在のファイアウォールポリシーをバックアップします：



```
iptables-save
```

3. コマンドを実行して、ファイアウォールポリシーをクリアします。



```
iptables -F
```

Tencent Cloud以外のCDNを使用してCVMを加速する場合、ファイアウォールによってブロックされますか

ブロックされません。影響が心配する場合、ファイアウォールを無効にすることができます。

オペレーティングシステム関連

最終更新日：：2022-09-19 16:48:02

Ubuntu OSでupdateを実行するとエラーが発生するのはなぜですか。

考えられる原因：

Tencent CloudのUbuntuシステムソースは毎日0時、8時および16時に公式サイトソースとの同期を1回行い、同期が完了すると、システムは新旧ソースの入れ替えを実行します。同期の時間前後にそれぞれ `apt-get update` および `apt-get install` コマンドを実行すると、`apt`検証をパスせず、エラーが発生することがあります。

解決方法：

毎回 `apt-get update` コマンドを実行する前に、`apt-get clean all` コマンドを実行してキャッシュをクリアし、`apt`検証をパスしないことの回避をお勧めします。

###Linuxインスタンスディレクトリファイルの所有者と所有グループを調整するにはどうすればよいですか。

Webサーバー内のファイルまたはディレクトリの権限が不正確な場合、ウェブサイトアクセス時に403エラーが発生することがあります。そのため、ファイルとディレクトリを調整する前に、プロセス実行中のIDを確認する必要があります。

- `ps` および `grep` コマンドを使用してファイルとディレクトリが配置されているプロセスの実行中のIDを照会します。

- `ls -l` コマンドを使用してファイルとディレクトリの所有者と所有グループを照会します。

- `chown` コマンドを使用して権限を修正することができます。例えば、`chown -R www.www /tencentcloud/www/user/` はディレクトリ `/tencentcloud/www/user` の全てのファイルと、ディレクトリの所有者と全てのグループを`www`アカウントに修正できます。

Linuxインスタンスは視覚化インターフェースをサポートしていますか。

サポートしています。Linuxインスタンスで視覚化インターフェースを構築したい場合の具体的な操作については、[Ubuntu視覚化インターフェースの構築](#) をご参照ください。

Windowsインスタンスオペレーティングシステムをアクティブ化するにはどうすればよいですか。

[slmgr](#)コマンドを使用してWindowsシステムをアクティブ化する または [Windows Serverシステムのアクティブ化](#) をご参照のうえ、Windowsインスタンスオペレーティングシステムをアクティブ化してください。

Linuxインスタンスがシングルユーザーモードに進むのはなぜですか。

Linuxユーザーは一部のケースでシングルユーザーモードにおいて特殊またはメンテナンスに関連する操作を実行する必要があります。例えば、パスワード管理の実行、`sshd`損傷の修復またはディスクのマウント前に行う必要があるメンテナンス操作などです。具体的な操作手順は [Linux CVMの設定でシングルユーザーモードに入る](#) をご参照ください。

インスタンスログイン記録を確認するにはどうしたらよいですか。

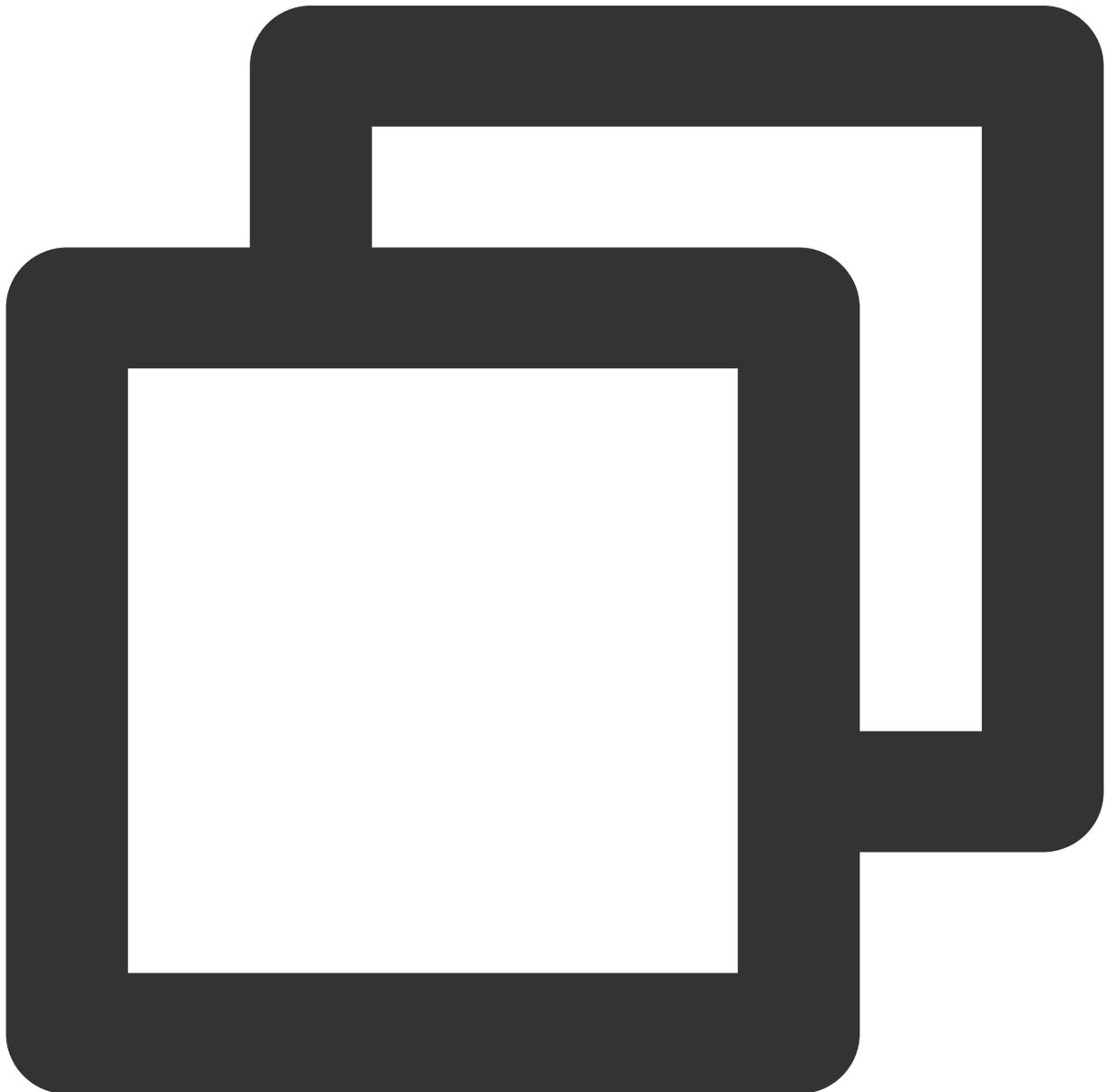
詳細については [インスタンスログイン記録の取得](#)をご参照ください。

アクセス制御クラス

最終更新日： : 2020-03-04 12:02:24

カスタマイズポリシーを作成するには、どうすればいいですか。

プリセットのポリシーがご要望を満たさない場合は、ポリシーをカスタマイズで作成できます。
カスタマイズポリシーの構文は次のとおりです。



```
{  
  "version": "2.0",
```

```
"statement": [  
  {  
    "action": [  
      "Action"  
    ],  
    "resource": "Resource",  
    "effect": "Effect"  
  }  
]
```

Action 許可または拒否するアクションに置き換えてください。

Resource 許可する特定のリソースに置き換えてください。

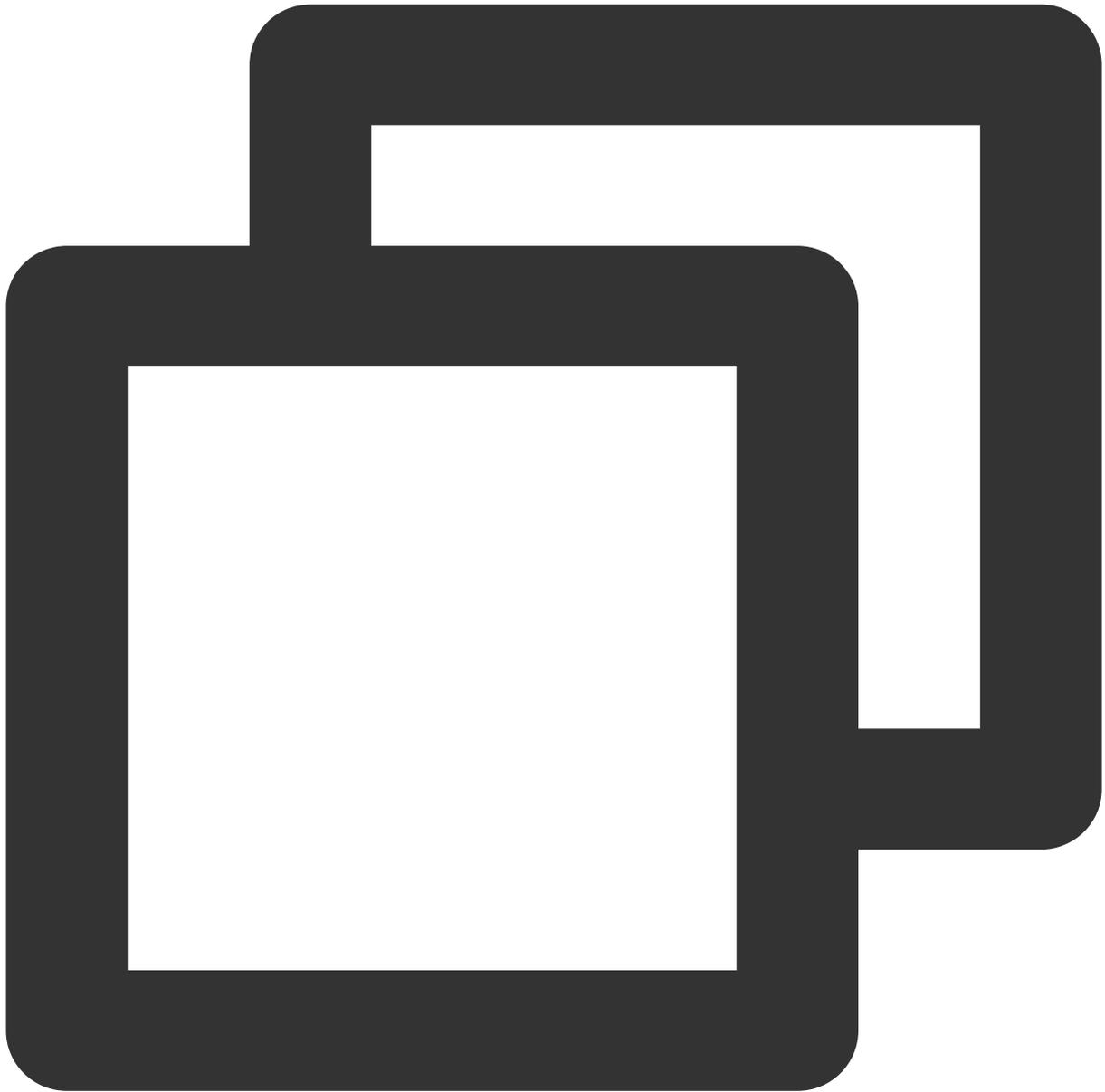
Effect 許可または拒否に置き換えてください。

CVMの読取専用ポリシーを設定するには、どうすればいいですか。

ユーザーにCVMインスタンスをクエリーする権限のみを許可したいですが、作成、削除、および起動・シャットダウンの権限を許可しない場合、そのユーザーに対してQcloudCVMInnerReadOnlyAccessという名前のポリシーを使用することができます。

Cloud Access Managementコンソールにログインし、[ポリシー管理](#)画面で**CVM**を検索して、対象ポリシーをすばやく見つけます。

ポリシー構文は次のとおりです。



```
{  
  "version": "2.0",  
  "statement": [  
    {  
      "action": [  
        "name/cvm:Describe*",  
        "name/cvm:Inquiry*"  
      ],  
      "resource": "*",  
      "effect": "allow"  
    }  
  ]  
}
```

```
]
}
```

上記のポリシーは、**ユーザーに次の操作の操作権限を持たせる**ことで目的を達成します。

CVM内で「Describe」という単語で始まるすべての操作。

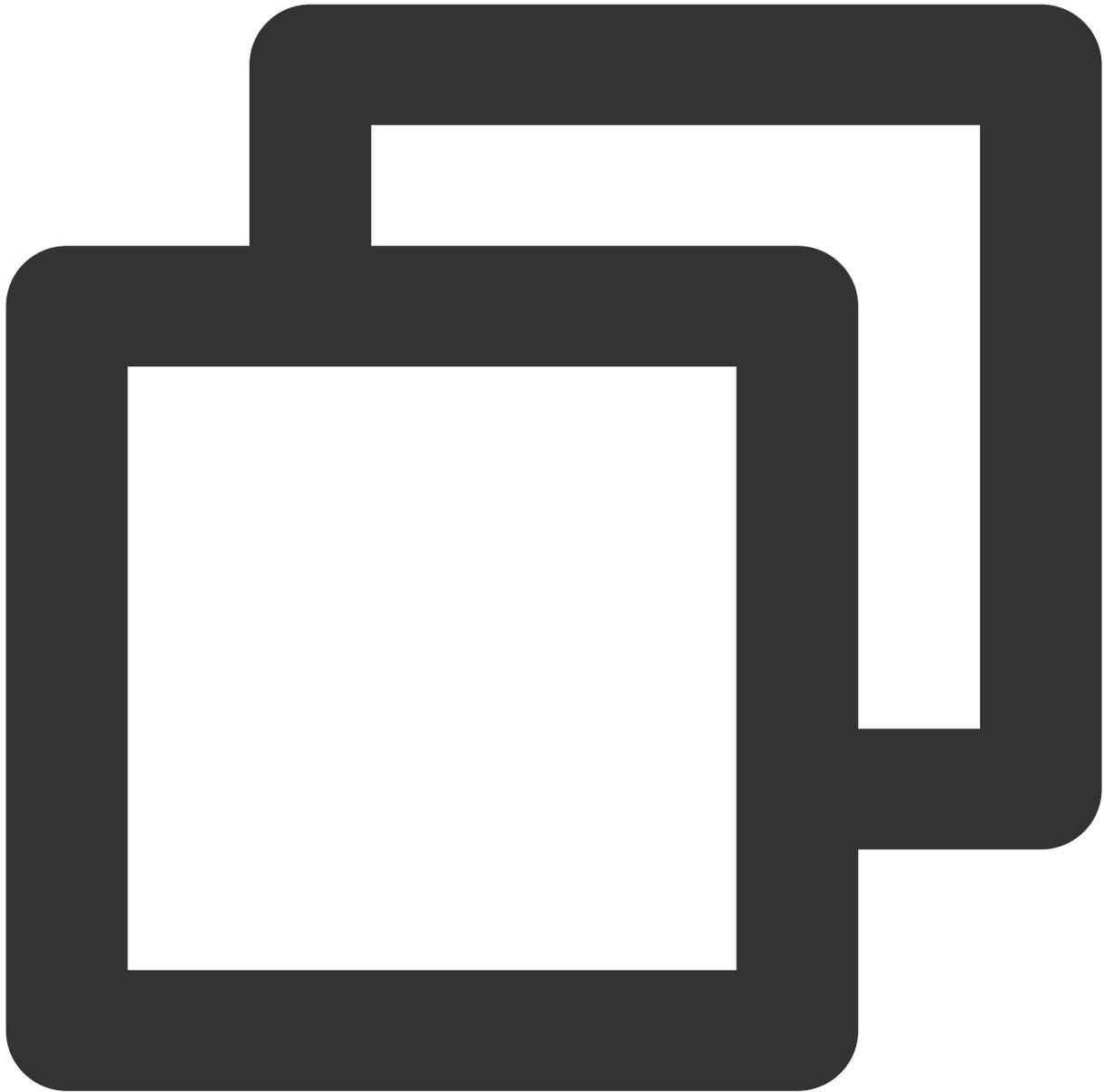
CVM内で「Inquiry」という単語で始まるすべての操作。

CVM関連リソースの読取専用ポリシーを設定するには、どうすればいいですか。

ユーザーにCVMインスタンスと関連リソース(VPC、CLB)をクエリーする権限のみを許可したいですが、ユーザーに作成、削除、起動・シャットダウンなどの操作権限を許可しない場合、ユーザーにQcloudCVMReadOnlyAccessという名前のポリシーを使用することができます。

Cloud Access Managementコンソールにログインし、[ポリシー管理](#)画面で**CVM**を検索して、対象ポリシーをすばやく見つけます。

ポリシー構文は次のとおりです。



```
{
  "version": "2.0",
  "statement": [
    {
      "action": [
        "name/cvm:Describe*",
        "name/cvm:Inquiry*"
      ],
      "resource": "*",
      "effect": "allow"
    },
  ],
}
```

```
{
  "action": [
    "name/vpc:Describe*",
    "name/vpc:Inquiry*",
    "name/vpc:Get*"
  ],
  "resource": "*",
  "effect": "allow"
},
{
  "action": [
    "name/clb:Describe*"
  ],
  "resource": "*",
  "effect": "allow"
},
{
  "effect": "allow",
  "action": "name/monitor:*",
  "resource": "*"
}
]
```

上記のポリシーは、**ユーザーに次の操作の操作権限を持たせることで**目的を達成します。

CVM内で「Describe」という単語で始まるすべての操作と「Inquiry」という単語で始まるすべての操作。

VPC内で「Describe」という単語で始まるすべての操作、「Inquiry」という単語で始まるすべての操作、および「Get」という単語で始まるすべての操作。

CLB内で「Describe」という単語で始まるすべての操作。

Monitor内のすべての操作。

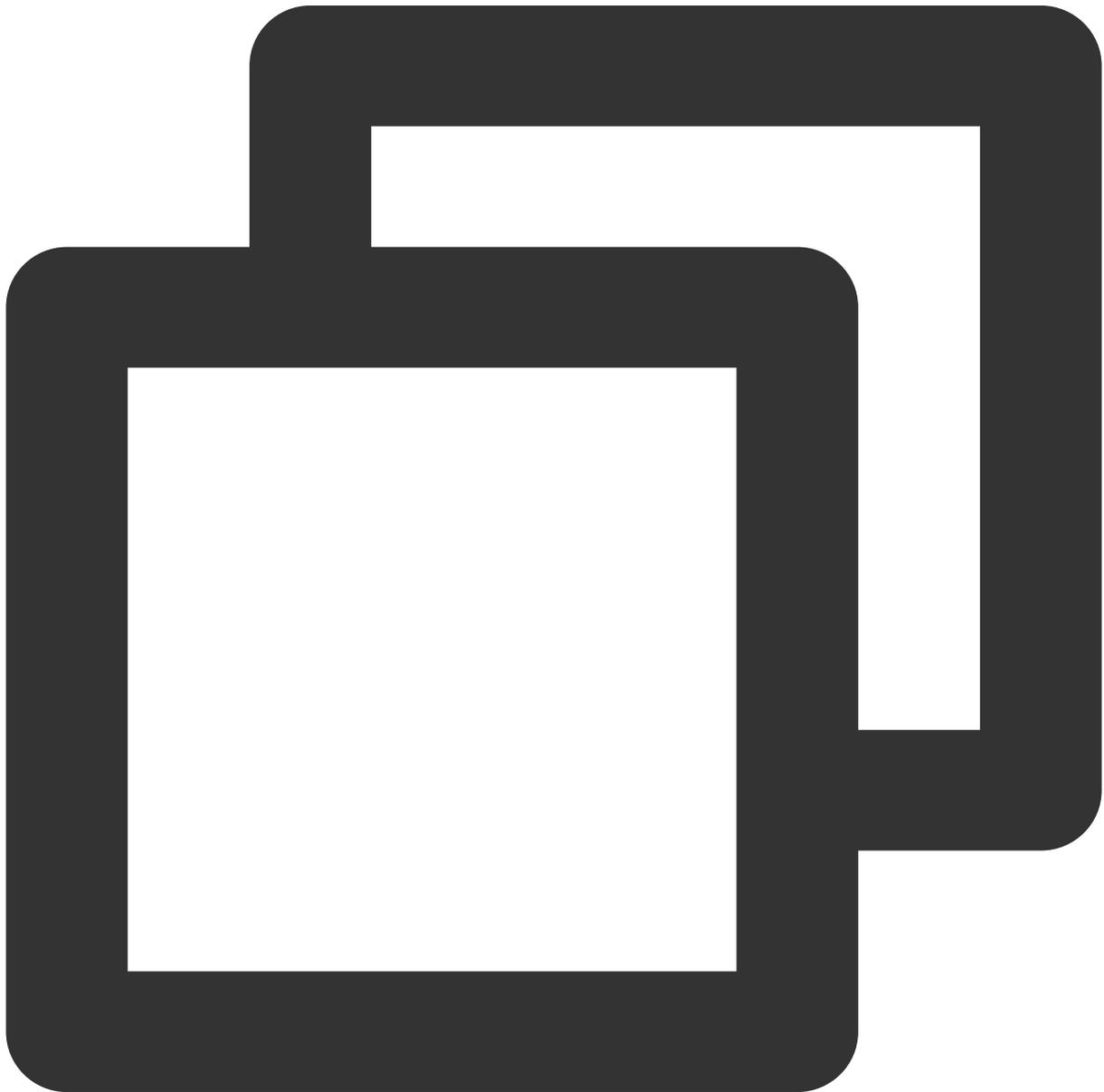
NTPサービスについて

最終更新日： : 2022-06-29 11:06:37

NTPサービスを設定した後、NTPの同期間隔を調整するにはどうすればいいですか？

[NTPサービスの設定](#) を実行した後、ntpdサービスを再起動してNTPの同期間隔をリセットできます。ntpd同期間隔を手動で設定する場合は、次の手順をご参照ください：

1. 次のコマンドを実行して、NTPファイルを変更します。

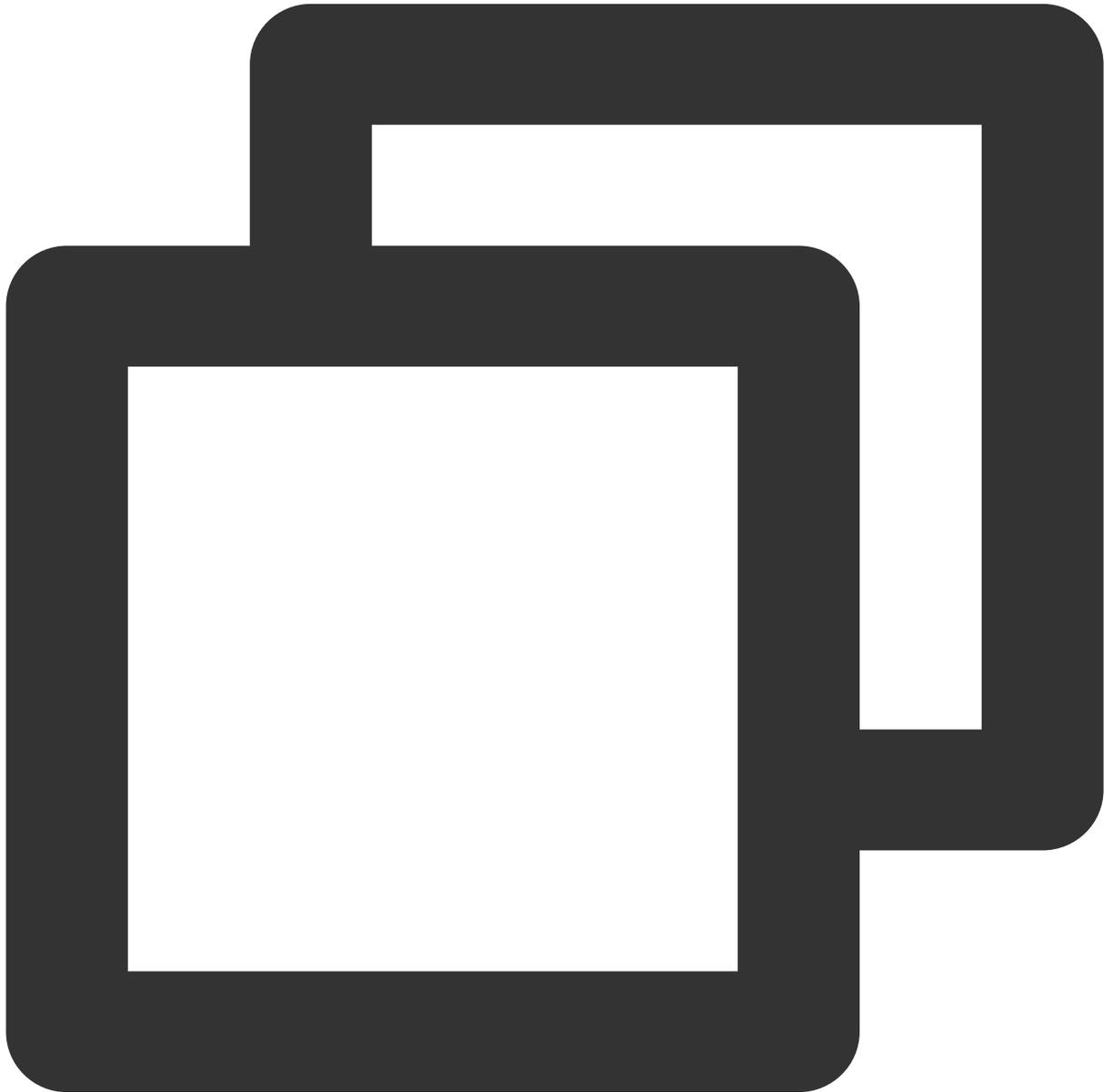


```
vi /etc/ntp.conf
```

2. **i**を押して編集モードに入り、以下の設定を行います：

2.1 `server time1.tencentyun.com iburst` があれば、行の先頭に `#` を付けてコメントしてください。

2.2 以下のコンフィグレーションを追加します。ここで `minpoll 4` は最小 2^4 、`maxpoll 5` は最大 2^5 を表します。



```
server time1.tencentyun.com minpoll 4 maxpoll 5
```

設定が完了したら、次の図に示すように:**wq**と入力して変更を保存し、終了します。

```
disable monitor
#server time1.tencentyun.com iburst
server time1.tencentyun.com minpoll 4 maxpoll 5
interface ignore wildcard
interface listen eth0
```

3. ntpdサービスを再起動した後、`ntpd-p` コマンドを実行すると、pollの値が16(つまり 2^4)であることがわかります。下図の通りです：

```
[root@ ~]# ntpq -p
=====
remote           refid      st t when poll reach  delay  offset jitter
=====
*169.254.0.2     100.122.36.196  2 u   4   16  377   4.199  -0.184  0.062
```

Tencent Cloudが提供するntpd クロックソースサーバーからの時間はどのソースから取得されますか？

NTPクロックの上流は北斗の時間源となります。

NTPサービス設定にlocalhost.localdomain timeoutが報告されることはどんな原因ですか？どのように修復すればいいですか？

エラーメッセージは下図のように表示されます：

```
[root@VM_0_17_centos ~]# netstat -nupl
Active Internet connections (only servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State                   PID/Program name
udp        0      0 0.0.0.0:39083           0.0.0.0:*                31900/ntpd
udp        0      0 0.0.0.0:35385           0.0.0.0:*                1067/dhclient
udp        0      0 0.0.0.0:68              0.0.0.0:*                1067/dhclient
udp        0      0 172.17.0.17:123         0.0.0.0:*                31876/ntpd
udp        0      0 127.0.0.1:123           0.0.0.0:*                31876/ntpd
udp6       0      0 :::62167                :::*                    1067/dhclient
[root@VM_0_17_centos ~]# service ntpd status
Redirecting to /bin/systemctl status ntpd.service
● ntpd.service - Network Time Service
   Loaded: loaded (/usr/lib/systemd/system/ntpd.service; enabled; vendor preset: disabled)
   Active: active (running) since Wed 2020-08-26 19:29:56 CST; 15s ago
     Process: 31874 ExecStart=/usr/sbin/ntpd -u ntp:ntp $OPTIONS (code=exited, status=0/SUCCESS)
    Main PID: 31876 (ntpd)
      CGroup: /system.slice/ntpd.service
              └─31876 /usr/sbin/ntpd -u ntp:ntp -g

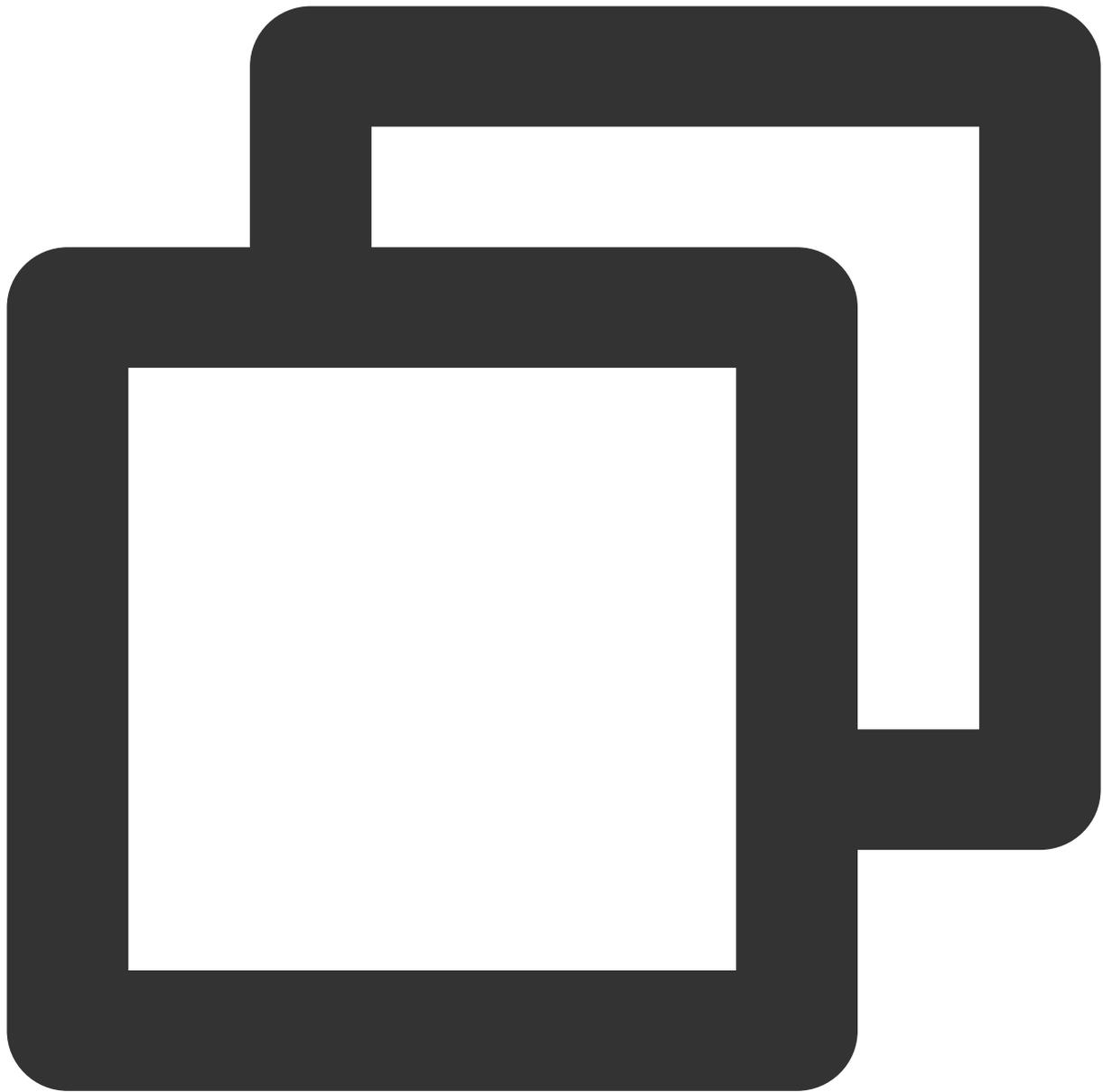
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos systemd[1]: Started Network Time Service.
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: proto: precision = 0.078 usec
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: 0.0.0.0 c01d 0d kern kernel time sync enabled
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: ntp_io: estimated max descriptors: 1000000, initial
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: Listen normally on 0 lo 127.0.0.1 UDP 123
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: Listen normally on 1 eth0 172.17.0.17 UDP 123
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: Listening on routing socket on fd #18 for interface
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: 0.0.0.0 c016 06 restart
Aug 26 19:29:56 VM_0_17_centos ntpd[31876]: 0.0.0.0 c012 02 freq_set kernel 0.065 PPM
Aug 26 19:30:03 VM_0_17_centos ntpd[31876]: 0.0.0.0 c615 05 clock_sync
[root@VM_0_17_centos ~]# ntpq -p
localhost.localdomain: timed out, nothing received
***Request timed out
```

このエラーが発生すると、POSTROUTINGを実行した可能性があります。確認してみてください。そうであれば、コンフィグレーションファイル `ntp.conf` のソースIPをeth0のIPに変更してください。

クラウド下のマシンはクラウド上のマシンとNTPを共有できますか？NTP同期アドレスを提供できますか？

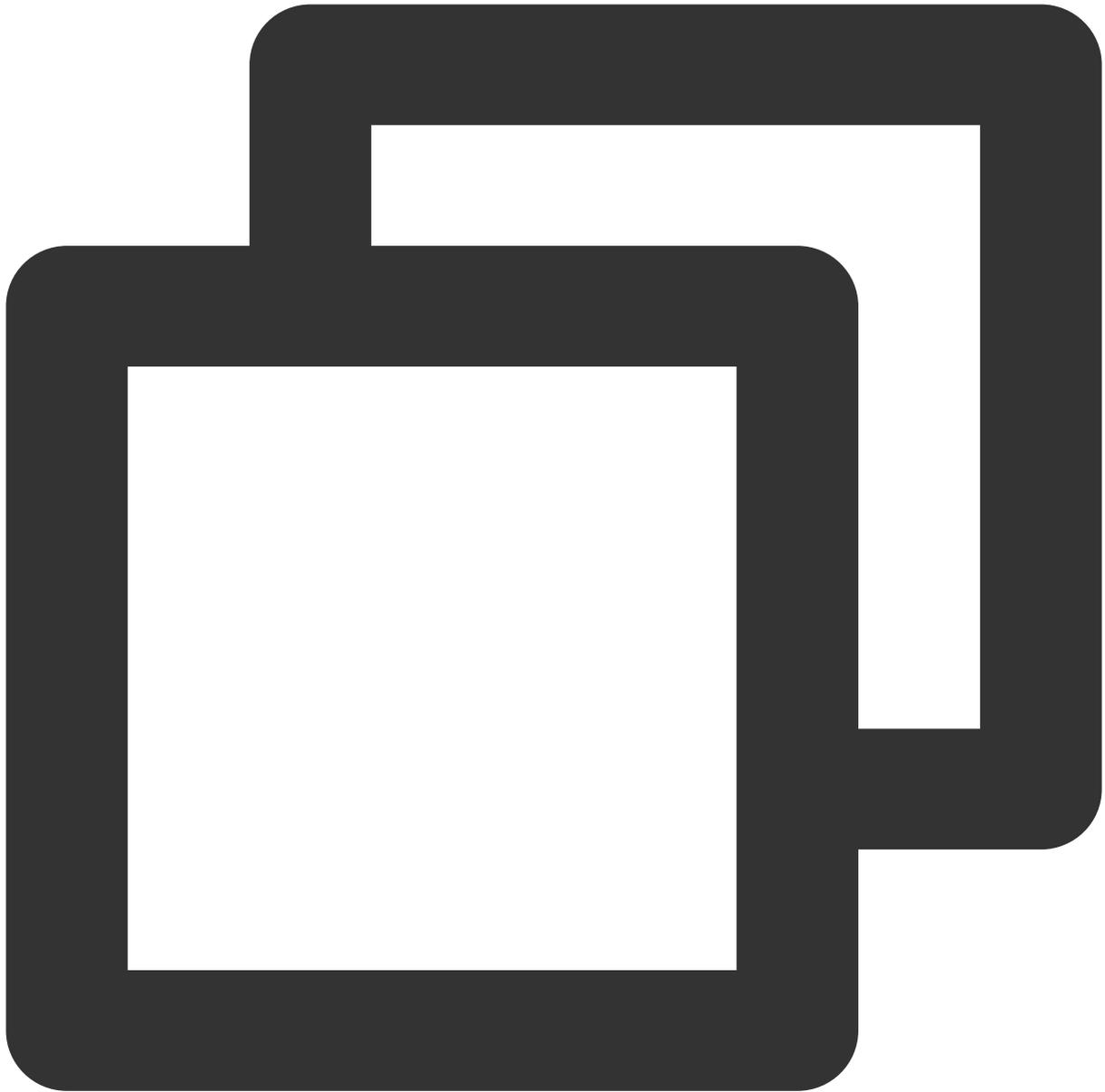
プライベートネットワークNTPはTencent Cloud上のインスタンスでのみ使用できます。クラウド下のマシンがパブリックネットワークをサポートしている場合、パブリックネットワークNTPソースを設定することで同期を実現できます。アドレスは以下のとおりです：

プライベートネットワークNTPサーバー



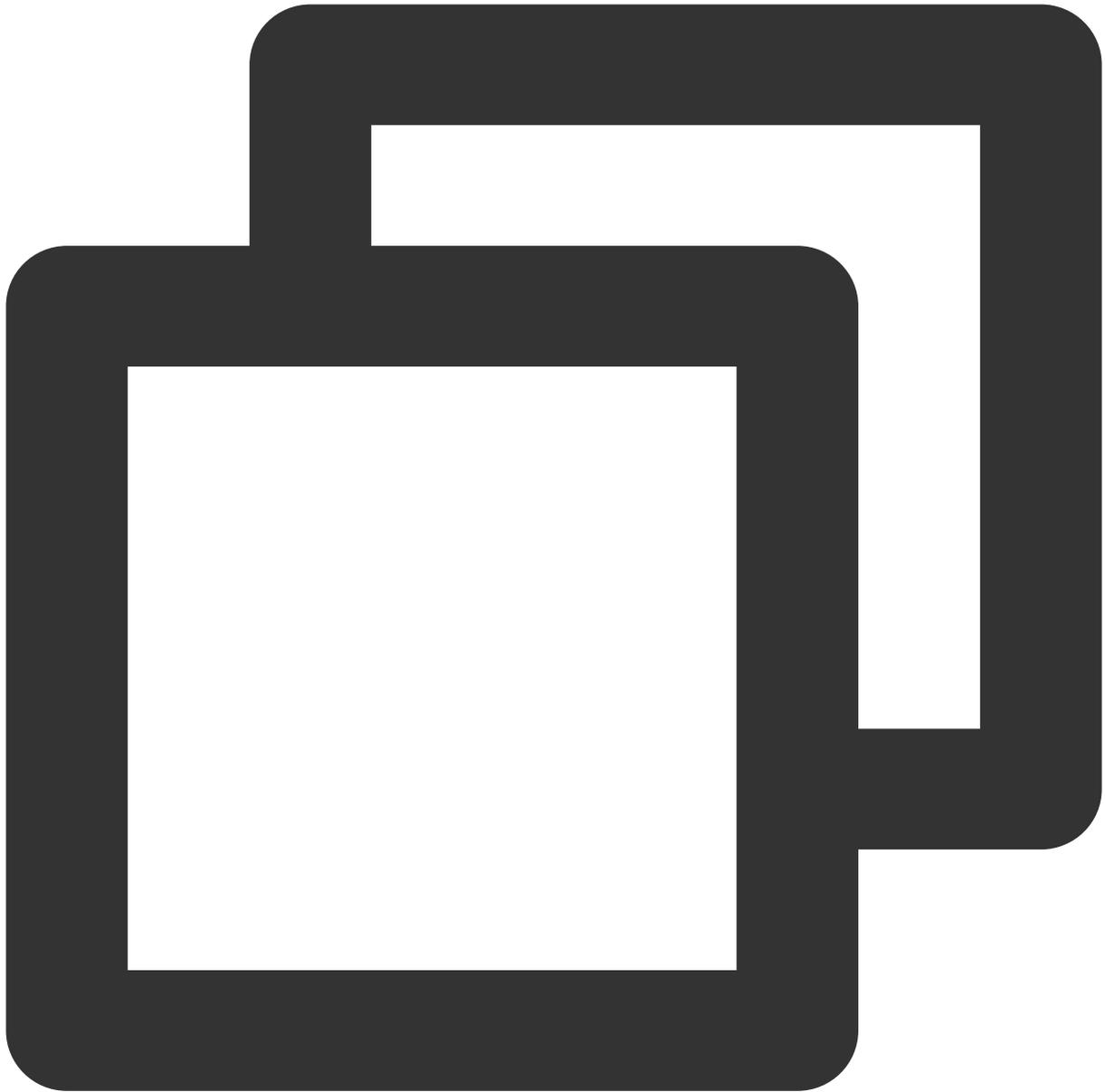
```
time1.tencentyun.com  
time2.tencentyun.com  
time3.tencentyun.com  
time4.tencentyun.com  
time5.tencentyun.com
```

パブリックネットワークNTPサーバー



```
ntp.tencent.com  
ntp1.tencent.com  
ntp2.tencent.com  
ntp3.tencent.com  
ntp4.tencent.com  
ntp5.tencent.com
```

以下は、古いパブリックネットワークNTPサーバーアドレスです。古いアドレスは引き続き使用できますが、新しいパブリックネットワークNTPサーバーアドレスを構成して使用することをお勧めします。



```
time.cloud.tencent.com  
time1.cloud.tencent.com  
time2.cloud.tencent.com  
time3.cloud.tencent.com  
time4.cloud.tencent.com  
time5.cloud.tencent.com
```

カスタムイメージを使用して作成されたCVMが通常の時刻と一致しないのはなぜですか？

NTPサービスがオンになっていることを確認してください。この後にNTP同期機能を使用する場合、インスタンスのオペレーティング・システムに応じて以下のドキュメントを参照してNTP設定を行ってください。設定完了後にカスタムイメージを再作成してください。

[Linuxインスタンス：NTPサービスの設定](#)

[Windowsインスタンス：NTPサービスの設定](#)

カスタムイメージを使用して作成されたCVMntp.confの内容が復元されたのはなぜですか？

システム内のCloud-Initの初期化が原因です。カスタムイメージを作成する前に `/etc/cloud/cloud.cfg` のNTP関連の設定を削除してください。詳細については [Cloud-InitとCloudbase-Init問題](#) をご参照ください。

プライベートネットワークDNSを変更すると、どのような影響がありますか？

Tencent Cloud内部のドメイン名解析に関わる業務はいずれも影響を受けます。例：

yumダウンロードに影響します。yumソースはデフォルトでTencentのプライベートネットワークのドメイン名になります。DNSを変更した場合は、yumソースも変更してください。

監視データのエスケーションに影響します。この機能はプライベートネットワークのドメイン名に依存しています。

サーバーの時刻同期NTP機能に影響します。この機能はプライベートネットワークのドメイン名に依存しています。

Windowsシステムインスタンスのローカル時間が米国東部時間に設定されていますが、再起動後に北京時間にリセットされるのはなぜですか？

このインスタンスでWindows timeサービスがオンになっていることを確認してください。このサービスがオンになっていない場合は、手動でオンにしてください。サービスがオンになると、インスタンスのシステム時刻が自動的に同期されます。このサービスは、電源を入れて起動するように設定することをお勧めします。

ntpq-npコマンドを使用して同期時刻を表示できないのはなぜですか？

エラーメッセージは下図のように表示されます：

```
[root@... ]# ntpq -np
      remote           refid      st t when poll reach  delay  offset  jitter
-----
100.115.8.147 .INIT.        16 -   -   64    0   0.000   0.000   0.000
```

このエラーは通常、`/etc/ntp.conf` のlistenネットワークデバイスがIP設定されていないか、インスタンスでないプライベートネットワークのプライマリIPを設定した場合に発生します。そうである場合は、プライマリIPに変更してから、ntpdを再起動してください。

パブリックネットワークNTPのタイムサーバーを使用して時刻を同期しているときにエラーが発生しました。どのように対処しますか？

パブリックネットワークNTPタイムサーバーを使用して時刻を同期すると、`no server suitable for synchronization found`というエラーが報告されました。下図の通りです：

```
[root@VM-0-192-centos ~]# ntpdate -dv time1.cloud.tencent.com
29 Sep 10:20:45 ntpdate[10750]: ntpdate 4.2.6p501.2349-o wed Dec 19 20:22:35 UTC 2018 (1)
Looking for host time1.cloud.tencent.com and service ntp
host found : 139.199.215.251
transmit(139.199.215.251)
transmit(139.199.215.251)
transmit(139.199.215.251)
transmit(139.199.215.251)
transmit(139.199.215.251)
139.199.215.251: Server dropped: no data
server 139.199.215.251, port 123
stratum 0, precision 0, leap 00, trust 000
refid [139.199.215.251], delay 0.00000, dispersion 64.00000
transmitted 4, in filter 4
reference time: 00000000.00000000 Mon, Jan 1 1900 8:05:43.000
originate timestamp: 00000000.00000000 Mon, Jan 1 1900 8:05:43.000
transmit timestamp: e31d1882.6c402d75 Tue, Sep 29 2020 10:20:50.422
filter delay: 0.00000 0.00000 0.00000 0.00000
0.00000 0.00000 0.00000 0.00000
filter offset: 0.00000 0.00000 0.00000 0.00000
0.00000 0.00000 0.00000 0.00000
delay 0.00000, dispersion 64.00000
offset 0.000000
9 Sep 10:20:51 ntpdate[10750]: no server suitable for synchronization found
```

原因としては、インスタンスのパブリックIPがDDOS攻撃を受けたとき、NTPリフレクション攻撃保護ポリシーがトリガーされ、Tencent Cloudにアクセスするソースポート123のパブリックネットワークトラフィックがすべて遮断されることで、時刻同期の異常を引き起こすことが考えられます。インスタンスを使用する際には、可能な限りプライベートNTPタイムサーバーを使用して時刻を同期することをお勧めします。

ユースケース関連

最終更新日：：2021-08-02 10:04:02

ウェブサイトの構築に関する質問

CVMにウェブサイトを構築するにはどうすればよいですか。

CVMを使用してウェブサイトをホストする場合、日常的な運用や保守を実行するにはどうすればよいですか。

CVMにログインできない場合、どうすればよいですか。

ウェブサイトの表示速度が遅い場合、どうすればよいですか。

ウェブサイトにアクセスできない場合、どうすればよいですか。

CVMのIPアドレスにpingを送信できない場合、どうすればよいですか。

SSL証明書はどのように選択すればよいですか。

CVMの初期パスワードを取得するにはどうすればよいですか。

CVMインスタンスでのウェブサイトの作成に制限はありますか。

環境構築に関する質問

ソフトウェアのインストールが遅いという問題を解決するにはどうすればよいですか。

CVMにログインできない場合、どうすればよいですか。

CVMのパスワードを忘れた場合、どうすればよいですか。

CVMのパスワードのリセットが無効な場合、どうすればよいですか。

LinuxのOSの通常操作とコマンドにはどのようなものがありますか。

Linuxインスタンスで通常使用されるカーネルパラメータにはどのようなものがありますか。

Linux CVMをシングルユーザーモードに設定するにはどうすればよいですか。

CVMの現在のデータを保存し、システムディスクをスケールアウトするにはどうすればよいですか。

CVMを再インストールするにはどうすればよいですか。

CVMの構成を調整するにはどうすればよいですか。

データバックアップに関する質問

データディスク(Linux CVM)を初期化するにはどうすればよいですか。

データディスク(Windows CVM)を初期化するにはどうすればよいですか。

データディスクとシステムディスクをスケールアウトするにはどうすればよいですか。

ローカルファイルをCVMにコピーする場合、またはCVMファイルをローカルにダウンロードする場合、どうすればよいですか。

一般的なデータのバックアップとリカバリの方法にはどのようなものがありますか。

スナップショットによってデータをバックアップするにはどうすればよいですか。

イメージによってCVMのシステムディスク構成を保存するにはどうすればよいですか。

CVMのOSを再インストールするにはどうすればよいですか。

スナップショットをローカルにエクスポートまたはダウンロードできますか。

その他のシナリオに関する質問

セキュリティグループの応用例にはどのようなものがありますか。

セキュリティグループ優先順位の調整はどうすればよいですか。

VNC解像度を変更するにはどうすればよいですか。

CVMのデフォルトのリモートポートを変更するにはどうすればよいですか。

CVMにログインできない場合、どうすればよいですか。

インスタンスのIPアドレスにpingを送信できない場合、どうすればよいですか。

CVMのシャットダウンと再起動に失敗した場合、どうすればよいですか。

CVMのパスワードのリセットに失敗した場合、または無効になった場合、どうすればよいですか。

WindowsのOSをアクティベーションするにはどうすればよいですか。

複数のユーザーがWindows CVMにリモートログインできるように設定するにはどうすればよいですか。